

令和4年度
長野県木材青壮年団体連合会

第3回定例理事会



令和4年11月26日(土)

長野市 長野県立美術館

日本木材青壮年団体連合会 綱領・会歌

綱 領

われわれ木青連は

おなじ世代の木材人として
交流を深め相互の啓発につとめよう

若い英知と情熱を結集し
不屈の精神をもって行動しよう

木材界の発展を通じ
よりよい社会を建設しよう

会 歌

一、木を愛し木と共に

暮らしの基を 育くみて

未来のために世のために

広く普及^{った}えた 木の香り

ああ 我ら

木青連の心意気

二、木を学び 木に求め

あまねく同志^{とも}と たずさえて

相互^{たがい}の力 結びあい

文化日本を 拓くのは

ああ 我ら

木青連の理想なり

三、木に育ち 豊かさを

伸びゆく我ら 若人が

若き叡知と 情熱で

明日の社会を 築くのは

ああ 我ら

木青連の使命なり

令和4年度 第3回定例理事会 次第

日 時：令和4年11月26日（土） 9:50～11:30
場 所：長野市 長野県立美術館 B1F ホール

- 1 開会の辞
- 2 会歌斉唱・綱領唱和
- 3 出席者確認
- 4 会長挨拶
- 5 直前会長挨拶
- 6 資料確認及び字句訂正
- 7 連絡報告事項
 - (1) 会議事業経過報告
 - (2) 日本木青連 連絡報告事項
 - (3) 出向者活動報告
 - (4) 正副会長・事務局連絡事項
 - ・PR事業報告書提出のお願い
 - ・カレンダー注文状況報告
 - ・南長野青年会議所主催「作ってつながる！木育ワークショップ」木工教室について
 - ・木工工作コンクール表彰式について
- 8 議長指名
- 9 議事
 - (1) 開会宣言
 - (2) 議事録作成人指名
 - (3) 定足数確認
 - (4) 議案採択

第1号議案	第2回定例理事会議事録（案）承認の件
第2号議案	信州山の日【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第3号議案	長野市農業フェア【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第4号議案	ビアフェス【木工教室】事業報告・収支決算（案）承認の件
第5号議案	第4回定例理事会開催（案）承認の件
- 10 協議事項
- 11 会団事業・活動報告
- 12 監事講評
- 13 閉会の辞

会議・事業経過報告

2月	22日	長野県木青連 日木出向者選定会議		WEB会議
3月	4日	日本木青連 理事予定者会議・委員会		WEB会議
3月	5日	日本木青連 第7回理事会		WEB会議
3月	5日	日本木青連 第134回臨時総会		WEB会議
3月	29日	長野県緑の基金 評議委員会		書面表決
4月	9日	長野県木青連 理事予定者会議		WEB会議
4月	13日	長野県林務部・中部森林管理局新年度挨拶廻り	長野	長野県・中部森林管理局
4月	15日	新任挨拶廻り(常任理事以上)	東京	
4月	16日	日本木青連 第1回理事会(東京WEB会議)	東京	WEB会議
4月	27日	長野県林業団体協議会通常総会	長野	長野県林業センター
4月	27日	森林・林業施策懇談会(春)・長野県林務部	長野	長野県林業センター
4月	27日	中部森林管理局と長野県林業団体との懇談会	長野	長野県林業センター
5月	9日	長野県木青連 監査	長野	長野県木連
5月	14日	長野県木青連 令和3年度臨時理事会		WEB会議
5月	14日	長野県木青連 臨時理事予定者会議		WEB会議
5月	14日	長野県木青連 定時総会		WEB会議
5月	27・28日	第67回全国会員北海道大会	北海道	カナモトホール・札幌グランドホテル
5月	31日	長野県木材産業政治連盟 通常総会	長野	ホテル信濃路
6月	22日	長野県緑の基金 評議委員会	長野	長野県林業センター
7月	5日	長野県県産材振興対策協議会 通常総会		書面表決
7月	8日	長野県木材産業振興基金 通常総会		書面表決
7月	9日	長野県木青連 第1回理事会	長野	林業センター
7月	21日	あべ守一出陣式	長野	ホテル国際21
7月	24日	信州山の日イベント2022 木工教室	安曇野市	国営アルプスあずみの公園(大町・松川地区)
8月	12日	全国会員長野大会実行委員会 準備会議	長野	長野県林業センター
8月	20日	長野県木青連 第2回理事会		WEB会議
8月	20日	全国会員長野大会実行委員会①		WEB会議
8月	28日	ビアフェス木工教室	佐久市	佐久市交流広場
9月	14日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議①		WEB会議
9月	17日	日本木青連 第3回理事会	仙台	ハイブリット会議
9月	24日	令和5年度 日本木青連専務理事選出会議		WEB会議
9月	26日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議②		WEB会議
9月	29日	長野県木連との懇談会	長野	長野県林業センター
10月	7日	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会	塩尻市	長野県林業総合センター
10月	17日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議③		WEB会議
10月	19日	全国会員長野大会実行委員会②		WEB会議
10月	22日	長野市農業フェア木工教室	長野市	ビックハット
10月	27日	令和5年度 日本木青連執行部準備会議④		WEB会議
11月	5日	北信越地区協議会in長野	長野市	長野県林業センター

11月	13日	作ってつながる！木育ワークショップ	長野市	南長野運動公園
11月	16日	県木連青年部会(仮)説明会	木曽	木曽木材工業協同組合
11月	19日	日本木青連 第4回理事会	名古屋	ハイブリット会議
11月	19日	日本木青連 第136回臨時総会	名古屋	ハイブリット会議
11月	26日	長野県木青連 第3回理事会	長野市	長野県立美術館
11月	26日	長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式	長野市	長野県立美術館

第26回木材活用コンクールPR事業

木材活用未来会議

日本木材青壮年団体連合会 木材活用委員会

テーマ

「木とともに築く未来」

第24回木材活用コンクール優秀賞「飯能商工会議所」における「木材活用」について、バーチャル見学とパネルディスカッションを行います。

「設計」「構造設計」「プレカット」「木工」それぞれの実体験から「木材活用」の未来を考えます。

2022年11月27日(日) 13:00~16:00

飯能商工会議所 (埼玉県飯能市本町1-7、飯能駅徒歩7分)

※第24回木材活用コンクール 優秀賞

現地+オンライン(Zoom ウェビナー)

参加費：無料 / 参加申込必要 / 申込期限：11/20(日) / 現地参加は先着30名まで



お申し込みはこちら

プログラム

13:00 飯能商工会議所 バーチャル見学

14:00 パネルディスカッション「木とともに築く未来」

コーディネーター

首都大学東京名誉教授 深尾 精一氏

パネリスト

(有)野沢正光建築工房

石黒 健太氏 [設計]

(株)ホルツストラ

稲山 正弘氏 [構造設計]

日本住建(株)代表取締役

和田 保氏 [プレカット]

(株)サカモト 代表取締役



坂本 勉氏 [木工]

問い合わせ先：日本木材青壮年団体連合会 事務局 Email: info@mokusei.net

計画議案書

会議開催日： 令和4年11月19日

協議	審議	予算書	担当副会長	専務	総務委員長
○	○	有	吉田	寺見	佐藤

委員会名(役職名)	木育創造委員会	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	久保 光一郎	
担当副会長名	吉田 勝利	

議案名 (事業名称)	木育事業情報集約・共有事業計画書
---------------	------------------

外部協力者 協力の種類	なし
----------------	----

主旨 ※背景・目的を簡潔 に記載してください	<p>【背景】 木青連は各地域で様々な活動を行っており、ウッドレター等を通じて情報発信を行っている。しかし、各地域にはまだまだ発信しきれていない魅力的な活動があるのではないかと考える。</p> <p>【目的】 全国各地で行われている個性的な木工教室等の木育事業の情報を地区協議会ごとに集約し展示する事により、全ての地域の木育レベルアップに繋げる。</p> <p>また、各地より会員が集う全国大会に歓談出来るスペースを作り展示する事で、全国各地の会員相互で語り合う場を創るきっかけを創りたい。</p>
------------------------------	---

日時	令和4年11月～令和5年6月
----	----------------

事業概要 ※場所・参加員数計 画・実施組織・目的 達成のための手法・ 事業実施までのスケ ジュール等なるべく 詳細に記載してくだ さい	<p>地区協議会ごとに、近年実施した個性的な活動や、反響の大きかった活動(木育活動)を取りまとめ、木青 NET、ウッドレター等で紹介する。</p> <p>また、3×6 板(910×1820)程度のサイズのパネルを地区協議会ごとに作成し、高知大会で展示を行う。3月に宮崎市で行う予定の木工工作コンクール最終審査会でも展示を予定。</p> <p>各地区情報集約担当 情報集約担当は各地区の木育創造委員会副委員長、委員が中心に行う。各地区長、会団長からのフォローをお願い致します。</p> <p>スケジュール 情報集約 令和4年11月～令和5年1月 作成 令和5年2月中旬 展示 令和5年3月(宮崎市)6月(全国大会会場) その後は日木 HP で公開予定</p>
	* 予算書へ * 参考資料へ

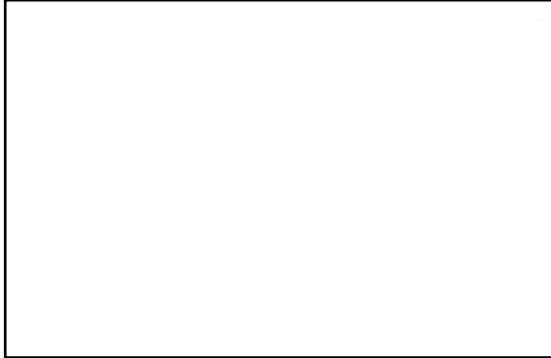
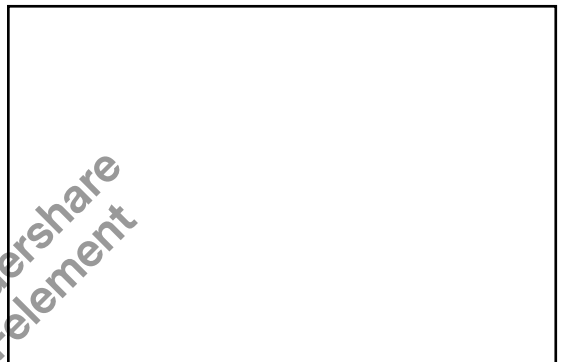
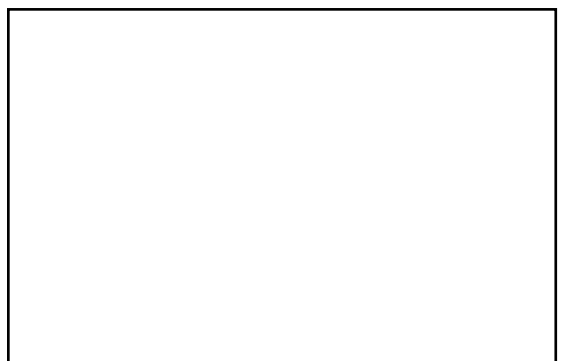
※作成例 2



九州木材青壮年連合会

会長 佐藤圭一郎（熊本県）

各地区紹介

福岡県木材青壮年団体連合会
会長 三瀬宏土大分県木材青壮年連合会
会長 志賀 陽太長崎県木材青壮年連合会
会長 田代洋典熊本県木材青壮年連合会
会長 鋤本篤史宮崎県木材青壮年会連合会
会長 河島 亮

活動紹介

旧園舎の廃材を用いた
SDG s ベンチ寄贈事業令和4年6月15日（水）
都城地区木材青壮年会（宮崎県）例文れいぶん例文れいぶん例文
れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文れいぶん例文れいぶん
例文れいぶん例文れいぶん例分

※作成例3



九州木材青壮年連合会

会長 佐藤圭一郎(熊本県)

福岡県木材青壮年団体連合会
会長 三瀬宏土 会員数 n 人大分県木材青壮年連合会
会長 志賀 陽太 会員数 n 人長崎県木材青壮年連合会
会長 田代洋典 会員数 n 人熊本県木材青壮年連合会
会長 鎌本篤史 会員数 n 人宮崎県木材青壮年会連合会
会長 河島 亮 会員数 n 人

活動紹介

事例 1



例文れいぶん例文れいぶん例分
れいぶん例文れいぶん例文れいぶん
れいぶん例文れいぶん例文。

れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文。れいぶん例文れいぶん
例文れいぶん例文れいぶん例文れ
いぶん例文。

れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文れいぶん例文れいぶん例
文れいぶん例文れいぶん例文れい

ぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん
例文。

例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん
例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文。

れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例 (約 230 字)

事例 2

例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん
例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文。

れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文
れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れ
いぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん例文れいぶん
例文。

例文れいぶん例文れいぶん例文
れいぶん例文れいぶん例文れいぶん
例文。

れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文れいぶん例文れいぶん例
文れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文。

れいぶん例文れいぶん例文れい
ぶん例文。れいぶん例文。



計画議案書

会議開催日： 令和4年11月19日

協議	審議	予算書	担当副会長	専務	総務委員長
○	○	有	山崎	寺見	佐藤

委員会名(役職名)	SCM 推進委員会	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	高橋 暢介	
担当副会長名	山崎 和昭	

議案名 (事業名称)	会員検索システムリニューアル計画
---------------	------------------

外部協力者 協力の種類	外部協力者: 飯南 IT サービス 協力の種類: 会員検索システム更新サポート
----------------	--

主旨 ※背景・目的を簡潔に記載してください	<p>【背景】 木材業界に変化が求められ始めている昨今、川下の需要に応じた原木供給や、森林から建設現場に至る物流の効率化など、プロダクトアウトの発想からマーケットインの発想に基づいたサプライチェーンの最適化が図れるよう、需要情報を共有できる取組みが必要とされる。</p> <p>日本木青連としても、会員間が共に情報共有して共に未知に溢れた未来を切り拓いていける仲間づくりができることこそが真価であり、「同志(とも)」とのつながりを積極的に活用してサプライチェーンを推進することが求められる。</p> <p>【目的】 会員内複数の企業間で統合的な生産システムや物流システムを構築し、川下から川中、川中から川上への情報の共有、川上から川下までの木材の流れを整備し、経営の成果を高められる環境を整備すること。特定の会員だけではなく、全会員がサプライチェーン・マネジメントを推進できる環境を「ともに」整備することを目的とする。</p>
--------------------------	---

事業概要 ※場所・参加員数計画・実施組織・目的達成のための手法・事業実施までのスケジュール等なるべく詳細に記載してください	日時	令和4年4月1日～令和4年12月31日
	<p>■ 会員システム再構築</p> <p>※以下年間スケジュール予定より</p> <p>01 アンケートの検討(3月末まで)</p> <p>02 アンケート実施(4月)</p> <p>03 ニーズヒアリング(4月)</p> <p>04 外部団体へのヒアリング(4月～6月)</p> <p>05 アンケート結果分析(5月～7月)</p> <p>06 会員企業業種別カテゴリー仕分(5月～7月)</p> <p>07 会員検索システム再構築(8月～9月)</p> <p>※会員検索システムリニューアル仮運用 12月上旬予定</p> <p>参加者： 飯南 IT サービス、木青連事務局、総務委員会</p>	

	<p>場 所 : WEB 上</p> <p>目 的 : 現在の会員検索システムから会員企業のより細かな情報を検索できるシステムに再構築することで、検索における効率化と、企業情報の共有が容易となる</p> <p>内 容 : ①アンケート実施内容に基づく会員検索システムリニューアル内容の検討、操作確認 (添付資料有)</p> <p>②会員検索システムリニューアルに伴う、木青連事務局、総務委員会年次スケジュールにおける会員名簿、出向票の更新時期と内容の確認</p> <p>* 予算書へ * 参考資料へ</p>	
<p>協議のポイント</p> <p>※特に協議や意見が欲しいことについて箇条書きにて記載してください</p>	<p>①会員検索システムリニューアル内容</p> <p>②上記における予算案</p>	
<p>前回までの意見と対応</p>	<p>日付</p>	<p>要旨</p> <p>R4.9.17 第3回理事会</p> <p>意見: ホームページ URL の入力方法が複雑で簡素化できないか 対応: 是正した内容で更新しました</p> <p>意見: 会員検索システム内における OB の扱いは検討しているか 対応: 現在検討中です</p> <p>意見: 会員検索システムをスマートフォン等で閲覧、更新する上で懸念されることはないか 対応: 多少文字は小さくなってしまうものの、操作上問題はないと判断に至っております</p> <p>意見: 会員検索システムと Google マップ等との連携は図れないものか 対応: 更新した会員検索システムの内容に反映しました</p>

協議(審議)事項

会員検索リニューアル

半角スペースで複数ワードの指定ができます。

- ①生産部門
- 森林・林業 製造 プレカット 木質製品 バイオマス
 - (1)森林・林業
 - 山林保有 苗木生産 素材生産 育苗林 (楡林・下刈・間伐) その他
 - (2)製造
 - 構造用製材 集成材 CLT パネル加工 造作用製材 下地用製材 広葉樹製材 建具製材 不燃木材 防菌木材 パレット
 - 木炭 普通合板 型枠合板 構造用合板 化粧合板 LVL 製紙用チップ バイオマス用チップ 木質用チップ その他
 - (3)プレカット
 - 在来軸組工法 金物工法 ツーバイ工法 特殊加工 CAD その他
 - (4)木質製品
 - 家具 木製サッシ 木質断熱材 おもちゃ その他
- ②流通部門
- 市場 建築・土木 間屋 小売 卸売
 - (1)市場
 - 原木 製品
 - (2)建築・土木
 - 住宅 非住宅 エクステリア
- ③その他部門
- 機械類 運送 その他
-
- 並び替え：
 昇順 降順

会員検索リニューアル 操作説明書

現在774名の登録があります。一度に表示できるのは20名ずつです。

名前	都道府県	木青連役職	会社名	業種-検索用	更新日	顔写真
川井 博貴	高知	会長	(有) 川井木材	森林・林業, 山林保有, 育苗林 (楡林・下刈・間伐)	2022年8月2日 6:19 PM	
島田 直政	長野	代行副会長	有限三木材	製造, 構造用製材, 集成材	2022年8月3日 3:07 PM	No image
松原 輝和	北海道	直前会長	松原産業 (株)	小売, 卸売	2022年8月3日 3:08 PM	
吉田 勝利	北海道	副会長	(株) ヨシダ	製造, 構造用製材, 集成材, CLT	2022年8月3日 3:07 PM	No image
山崎 和昭	福島	副会長	和田木材 (有)	製造, 構造用製材, 造作用製材, 建具製材	2022年8月3日 2:57 PM	
田口 房国	岐阜	副会長	(株) 山共	森林・林業, 製造, 山林保有, 素材生産, 構造用製材, 木質用チップ	2022年8月3日 3:09 PM	
砂田 達太郎	愛媛	副会長	(株)サイプレス・スナダマ		2022年7月22日 2:48 PM	No image

リニューアル後の会員検索の画面

①

半角スペースで複数ワードの指定ができます。

項目を指定せずにフリーワードでの検索が可能になりました。名前、地区、木青連の役職など、好きなワードで検索ができます。半角スペースを入れることで複数ワードでの検索も可能です。複数ワードを入れるといずれかのワードを含む会員情報がヒットする「or検索」となります。

①生産部門

森林・林業 製造 プレカット 木質製品 バイオマス

(1)森林・林業

山林保有 苗木生産 素材生産 育造林(植林-下刈-間伐) その他

(2)製造

構造用製材 集成材 CLT パネル加工 造作用製材 下地用製材 広葉樹製材 建具製材 不燃木材 防腐木材 パレット

木炭 普通合板 型枠合板 構造用合板 化粧合板 LVL 製紙用チップ バイオマス用チップ 木質用チップ その他

(3)プレカット

在来軸組工法 金物工法 ツーバイ工法 特殊加工 CAD その他

(4)木質製品

家具 木製サッシ 木質断熱材 おもちゃ その他

②流通部門

市場 建築・土木 問屋 小売 卸売

(1)市場

原木 製品

(2)建築・土木

住宅 非住宅 エクステリア

③その他部門

機械類 運送 その他

②

業種で絞り込むことが可能になりました。フリーワードと併せて絞り込むこともできますし、業種のみでの検索もできます。複数の業種を選択した時は、選択した全ての業種を含む会員情報がヒットする「and検索」となります。

業種で「or検索」がしたい時は、フリーワード検索の部分に複数の業種を入力することで可能となります。

従来通り、「Search」で検索、「Clear」で検索結果・条件を初期化します。

③

さらに検索結果を並び替えるソート機能を追加しました。現在は木青連役職と登録情報の更新日でのソートが可能です。条件と昇順・降順を選択して「Sort」ボタンを押すと並び替えが可能です。

並び替え：
 昇順 降順

④

リニューアル後の会員一覧の見え方

会社のホームページをお持ちの場合はこちらに表示され、そのままホームページに飛ぶことができるようになりました。

新しく追加された項目、業種が一覧から確認出来、業種での検索がしやすくなります。

新しく追加された項目、顔写真が表示されます。顔写真は会員検索システムの登録情報変更時に必須項目となります。

更新日が表示されるようになり、誰が情報を更新しているのかわかりやすくなりました。

③その他部門
 機械類 運送 その他

Search Clear

並び替え：
木青連役職 昇順 降順 Sort

現在774名の登録があります。一度に表示できるのは200名ずつです。

名前	都道府県	木青連役職	会社名	⑤ HP 業種-検索用	⑥	⑦ 更新日	⑧ 顔写真
川井 博貴	高知	会長	(有) 川井木材	HP 森林・林業, 山林保有, 育造林 (植林-下刈-間伐)		2022年10月17日 3:23 AM	
島田 直政	長野	代行副会長	(株)第三木材	製造, 構造用製材, 集成材		2022年9月27日 8:35 AM	No Image
松原 輝和	北海道	直前会長	松原産業 (株)	HP 小売, 卸売		2022年10月17日 3:25 AM	
吉田 勝利	北海道	副会長	(株) ヨシダ	製造, 構造用製材, 集成材, CLT		2022年9月23日 2:14 AM	No Image
山崎 和昭	福島	副会長	和田木材 (有)	HP 製造, 構造用製材, 造作用製材, 建具製材		2022年10月17日 3:25 AM	
田口 房国	岐阜	副会長	(株) 山共	HP 森林・林業, 製造, 山林保有, 素材生産, 構造用製材, 木質用チップ		2022年10月17日 3:26 AM	

登録内容変更のやり方①

業種-小分類 (建
築・土木)

業種-検索用

森林・林業, 山林保有, 育造林 (植林-下刈-間伐)

更新箇所

⑨

登録内容を変更する

会員一覧から会員名をクリックして詳細ページに入り、一番下にある「登録内容を変更する」をクリック。



登録変更用のリンクをリクエストします。

⑩

Email*必須

会員検索システムに登録済みのメールアドレスを入力して下さい。

⑪

Submit

木青連に登録済みのメールアドレスを入力して「Submit」をクリック。成功すると登録変更用のURLが記載されたメールが届きますので、メール内のリンクをクリック。

登録済みのメールアドレスと一致しないと先に進むことができません。

メールアドレスを変更したり、登録済みのメールアドレスがわからなくなってしまった場合は事務局までお問い合わせ下さい。

登録内容変更のやり方②

名前*必須	<input type="text" value="山崎 和昭"/>
フリガナ*必須	<input type="text" value="ヤマザキ カズアキ"/>
Email*必須	<input type="text" value="mokuseitarou1234@gmail.c"/>
木青連役職	<input type="text" value="副会長"/>
木青連役職 2	<input type="text"/>
地区*必須	<input type="text" value="東北"/> ドロップダウンより選択してください。
都道府県*必須	<input type="text" value="福島"/> ドロップダウンより選択してください。
会団体名*必須	<input type="text" value="福島県木材青壮年協会"/>
郵便番号	<input type="text" value="971-8111"/>
会社名*必須	<input type="text" value="和田木材 (有)"/>
HP	<input type="text" value="https://www.wada-mokuzai."/> <input type="text" value="HP"/> 左枠にhttpから始まるURLのみ入力して、右枠はそのままOKです。
会社役職	<input type="text" value="常務取締役"/>
会社住所	<input type="text" value="福島県いわき市小名浜大原"/>
会社電話番号	<input type="text" value="0246-92-3774"/>

まずは基本情報を入力していきます。「必須」となっているものは入力しないと先に進めません。

木青連役職は事務局側で変更しますので個人での変更はできません。木青連役職2は新たに追加された項目で、役職を兼任している場合に使用します。

会社のホームページをお持ちの場合はこちらにURLを入力します。右枠には「HP」という文字が最初から入っているのものでそのままにして、左枠にhttpから始まるURLを入力してください。

登録内容変更のやり方③

今回新たに追加された項目です。会員検索システムを利用する場合、顔写真の登録が必須となります。必ず顔がわかる写真を登録して下さい。

⑭ 顔写真*必須	 サイズ制限:2MB
⑮ プロフィール画像	<input type="text" value="ファイルを選択"/> 選択されていません サイズ制限:2MB
⑯ 会社PR	<input type="text"/>
⑰ facebook	<input type="text" value="(URL)"/> <input type="text" value="Link Text"/> 左枠にURLのみ入力して、右枠は空白でOKです。
instagram	<input type="text" value="(URL)"/> <input type="text" value="Link Text"/> 左枠にURLのみ入力して、右枠は空白でOKです。
twitter	<input type="text" value="(URL)"/> <input type="text" value="Link Text"/> 左枠にURLのみ入力して、右枠は空白でOKです。
LINE ID	<input type="text"/>

こちらは顔写真でも会社のPR画像でもなんでも大丈夫な任意項目です。

会社PRの内容もフリーワード検索にヒットするようになりましたので、ぜひご活用下さい。

インスタグラムやラインIDなども任意で表示できるようになりました。登録されている方はぜひご活用下さい。

登録内容変更のやり方④

18

業種-大分類	<input checked="" type="checkbox"/> 生産 <input type="checkbox"/> 流通 <input type="checkbox"/> その他 複数選択可
業種-中分類 (生産部門)	<input type="checkbox"/> 森林・林業 <input checked="" type="checkbox"/> 製造 <input type="checkbox"/> プレカット <input type="checkbox"/> 木質製品 <input type="checkbox"/> バイオマス
業種-中分類 (流通部門)	<input type="checkbox"/> 市場 <input type="checkbox"/> 建築・土木 <input type="checkbox"/> 問屋 <input type="checkbox"/> 小売 <input type="checkbox"/> 卸売
業種-中分類 (その他部門)	<input type="checkbox"/> 機械類 <input type="checkbox"/> 運送 <input type="checkbox"/> その他
業種-小分類 (森林・林業)	<input type="checkbox"/> 山林保有 <input type="checkbox"/> 苗木生産 <input type="checkbox"/> 素材生産 <input type="checkbox"/> 育造林 (植林-下刈-間伐) <input type="checkbox"/> その他
業種-小分類 (製造)	<input checked="" type="checkbox"/> 構造用製材 <input type="checkbox"/> 集成材 <input type="checkbox"/> CLT <input type="checkbox"/> パネル加工 <input checked="" type="checkbox"/> 造作用製材 <input type="checkbox"/> 下地用製材 <input type="checkbox"/> 広葉樹製材 <input checked="" type="checkbox"/> 建具製材 <input type="checkbox"/> 不燃木材 <input type="checkbox"/> 防腐木材 <input type="checkbox"/> パレット <input type="checkbox"/> 木炭 <input type="checkbox"/> 普通合板 <input type="checkbox"/> 型枠合板 <input type="checkbox"/> 構造用合板 <input type="checkbox"/> 化粧合板 <input type="checkbox"/> LVL <input type="checkbox"/> 製紙用チップ <input type="checkbox"/> バイオマス用チップ <input type="checkbox"/> 木質用チップ <input type="checkbox"/> その他
業種-小分類 (プレカット)	<input type="checkbox"/> 在来軸組工法 <input type="checkbox"/> 金物工法 <input type="checkbox"/> ツーバイ工法 <input type="checkbox"/> 特殊加工 <input type="checkbox"/> CAD <input type="checkbox"/> その他
業種-小分類 (木質製品)	<input type="checkbox"/> 家具 <input type="checkbox"/> 木製サッシ <input type="checkbox"/> 木質断熱材 <input type="checkbox"/> おもちゃ <input type="checkbox"/> その他
業種-小分類 (市場)	<input type="checkbox"/> 原木 <input type="checkbox"/> 製品
業種-小分類 (建築・土木)	<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 非住宅 <input type="checkbox"/> エクステリア

新たに追加された項目で、ご自身の会社の業種を登録できます。基本的に大分類→中分類→小分類とチェックしていきます。複数の選択が可能ですので、会社で行っている業務を全てチェックして下さい。

登録内容変更のやり方⑤

19

業種-検索用

- 森林・林業 製造 プレカット 木質製品
- バイオマス 市場 建築・土木 問屋 小売 卸売
- 機械類 運送 山林保有 苗木生産 素材生産
- 育造林（植林-下刈-間伐） 構造用製材 集成材 CLT
- パネル加工 造作用製材 下地用製材 広葉樹製材
- 建具製材 不燃木材 防腐木材 パレット 木炭
- 普通合板 型枠合板 構造用合板 化粧合板 LVL
- 製紙用チップ バイオマス用チップ 木質用チップ
- 在来軸組工法 金物工法 ツーバイ工法 特殊加工
- CAD 家具 木製サッシ 木質断熱材 おもちゃ
- 原木 製品 住宅 非住宅 エクステリア

上記項目と同じ項目でもう一度選択して下さい。

こちらはフリーワード検索にヒットさせるために必要な項目となります。会社の業種としてチェックして頂いた業種と同じものを再度チェックして下さい。

更新箇所*必須

- 名前 フリガナ Email 地区 会団名 郵便番号
- 会社名 会社役職 会社住所 会社電話番号
- 携帯番号 会社FAX 顔写真 プロフィール画像
- 会社PR 会社HP facebook instagram twitter
- LINE ID 業種

今回更新した項目のみチェックして下さい

こちらはどこが更新されたのかを知るための項目です。変更した箇所を全てチェックして下さい。次回変更時にもこの情報は残っていますので、次に変更する際には一度チェックを全て外して、変更した部分だけを再度チェックして下さい。

20

変更を保存

21

保存

最後に「保存」をクリックして変更完了です！

Googleマップとの連携①

- (4)木質製品
 - 家具
 - 木製サッシ
 - 木質断熱材
 - おもちゃ
 - その他
 - ②流通部門
 - 市場
 - 建築・土木
 - 問屋
 - 小売
 - 卸売
 - (1)市場
 - 原木
 - 製品
 - (2)建築・土木
 - 住宅
 - 非住宅
 - エクステリア
 - ③その他部門
 - 機械類
 - 運送
 - その他
- Search Clear

並び替え：
 昇順 降順 22



新たにGoogleマップと連携する機能を追加しました。会員検索トップページと個人ページにマップが表示されます。

現在774名の登録があります。一度に表示できるのは200名ずつです。

会員一覧に表示されている全員がマップ上に緑のマーカで表示されます。初期設定では200名とになっていてマーカがわかりづらいですが、検索で絞り込むとわかりやすくなります。

名前	都道府県	木青連役職	23 会社名	HP 業種-検索用	更新日	顔写真
川井 博貴	高知	会長	(有)川井木材	HP 森林・林業, 山林保有, 育造林 (植林-下刈-間伐)	2022年9月27日 9:39 AM	
島田 直政	長野	代行副会長	㈱第三木材	製造, 構造用製材, 集成材	2022年9月27日 8:35 AM	No Image
松原 輝和	北海	直前会長	松原産業(株)	HP 小売, 卸売	2022年9月27日	

24

半角スペースで複数ワードの指定ができます。

①生産部門


森林・林業 製造 プレカット 木質製品 バイオマス

(1)森林・林業

山林保有 苗木生産 素材生産 育造林 (植林-下刈-間伐) その他

例えば、ワード指定で[宮城]、生産部門から[プレカット]にチェックを入れて「Search」ボタンを押します。

25



高橋 暢介 タカハシ ヨウスケ
(株) 山大
宮城県石巻市潮見町2-3
yosuke-takahashi@yamadai.com
Googleマップを開く



マップ上には宮城県のプレカット業者という条件に合った会員のみが表示されます。緑のマーカをクリックすると白いウィンドウが現れて会員情報が見えます。さらに[Googleマップを開く]というリンクをクリックするとGoogleマップが開きますので、そのままルート検索等を行うことができます。

ご不明な点がございましたら事務局までご連絡下さい。

計画議案書

会議開催日： 令和4年 11 月 19 日

協議	審議	予算書	担当副会長	専務	総務委員長
○	○	有	寺見	寺見	佐藤

委員会名(役職名)	全国大会実行委員会	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	笹岡 輝久	
担当副会長名	寺見 良太	

議案名 (事業名称)	登録料 及び 予算書
---------------	------------

外部協力者 協力の種類	第 68 回全国会員高知大会開催時の講演者及び関係団体
----------------	-----------------------------

主旨 ※背景・目的を簡潔 に記載してください	<p>【背景】全国会員大会は日ごろの活動の成果を発表しあうとともに会員相互の親睦と啓発を目的として毎年開催されています。本年度も過去から未来へと続く日本木青連活動の 1 つの節目として開催します。</p> <p>【目的】全国会員高知大会は令和 4 年度の集大成として本年度実施した事業・活動の成果を全国の会員や参加者に発表する。また大会 PR を全国各地で行い、大会当日には各地区・会団の交流ならびに各会員の交流を通じて木材業界の発展と活性化を図る。</p>
------------------------------	---

事業概要 ※場所・参加員数計 画・実施組織・目的 達成のための手法・ 事業実施までのスケ ジュール等なるべく 詳細に記載してくだ さい	日時	令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 6 月 3 日(全国大会予定日)
	<p>令和 4 年度の集大成の場として高知県高知市にて今年度の各委員会の事業成果の発表や、各種コンクールの表彰を行うとともに、会員同士の交流の場・相互の啓発につながる大会作りを目指します。</p> <p>□大会スローガン ～時は今こそ木材の新時代「ともに」みんなで木材界の明日を拓こうぜよ！～</p> <p>□大会開催予定日 ・理事会、前夜祭 2023 年 6 月 2 日(金) ・式典、大懇親会 2023 年 6 月 3 日(土)</p> <p>□大会開催予定地 ・理事会、前夜祭 三翠園(高知市) ・式典 高知県立県民文化ホール(高知市) ・大懇親会 ザ・クラウンパレス新阪急高知(高知市)</p> <p>□各登録料 ・前夜祭登録料 12,000 円 ・大会登録料 15,000 円 ・WEB 登録 5,000 円(WEB 併催となった場合)</p>	

趣 意 書

□日本木材青壮年団体連合会（日本木青連）

日本全国の林業・木材業界の青年経営者及び従事者で組織してます日本木材青壮年団体連合会（以下、日本木青連）は昭和 31 年度に発足し、北は北海道より南は沖縄まで全国を 8 つのブロックとして 45 会団からなる全国組織であります。

業界内外との交流と親睦を通じ、相互の啓発、知識、品位の向上を計り、合わせて林業・木材業に関する社会的な普及啓発活動などを行うことによって木材産業の近代化と社会に貢献することを目的とする団体で、令和 4 年度は約 800 名の会員で構成されております。

また、令和 4 年度のスローガンを『「ともに」～同志と共に築く未来へ繋ぐ木青連の輪～』とし、各会員間だけでなく、各地区や各委員会、木材業界全体の連携を強化し、新しいことに挑戦し、木青連の輪を広げていく活動に取り組みます。

*日本木青連 顧問

元衆議院議長

大島 理森氏

(公財) 日本住宅・木材技術センター理事長 古久保 英嗣氏

東京大学名誉教授

有馬 孝禮氏

□日本木青連 全国会員高知大会

上記 8 ブロックにおける日本木青連のブロックの 1 つとして日本木青連中四国地区協議会があります。

この度、第 68 回日本木青連全国会員高知大会は 6 月 2 日（金）～3 日（土）に高知県高知市で開催されることになり、中四国地区協議会が主管し、高知県青年林材協会が副主管する運びとなりました。この大会を全国の会員が一堂に会して明日の業界を語り、業界振興・業界発展・木材需要拡大への効果的な話し合いの場として一歩でも前進するべく、また木材の利活用を通じて社会貢献へ寄与できるような場にすべく準備を進めている次第です。

今大会は参加人員 500 余人を予定し、『～時は今こそ木材の新時代 「ともに」 みんなで木材界の明日を拓こうぜよ！～』を大会スローガンに実施してきた事業・活動の成果を全国の会員や参加者と共有し、会員相互の連携と啓発をより深化させ、式典及び記念講演を中心に活気溢れる大会を目指しております。

この大会期間に前後して、今大会参加及び地元企業訪問・観光等、県外より多くの方が来県されることで地域振興にも多くの効果が期待されます。つきましては本大会主旨へのご理解を頂き、開催に際し諸事情をご賢察賜りまして、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本木材青壮年団体連合会

令和 4 年度会長 川井 博貴

日本木材青壮年団体連合会 HP <http://www.mokuseiren.jp/>



大会概要

- 大会名称 日本木材青壮年団体連合会
第68回全国会員高知大会
- 大会期日 令和5年6月2日(金)から
令和5年6月3日(土)まで
- 開催場所 各理事会等：三翠園
大会式典：高知県立県民文化ホール
- 主催機関 日本木材青壮年団体連合会
令和4年度会長 川井 博貴
- 主管機関 日本木材青壮年団体連合会
中四国地区協議会
令和4年度会長 田丸 昌平
- 副主管機関 高知県青年林材協会
令和4年度会長 大原 悠仁
- 大会実施担当主体 日本木材青壮年団体連合会 全国大会実行委員会
令和4年度委員長 笹岡 輝久
- 大会スケジュール(予定) 6月2日(金) 於 三翠園
9:30~11:00 令和5年度常任理事会
11:30~12:00 令和4年度常任理事会
12:30~13:30 令和4年度理事会
13:45~15:45 令和5年度理事会
16:00~16:30 第134回通常総会
17:00~18:00 各委員会
6月3日(土) 於 高知県立県民文化ホール
11:30~13:30 大会受付
13:30~16:00 大会式典
16:15~17:30 記念講演

計画議案書

会議開催日： 令和4年 11月 19日

協議	審議	予算書	会長補佐	専務	総務委員長
○		無	三渡	寺見	佐藤

事業名	日本木青連意見集約事業	SDGs 対象目標番号
委員長名(氏名)	三渡保典	
担当副会長名	中岡昌三	

議案名 (事業名称)	日本木青連意見集約事業
---------------	-------------

外部協力者 協力の種類	林野庁 木材利用班など
----------------	-------------

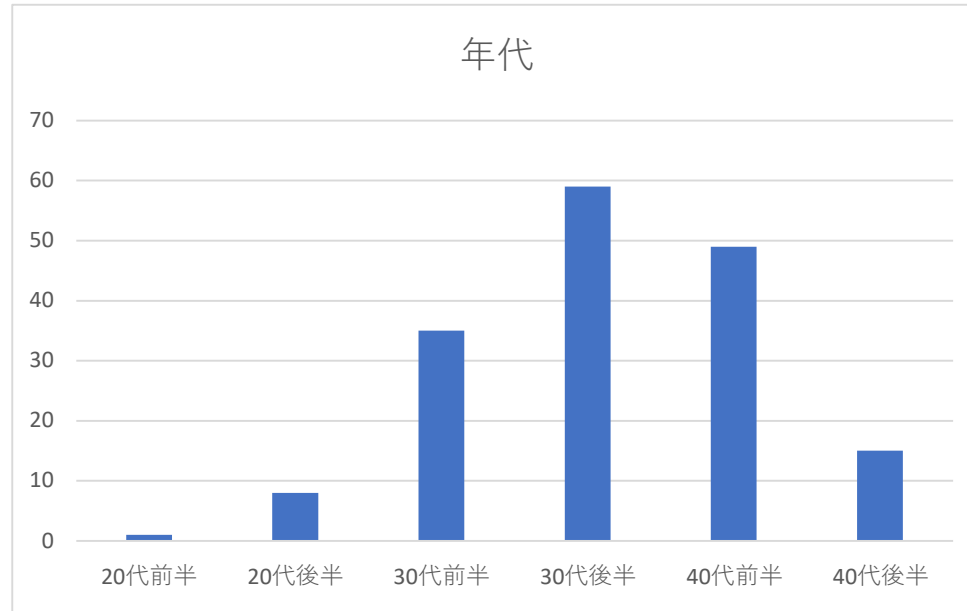
主旨	<p>【背景】木青連には約 800 名の会員が在籍しています。木材業界において会員数の多い木青連は様々な知識や情報が集約でき、スケールメリットを得ることができます。しかし、会員の多くはそのメリットを活かしきれていないのも現状であります。(会長所信より抜粋)</p> <p>日本木青連役員・地区役員・各地会員ごとに参加意識の差があるという仮説をたて、要因を探ることで課題と対策を立てる必要がある。</p> <p>【目的】会員の参加意識の向上を図り、将来への提言をすることで、木材業界のさらなる発展を促し、より良い社会を建設すること。</p>
----	---

事業概要	日時	令和4年4月1日～令和5年3月31日
	<p>Google フォームにて一斉アンケート調査を行い分析し、下記3点を作成、提出する。</p> <p>イ) 会員の参加意識向上のための施策提言書。(日木・地区・会団)</p> <p>ロ) 将来日本木青連で行うべき事業等の提言書。(日木)</p> <p>ハ) 会員拡大施策の提言書。(日木・地区・会団)</p> <p>タイムスケジュール</p> <p>(P)4月8日常任理事会 4月16日理事会:設問作成の為の意見集約(地区長・会団長より)</p> <p>(D)5月末: アンケート設問(案)をまとめる。林野庁との意見交換。</p> <p>(C)9月17日理事会:アンケート設問審議承認のちアンケート実施、統計分析、取りまとめ。</p> <p>(A)10月末: 上記施策提言書(案)をまとめ、理事会後配信。</p> <p>1月14日理事会:審議承認。</p> <p>3月4日理事会:フィードバック講習(対象者:次年度常任理事・理事)及び資料送付並びに木青ネットアップ。</p> <p>※ポイント① アンケート設問(案)、施策提言(案)をあえて理事会審議対象にすることで、正式な日本木青連の資料となり、閲覧者がより参考にし易い提言書とする。</p>	

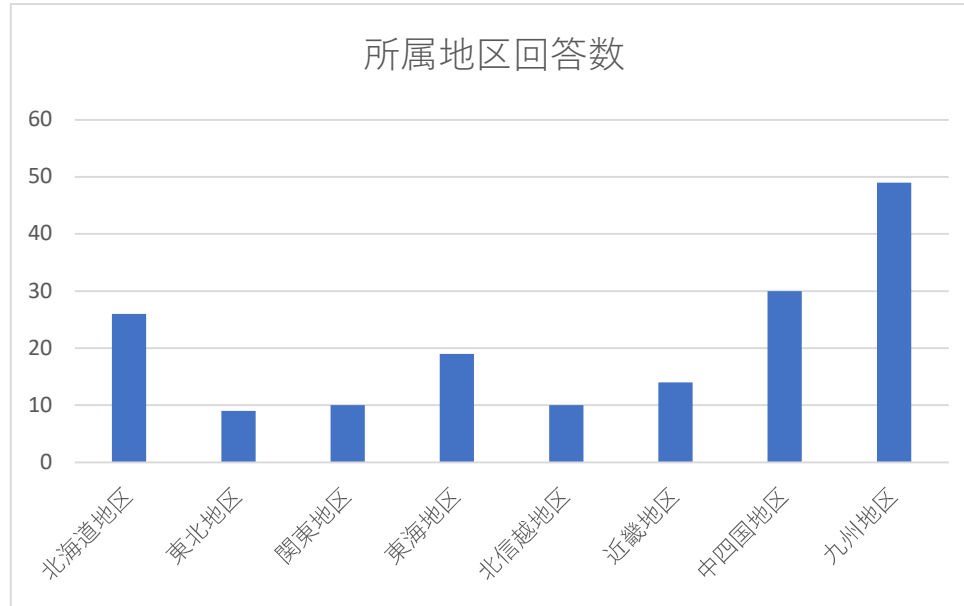
	<p>※ポイント②</p> <p>・提言書は単年度制である日本木青連や地区協議会、会団が年度ごとに事業構築する際、背景などを考察するための統計上の根拠であって、個別具体的な施策をあげて押し付けるものではない。主体的(〇〇だろう的)な事業構築から、客観的(〇〇だから)な事業構築をしてもらうための資料と位置付ける。</p> <p>※ポイント③</p> <p>アンケート回収目標設定および根拠</p> <p>サンプル数 3 点(常任経験者用・理事経験者用・会員用)</p> <p>サンプルサイズ 母数 800 人に対し目標 240 人</p> <p>信頼係数 90%以上、誤差 10%程度で想定する。(※信頼係数 90~95%が一般的。)</p> <p>常任経験者 85/150、理事経験者 85/150、会員 100/500 程度が必要と考える。</p> <p>誤差計算式 $E=2\sqrt{(p(1-p)/n)}$にて算出。</p> <p>* 予算書なし * 参考資料なし</p>															
<p>協議のポイント</p> <p>※特に協議や意見が欲しいことについて箇条書きにて記載してください</p>	<p>①本事業計画書は 3 月理事予定者会議にて承認されたので、今回は参考資料として掲載する。</p> <p>②アンケート回収は常任経験者 97、理事経験者 89、会員 167、合計 353/783 もの回答を頂きました。参考までに添付しています。これをもとに上記3つの提言書(案)は、理事会終了後にメール配信いたします。ご意見は Google フォームにて頂き、修正したうえで、1 月に審議承認頂く予定です。</p> <p>③各地区、会団、社業でも活かして頂けるようにアンケートのエクセル元データは個人情報情報を消去したうえでメールアドレスを頂いた方に2月頃送信いたします。</p>															
<p>前回までの意見と対応</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>要旨</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022/01/15 第 2 回常任理事予定者会議</td> <td>意見 1:アンケートについては理事会審議いららないのでは? 対応 1:より広くご意見が頂きたいのと、アンケートが提言書の根拠となるので審議対象としたい。</td> </tr> <tr> <td>2022/01/15 第 2 回常任理事予定者会議</td> <td>意見 2:施策提言書を義務化すると例年社会情勢が変わる中で柔軟な事業が出来なくなるのでは? 対応 2:ポイント②を追加しました。</td> </tr> <tr> <td>2022/02/25 第 3 回常任理事予定者会議</td> <td>意見 特になし。質問のみ。</td> </tr> <tr> <td>2022/04/16 第 1 回理事会</td> <td>意見 会団会員向けについてはなるべくストレートに生々しい質問をお願いします。 意見 各会員各々企業の課題についての質問もお願いします。日本事業にも反映できるはずです。 意見 最長入力時間 5 分、20 問までくらいのアンケートを心がけてください。 対応 上記反映いたします。</td> </tr> <tr> <td>2022/05/27 第 2 回理事会</td> <td>意見 特になし。質問のみ。</td> </tr> <tr> <td>2022/09/09 第 3 回常任理事会</td> <td>意見 メールアドレス記入欄を任意にして欲しい。 対応 任意にし、アンケートデータが欲しい人のみ記入するようにしました。</td> </tr> </tbody> </table>	日付	要旨	2022/01/15 第 2 回常任理事予定者会議	意見 1:アンケートについては理事会審議いららないのでは? 対応 1:より広くご意見が頂きたいのと、アンケートが提言書の根拠となるので審議対象としたい。	2022/01/15 第 2 回常任理事予定者会議	意見 2:施策提言書を義務化すると例年社会情勢が変わる中で柔軟な事業が出来なくなるのでは? 対応 2:ポイント②を追加しました。	2022/02/25 第 3 回常任理事予定者会議	意見 特になし。質問のみ。	2022/04/16 第 1 回理事会	意見 会団会員向けについてはなるべくストレートに生々しい質問をお願いします。 意見 各会員各々企業の課題についての質問もお願いします。日本事業にも反映できるはずです。 意見 最長入力時間 5 分、20 問までくらいのアンケートを心がけてください。 対応 上記反映いたします。	2022/05/27 第 2 回理事会	意見 特になし。質問のみ。	2022/09/09 第 3 回常任理事会	意見 メールアドレス記入欄を任意にして欲しい。 対応 任意にし、アンケートデータが欲しい人のみ記入するようにしました。	
日付	要旨															
2022/01/15 第 2 回常任理事予定者会議	意見 1:アンケートについては理事会審議いららないのでは? 対応 1:より広くご意見が頂きたいのと、アンケートが提言書の根拠となるので審議対象としたい。															
2022/01/15 第 2 回常任理事予定者会議	意見 2:施策提言書を義務化すると例年社会情勢が変わる中で柔軟な事業が出来なくなるのでは? 対応 2:ポイント②を追加しました。															
2022/02/25 第 3 回常任理事予定者会議	意見 特になし。質問のみ。															
2022/04/16 第 1 回理事会	意見 会団会員向けについてはなるべくストレートに生々しい質問をお願いします。 意見 各会員各々企業の課題についての質問もお願いします。日本事業にも反映できるはずです。 意見 最長入力時間 5 分、20 問までくらいのアンケートを心がけてください。 対応 上記反映いたします。															
2022/05/27 第 2 回理事会	意見 特になし。質問のみ。															
2022/09/09 第 3 回常任理事会	意見 メールアドレス記入欄を任意にして欲しい。 対応 任意にし、アンケートデータが欲しい人のみ記入するようにしました。															

協議事項

年代	個数 / 年代	割合
20代前半	1	1%
20代後半	8	5%
30代前半	35	21%
30代後半	59	35%
40代前半	49	29%
40代後半	15	9%

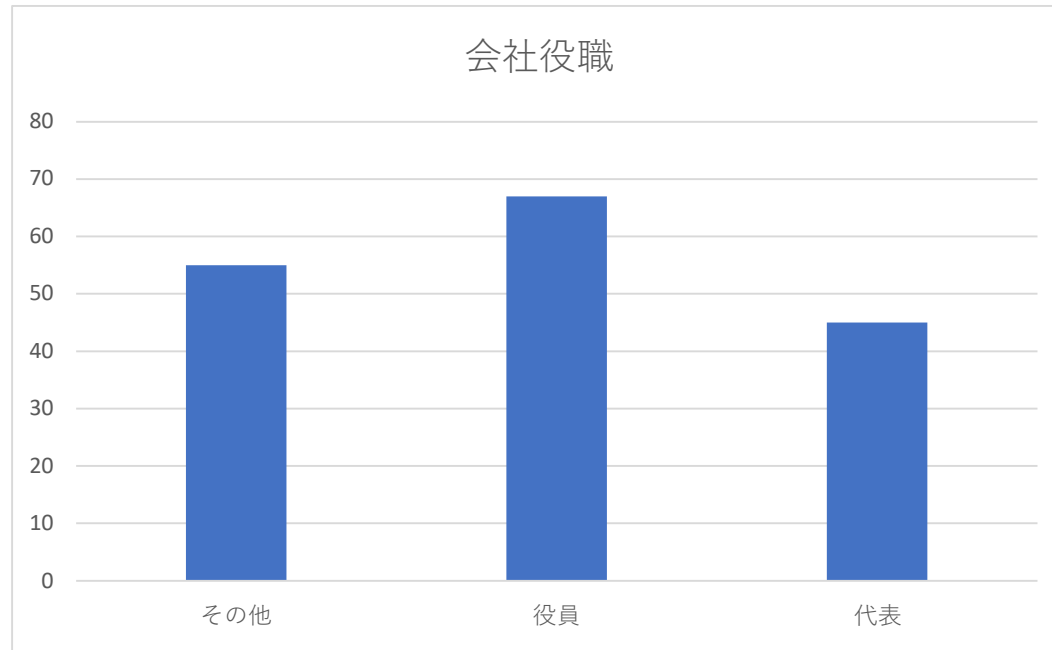


所属地区	個数	割合
北海道地区	26	16%
東北地区	9	5%
関東地区	10	6%
東海地区	19	11%
北信越地区	10	6%
近畿地区	14	8%
中四国地区	30	18%
九州地区	49	29%



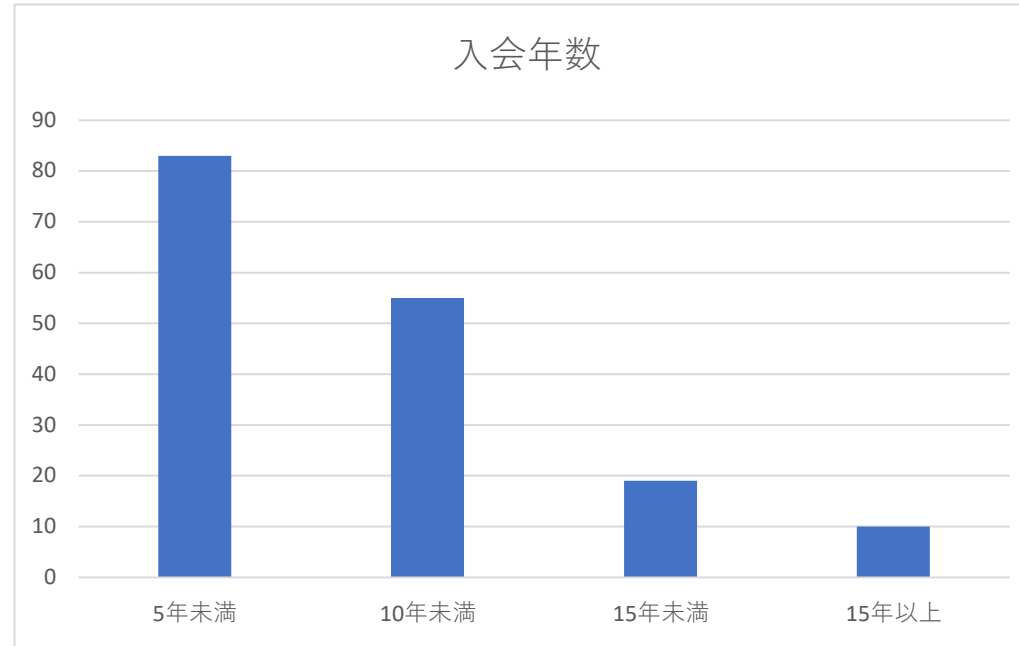
意見集約事業アンケート会員

会社役職	個数	割合
その他	55	33%
役員	67	40%
代表	45	27%

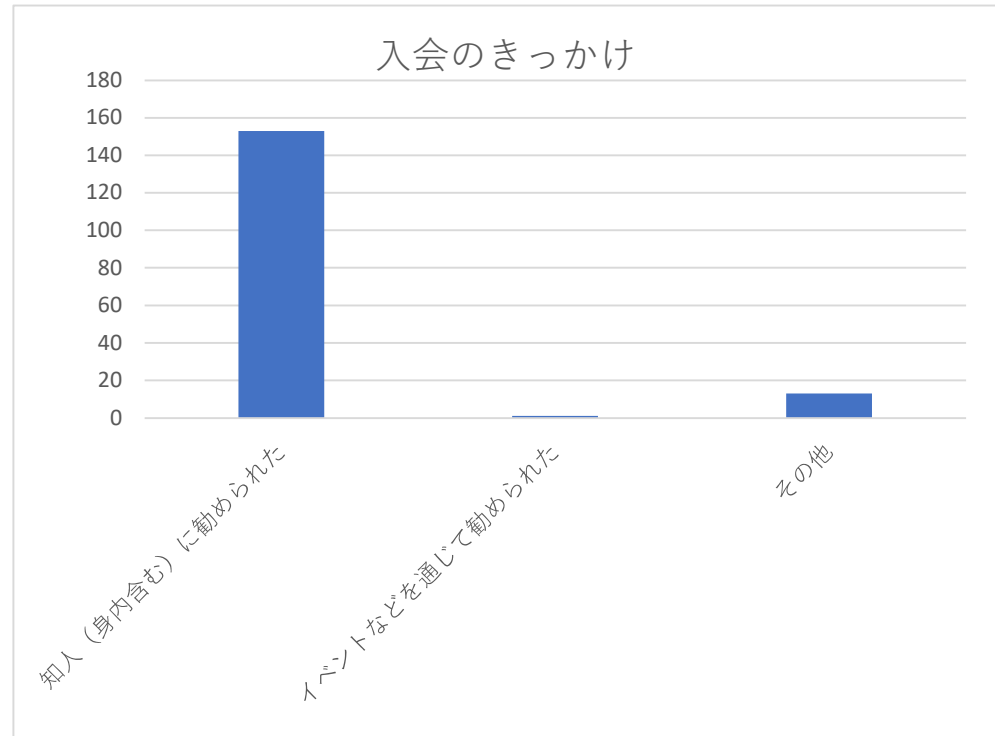


意見集約事業アンケート会員

入会年数	個数	割合
5年未満	83	50%
10年未満	55	33%
15年未満	19	11%
15年以上	10	6%



入会のきっかけ	個数	割合
知人（身内含む）に勧められた	153	92%
イベントなどを通じて勧められた	1	1%
その他	13	8%



その他コメント

自社入会会員卒業の為交代

自動的な流れ

会社からの指示

会社として入ってます

会社上司の引継ぎ

怪しいイベント(例会)に連れて行かれました

社長からの引継ぎ

社長からの入会斡旋

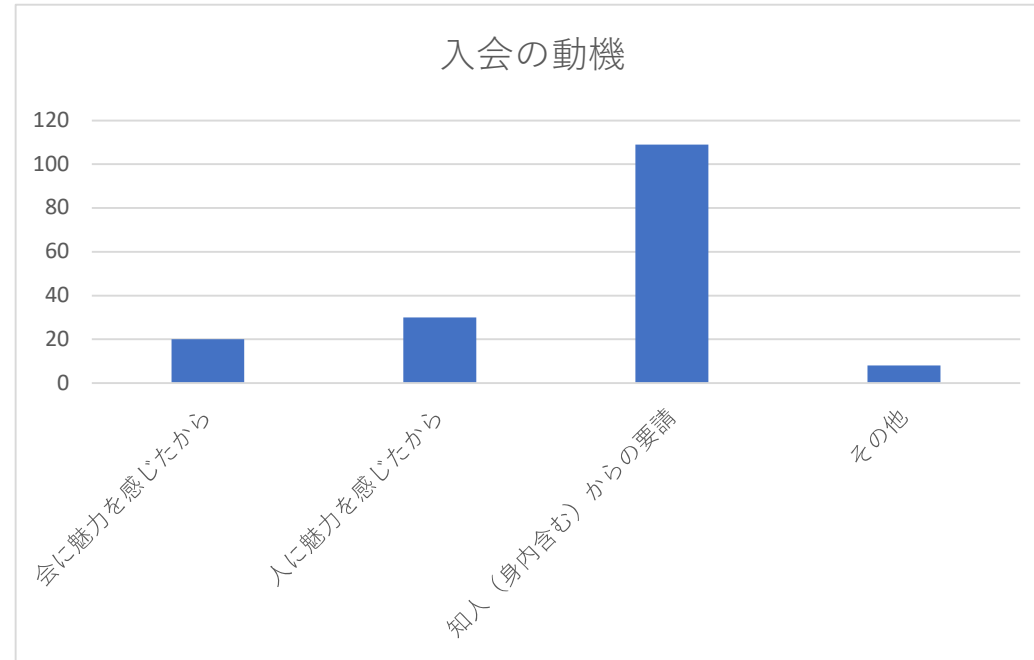
社内での引継ぎで。

先輩社員からの引継ぎ

前社の社長から引継ぎ

前任者からの引継ぎ

入会の動機	個数	割合
会に魅力を感じたから	20	12%
人に魅力を感じたから	30	18%
知人（身内含む）からの要請	109	65%
その他	8	5%



その他コメント

会社命令

業界の情報収集・同業者との親交を深める為。

自社入会会員卒業の為交代

先輩からの命令

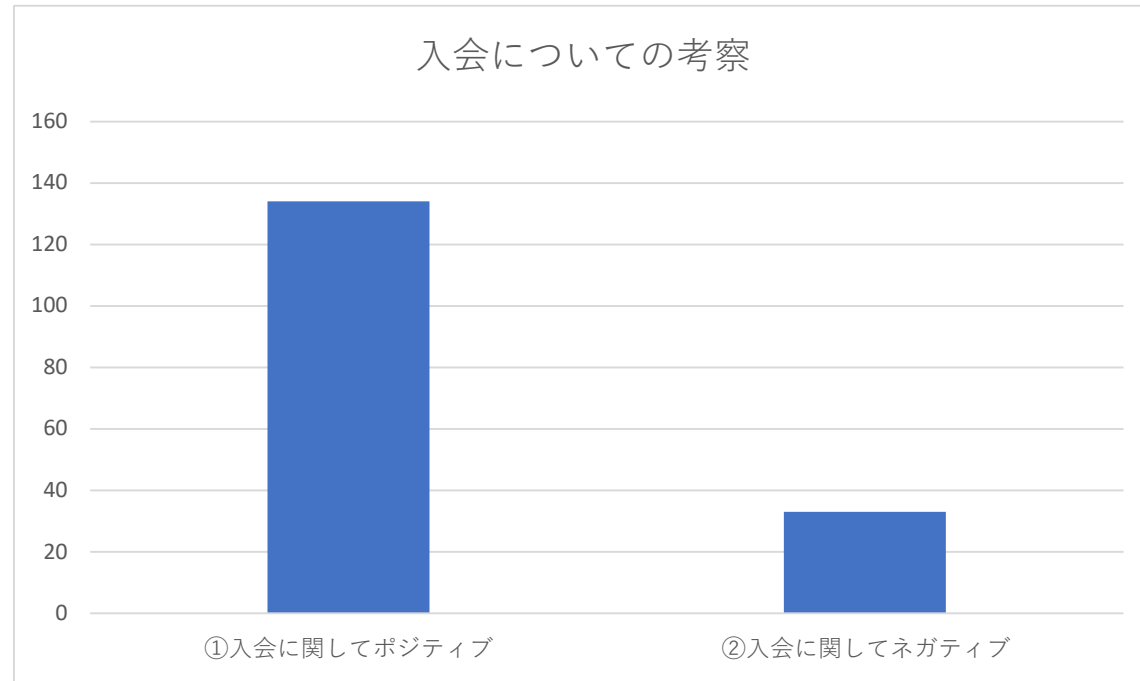
前任者からの推薦

前任者からの要請

当時の会団長からマインドコントロールされました

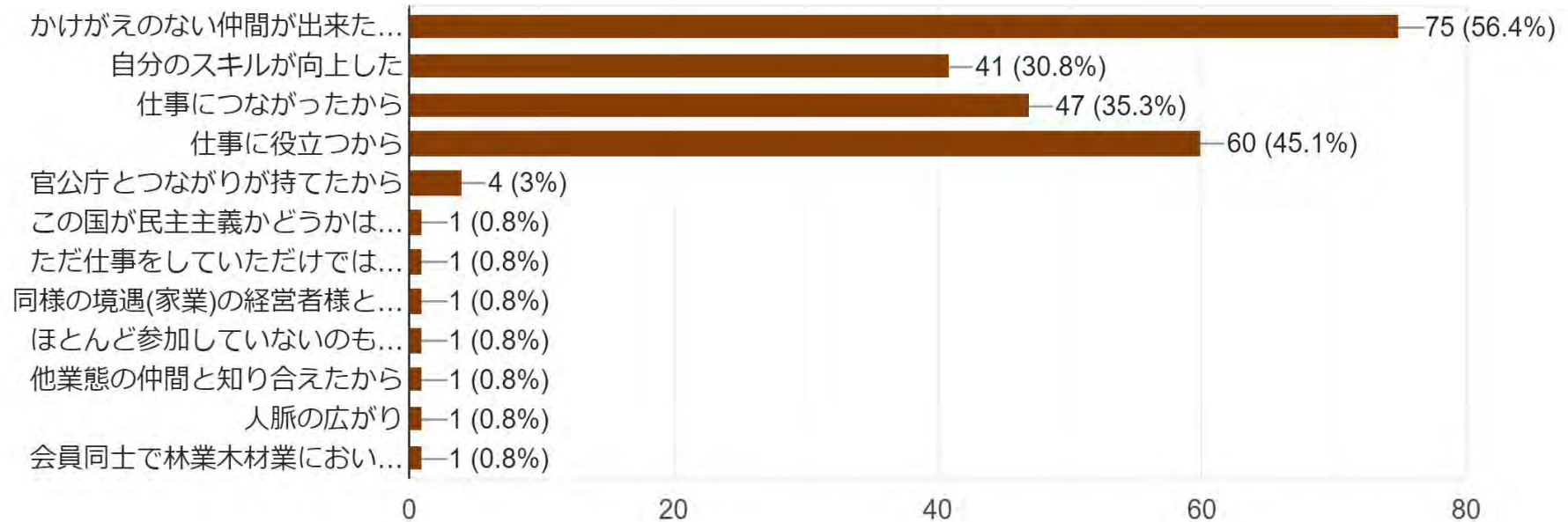
入会する事が前提

入会についての考察	個数	割合
①入会に関してポジティブ	134	80%
②入会に関してネガティブ	33	20%



上記①を選んだ理由

133件の回答



その他コメント

この国が民主主義かどうかはわかりませんが、一般的に民主主義に於いては数が正義です。現在の日本のスタンスには正直不満は多いですが、国・政治を脅せるだけの数は確保しなければなりません。そういった意味で入会に関してはポジティブです。そういう意味で

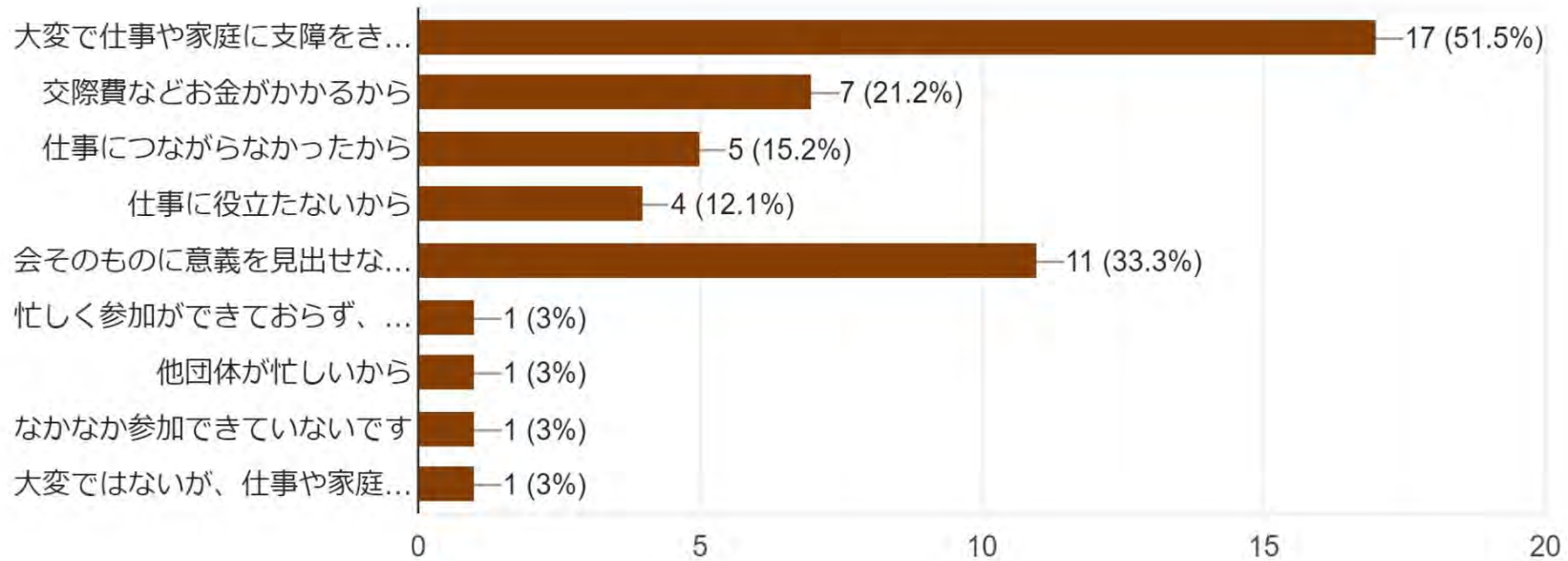
ただ仕事をしていただけでは関わることができなかった人と関わることができたため。 同様の境遇(家業)の経営者様との交流のため

ほとんど参加していないのもあるが、負担にはなっていないので。 他業態の仲間と知り合えたから 人脈の広がり

会員同士で林業木材業において意見交換できる場が貴重だと思います。

上記②を選んだ理由

33件の回答



その他コメント

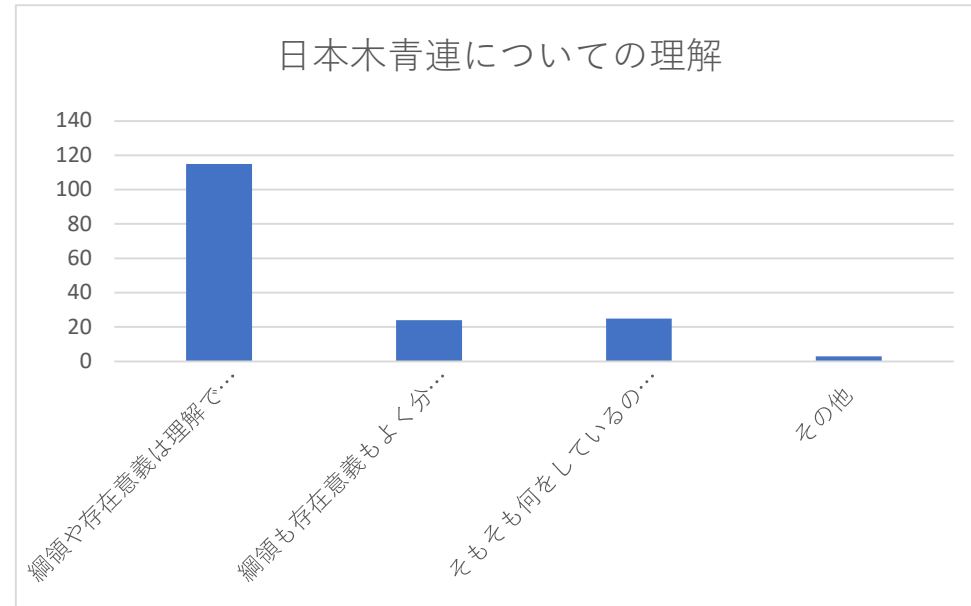
忙しく参加ができておらず、申し訳ない状態

他団体が忙しいから

なかなか参加できていないです

大変ではないが、仕事や家庭に支障をきたしているのは事実

日本木青連についての理解	個数	割合
綱領や存在意義は理解できている。	115	69%
綱領も存在意義もよく分からない。	24	14%
そもそも何をしているのかも分からない。	25	15%
その他	3	2%



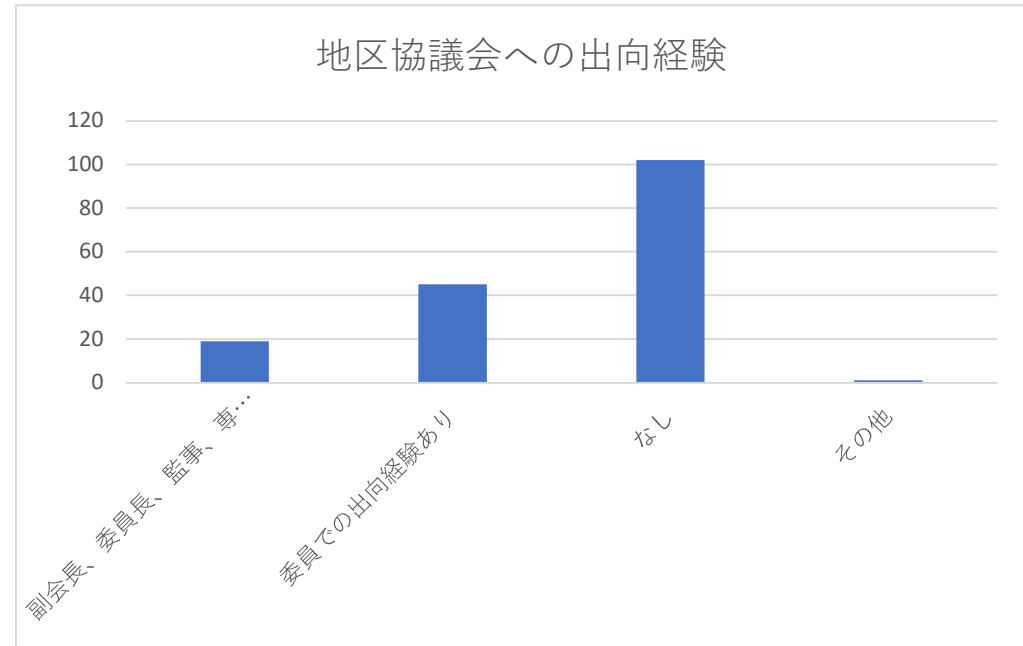
その他コメント

1年未満のためまだ理解しておりません

綱領も存在意義も暗記はしてませんが、ある程度理解はしているつもりです。が、それが全ての人に受け入れられるものだとは思っていません。

中身を知らない

地区協議会への出向経験	個数	割合
副会長、委員長、監事、専務の出向経験あり	19	11%
委員での出向経験あり	45	27%
なし	102	61%
その他	1	1%

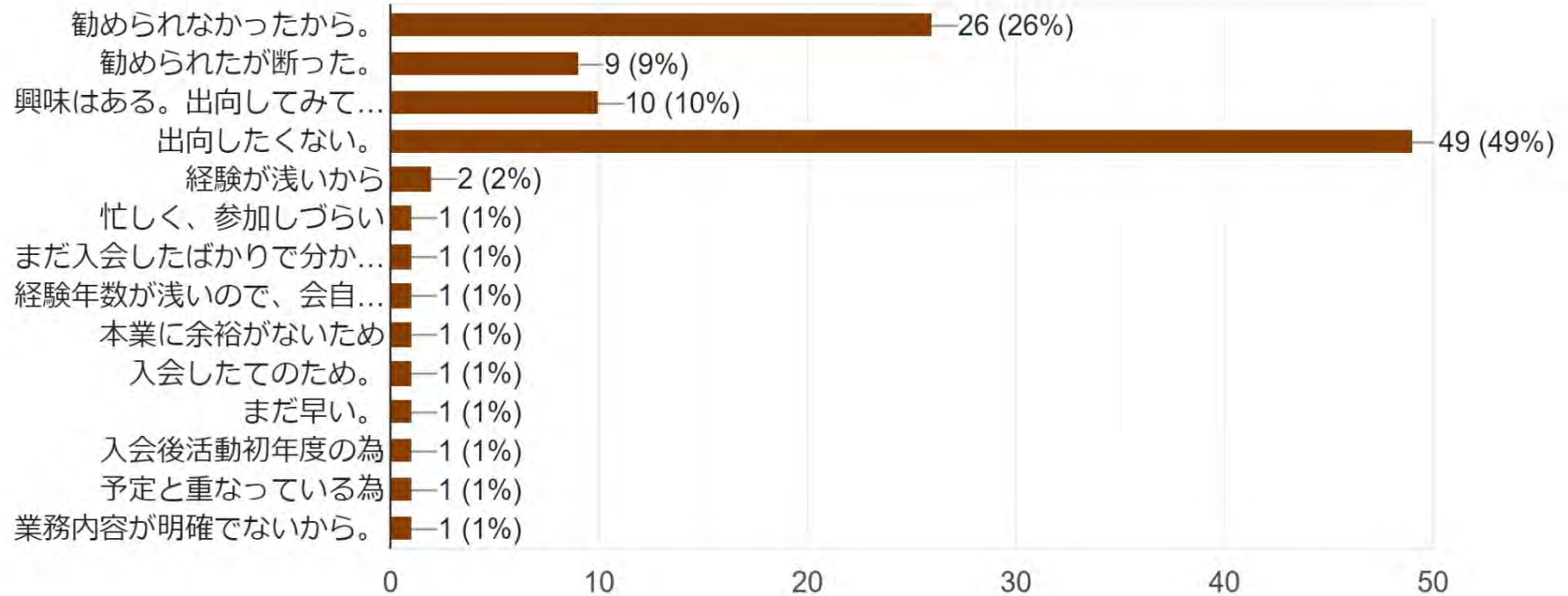


その他コメント

会社員の為、なかなか難しい

上記なしを選択した方のみ応えてください。

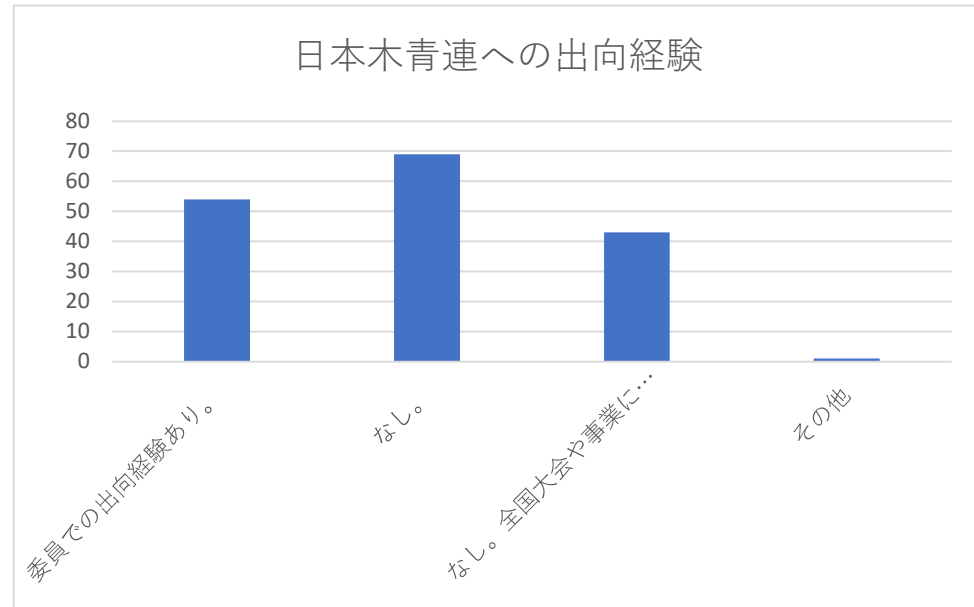
100件の回答



その他コメント

時間が合わなかった。まだ入会したばかりで分からない。経験年数が浅いので。会自体入会したてのため。まだ早い。経験が浅いから予定と重なっていた為。業務内容が明確でないから。

日本木青連への出向経験	個数	割合
委員での出向経験あり。	54	32%
なし。	69	41%
なし。全国大会や事業には参加したことがある。	43	26%
その他	1	1%

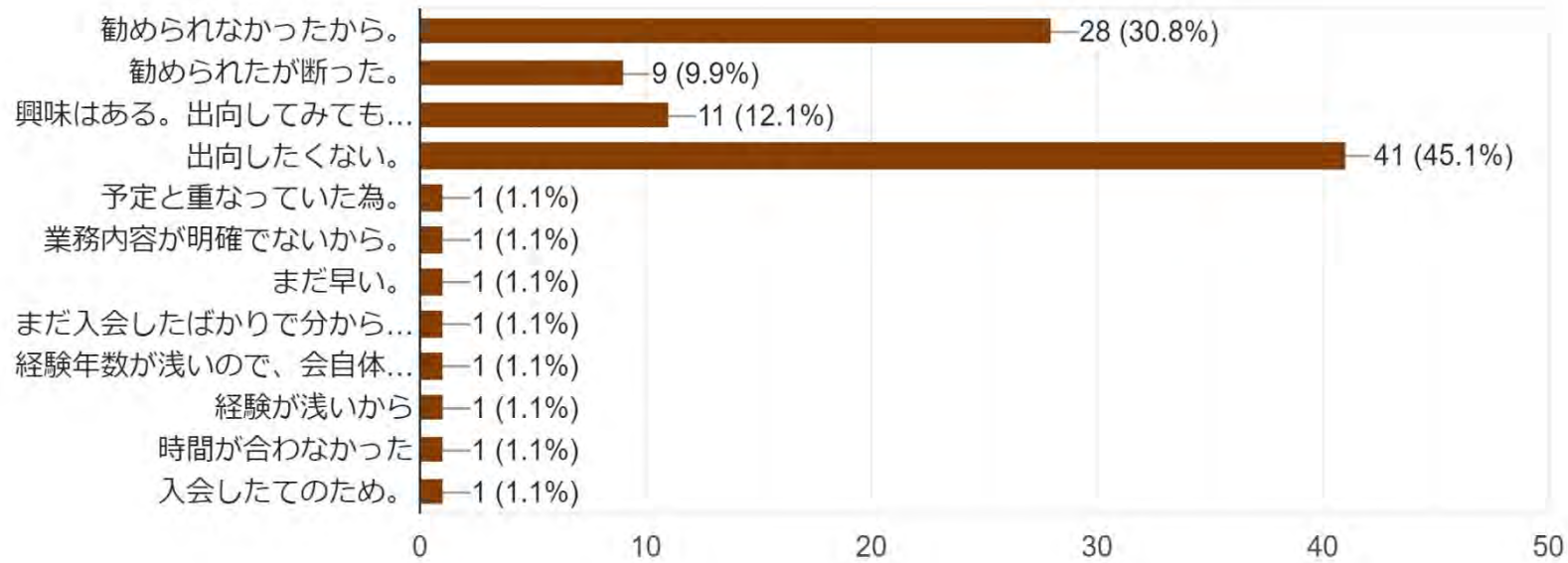


その他コメント

他のグループと日にちがかぶり、参加できていない

上記なしを選択した方のみ応えてください。

91件の回答

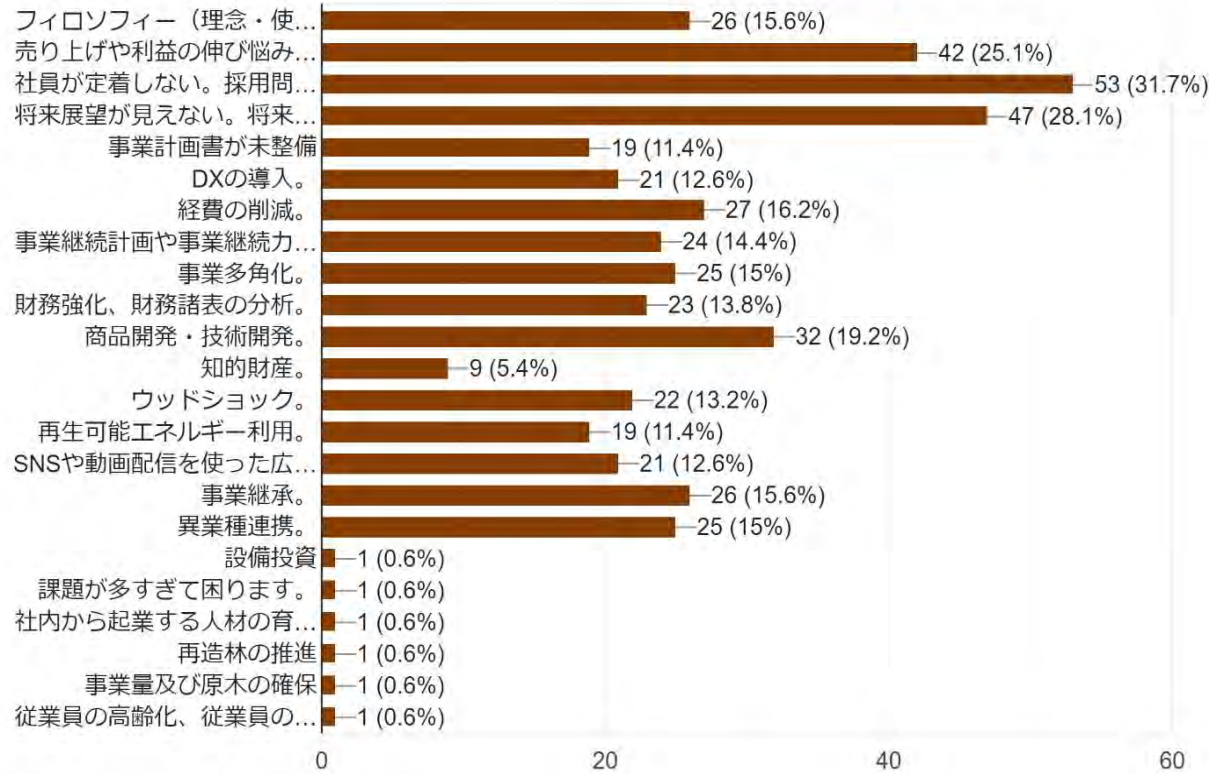


その他コメント

予定と重なっていた為。業務内容が明確でないから。まだ早い。まだ入会したばかりで分からない。経験年数が浅いので、会自体経験が浅いから。時間が合わなかった。入会したてのため。

自社の課題点や関心毎は？

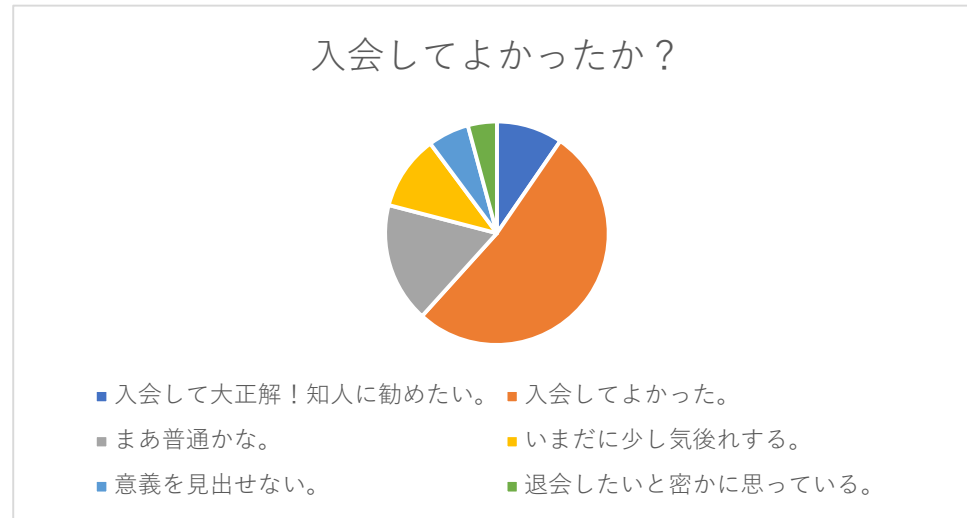
167件の回答



その他コメント

設備投資課題が多すぎて困ります。社内から起業する人材の育成。再造林の推進。事業量及び原木の確保。従業員の高齢化、従業員の団結力のなさ。

ずばり日本木青連（会団）に入会してよかったか？	個数	割合
入会して大正解！知人に勧めたい。	16	10%
入会してよかった。	87	52%
まあ普通かな。	29	17%
いまだに少し気後れする。	18	11%
意義を見出せない。	10	6%
退会したいと密かに思っている。	7	4%
	167	



上記を選択した事由や詳細など

今後もお世話になりたい人脈が出来た

ベテランさんが多い分野の仕事だったので、同年代の仲間ができたのは良かった

通常の業務では知り得ない情報が入手できる。近い立場の方々と交流ができ、普通では相談しにくいような内容の話でも気軽に相談できる。

入会してよかった理由で選んだ内容が主。業界での話のネタになる（OBのお客様）等

色々な会社の方と、色々な地域の方と知り合え、また仕事につなげる事ができた。

参加できていないことが申し訳なく思っている

仕事だけの関係ではない沢山の仲間が出来たから。

木材業界で活躍されているたくさんの方にお会いでき、学び・気づきの機会を頂けたから。

日本木青連の活動は出向者しか内容がわからず、全国大会・地区大会も参加者挨拶と懇親のみで聞かか呑むかしかなく。出向先や自会団での活動も昔からやっているからやっているだけの流れを感じる。そこに共有や意義を見出せないと最後まで疎外感を感じ得るものが少ない。仕事や距離の関係で現地に行けない会員もいるので全国大会や出向者以外が参加可能なイベントなどはWEB参加できるような流れをコロナ禍以降も推進し、現地に行かなければ会員である意味がない流れを変えてほしい。

人見知りや気が強く、新しい場所・人の前で自分を出せるまで非常に時間がかかります。そう言った意味で出向にも気後れしがちです。3年くらい前から家内と喧嘩する度に「来年は木青連退会してもっと家族の時間作ります！」と飲みに行く理由を木青連のせいにしちやったりしています。いよいよ本気で家内が詰めてきた場合、僕はどうすればいいでしょうか？

呉会団は2023年3月に解散します。活動は停止しますが、木青連には感謝しています。

同業のつながりができて、業界のことも学ぶ機会になっているため。

年代的に学校・地区行事に駆り出されるので、役職付きになって土曜日の時間を固定されるのが辛い。

人生の友・先輩に出逢えた。金銭で繋がる出会いはあるが、同じ志の友とはそう出会えない。全国の仲間に感謝。いい刺激もらえます。

イベントが何のためにやっているのかが良くわからない。飲み会とゴルフが多い印象。

中四国や全国へ出向等すれば、人脈から仕事への広がりの可能性は感じるが、現実的に日常業務や私用で多忙になり不可能。出向の可能性はない。現状として負担にしかなっていない

まだ経験年数が浅いため

直接お会いしていないから

先輩方が馴染みやすいです。

能力も意欲もの高い人材が集まっており、経営のためのノウハウを身に付けられるためです。経営課題について、議論できる場が多いのも魅力に感じております。自社と本会が業界の近い異業種であるので、商流に縛られることなく、近い業界の情報を収集できることにも魅力を感じています。

色々と勉強させて頂き、知人も増えた。

どのように伝えたらよいか分からない程入会して良かった。それは全国大会運営に携わって、更に思いは強くなった。自分を高め合う一生のかけがえの無い仲間が出来たと感じている。従業員の立場でこの会に入会させてくれたことに感謝したい。

意見集約事業アンケート会員

飲み会などで意見交換などをするのは参加する分には良いかと思うが、会長などの職について会場場所の手配や全国大会、地区大会などの準備や案内などを日常業務と並行して行うのは小企業には困難ではないかと心配です。役職が順番で回ってくる前に辞めたいというのが正直な所です。

業界の付き合いも必要だからと入会を決めたが、結局は資金不足を補うための会費要員という側面が強く、会の活動に積極的になれない。会合や大会への参加は移動距離も遠く、会費とあわせて時間的負担も大きい。例年、地方大会については全員参加として出欠を問わず年会費とは別に参加費用が徴収される。あるとき、役員のひとつりが「大会費用を当会が一番出しているので、うちの存在感は大きい」という趣旨の発言をしたことを耳にした。業界をよくするために会費を払っているはずが、一部の役員の顕示欲を満たすために利用されていると感じて以降、ことさら会への参加意欲が低下した。

入会早々に全国大会に参加させていただき、全国の皆様とお話しする機会を持って良い経験になりました。私自身林業経験が浅いため、皆様にお話をお伺いすると大変勉強になります。

人とのつながりが広がった点

交友関係が広がったから。

業界の知り合いが増えたので、入会して良かったと感じている。

純粹に多くの人と出会えた。

人との繋がりができた。

ニッチな品種形態で同じ業務携帯の会社は、全国的に見ても僅少かと思っていましたが、同地域枠で数社存在していて、同志と呼んでも差し支えない仲間が存在する事に驚きとともに安堵感も得ました。

様々な経験と先輩方とのつながりが出来た。何より尊敬できる先輩が出来た。

仕事に繋がるかは別として、会に入らないと交わる事のない方と交流を図れるのはすごくいい事だと感じています。また、自社の悩み事も気軽に相談できるのも入ってよかったなと思えるポイントです。

色々な団体があるのを知らなかったが知ることが出来たのと材木屋の横の繋がりを感ぜられている。

仕事を優先させて頂いているが故、タイミング等が合わず参加する機会が限られている事より、現状としては時間をかけて色々なお話を聞いていった上で判断したく考えております。

人との繋がりが出来た

仲間、相談相手が増えた

同業界の知り合いが増えて仕事で活かせる

同じ立場や役職の仲間と、知り合う場があり、自分が抱えている問題や境遇を話すことで、自分自身のスキルアップにつなげることができるし、自分の業種以外の情報などもリアルに聞くことができ、広い視野で見つめることができるので、良かったと思っています。

同世代で同じような立場が募っていて、真剣に仕事や経営に打ち込んだ悩みが共有できる。他の青年部会と違い、営業色がないので、本音で話しやすい。

たくさん友人ができた

大きな理想などはありませんが、父やお世話になった方々が長年守り育ててきた会をこの先も残していきたい思っております。

木材に関わる人の 繋がりが増えた

意見集約事業アンケート会員

正直人の集まる場は苦手だが、会員の人たちはいい人達だと思うから。

一緒にやりとげたとうい達成感を仲間と分かち合えたこと。

正直なところを申し上げますと、林業に携わる立場として、胸が痛むことの方が多くなっています。資本主義の考え方ですと、皆様ご承知の通り林業自体は破綻しています。しかしながら日々現場では汗水垂らして間伐を行い、育林を行なっています。<皆伐メインの林業会社で、苦勞して育てる業者が少ないのも問題ですね>胸が痛むと言うのは、輸入材に関わる方や、流通の方、ゼネコンの方々など、木材に関わりながら森のことを知らない方の言葉の暴力が胸に刺さる時があるからです。私は製材所の方々いらっしやってこそ的人工林での林業と思っていますし、林業あってこそ木材建築土木農業漁業の世界であると考えています。また食に携わる産業の方は、より生産者への敬意を持っていると思います。木材業界は希薄な印象を受けてしまいます。私は当会は業界の未来を考え実践していく組織という認識ですが、経営者として至らない点が多いせいか、一緒にいたくないなあと思折思ってしまう。しかし木工工作コンクールの運営など、先輩方のガッツを垣間見れる機会はとても貴重ですし刺激になります。うまく言葉にできませんが、木も元は生きとし生けるもの。その命をいただいて私たちは生活させていただいており、その素材に対しての「愛」が全てな気がします。長々と失礼しました。

仕事に役に立った

木材についての知見が木青活動を通じて広がったことや困ったり気になったりすることができたときに相談したり、教えてもらえる仲間や先輩が増えたこと。生きた情報が手に入りやすくなったこと。

知らない人と関わりが持てる

色んな人と出会い、色んな考えを聞けるのは大変貴重な場だと実感しているが、現場作業をしながら家に帰って木青会の事をやっていくのが体力、精神的に厳しいから木育事業などで地域と連携し、企業を知ってもらえたから

このまま所属しても自社の利益に繋がることがないから

人と繋がりが増え、意識の向上が図れた

愛媛県内の同業者と繋がりが増えて、仕事の幅を広げる事が出来た。

他業態や他地区の仲間と知り合えた

同業の知人が増えた。仕事での付き合いよりも深い人間関係が構築できる。

本年、会団長を仰せつりました。経験はまだ浅いですが、木青や業界に対して今までとは全く違う視点、景色になりました。業界の事を俯瞰に見る事が出来たキッカケになりました。また、役職になると他県の色んな方の話を聞ける貴重な機会が沢山あります。今後のイベントや会合など会の活動を通して、有意義な経験にできるか、自分を成長させる事ができるか楽しみにしています。

様々な情報交換ができたことや、社内ではない交友関係ができるため。

個人経営だと時間がない。また、移動などの費用も負担が大きい。

一生付き合えるであろう友人をつくれたこと

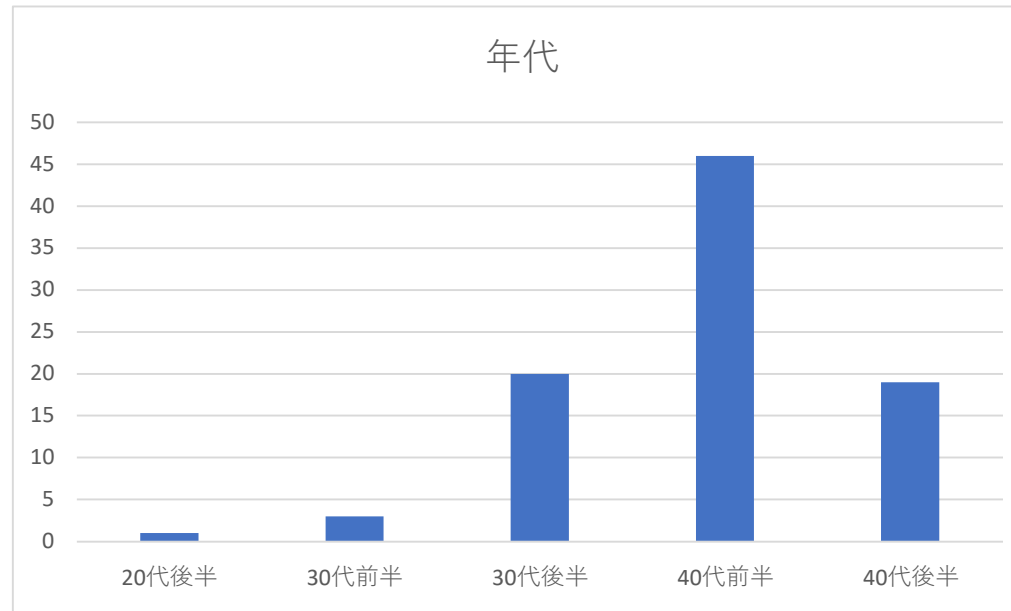
入会しているもメリットが見出だせない。その割には、役を受けると仕事量が多いと聞く。出張や親睦会等への時間・軽費が馬鹿にならないため、経営幹部以上でないとならぬように見える。

仲間が出来た

誰にでも出来る、簡単に経験のできる団体ではないと思う。やっってる事が派手

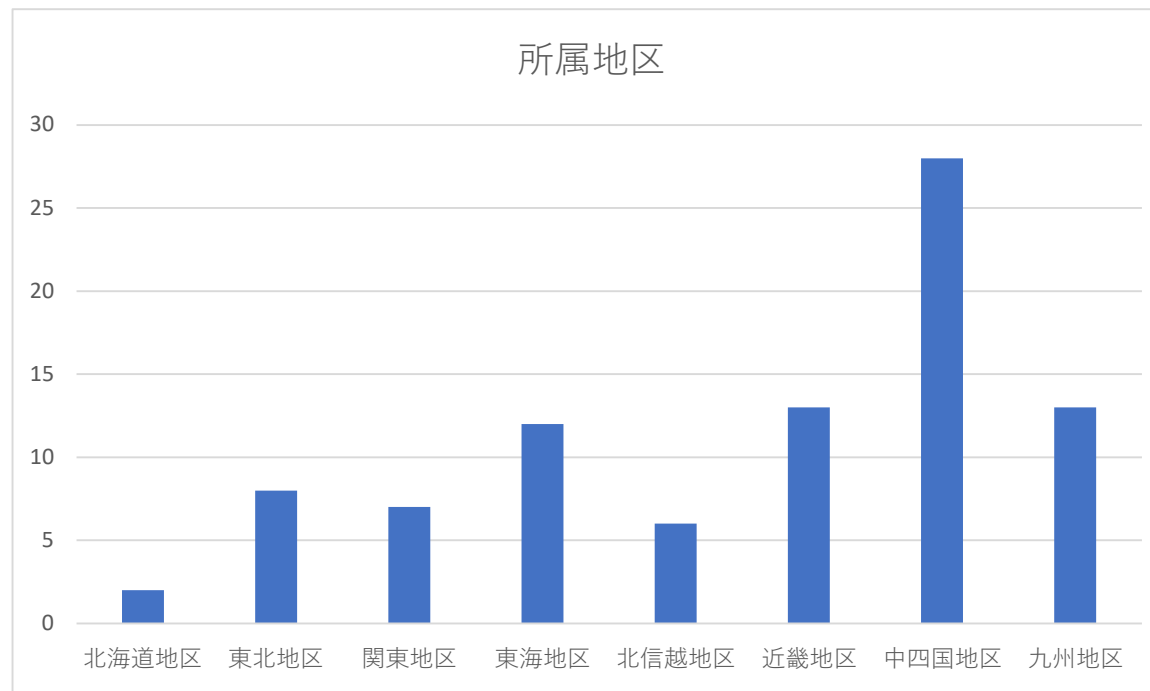
意見集約事業アンケート（理事）

年代	個数	割合
20代後半	1	1%
30代前半	3	3%
30代後半	20	22%
40代前半	46	52%
40代後半	19	21%



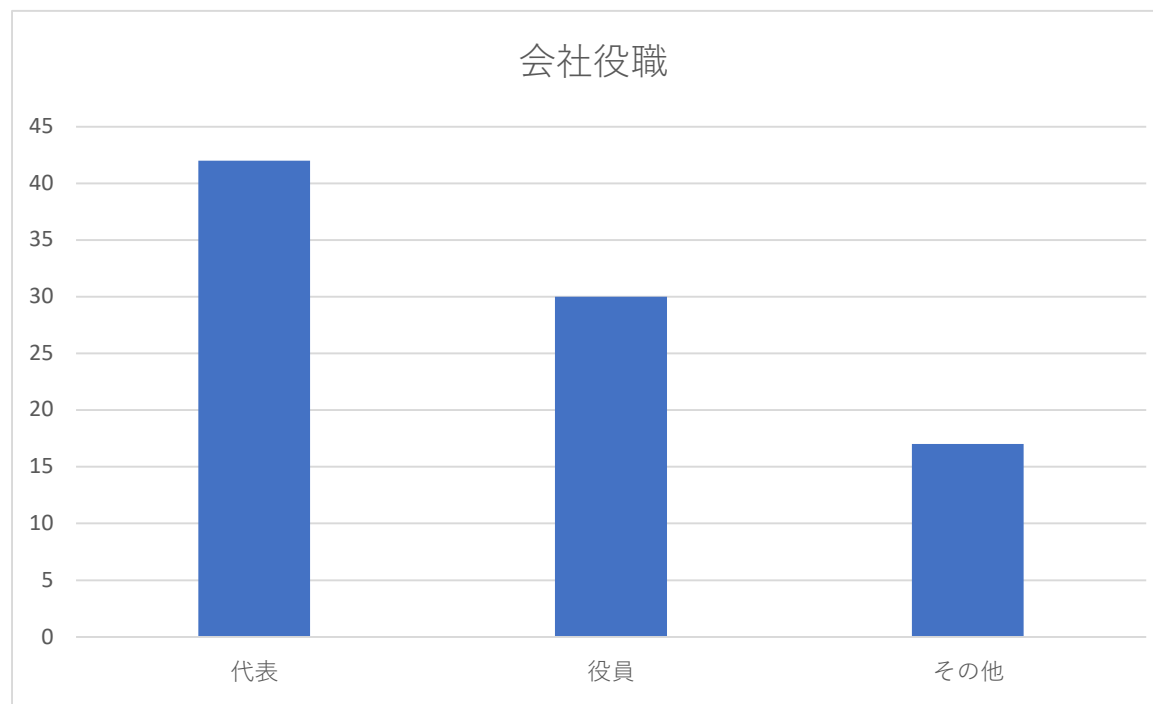
意見集約事業アンケート（理事）

所属地区	個数	割合
北海道地区	2	2%
東北地区	8	9%
関東地区	7	8%
東海地区	12	13%
北信越地区	6	7%
近畿地区	13	15%
中四国地区	28	31%
九州地区	13	15%



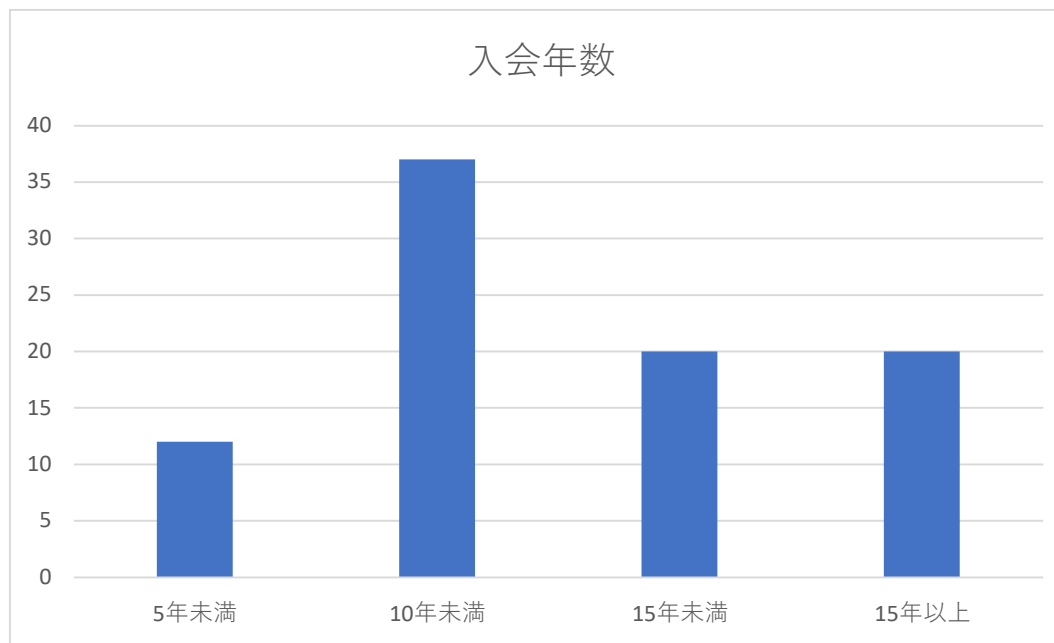
意見集約事業アンケート（理事）

会社役職	個数	割合
代表	42	47%
役員	30	34%
その他	17	19%

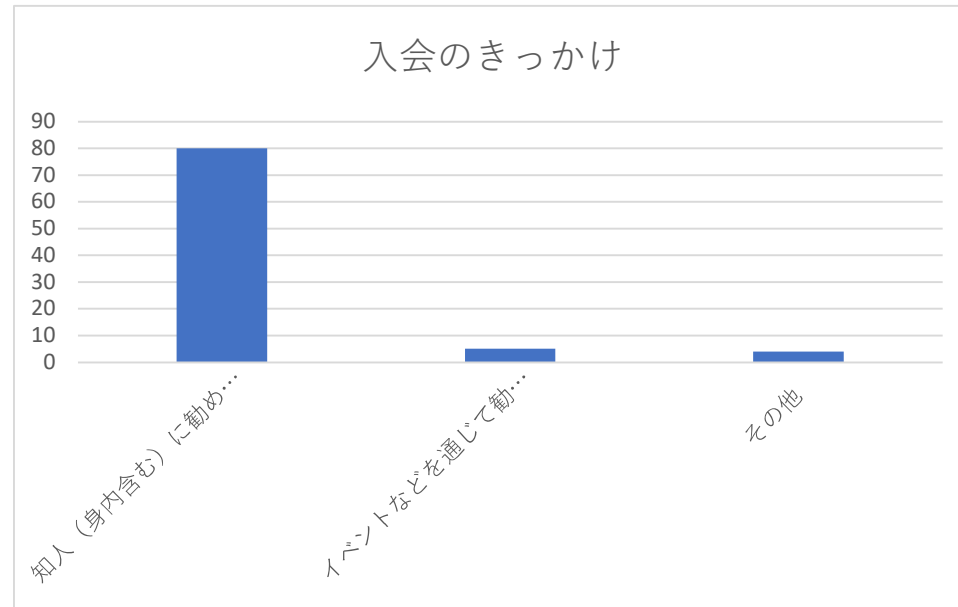


意見集約事業アンケート（理事）

入会年数	個数	割合
5年未満	12	13%
10年未満	37	42%
15年未満	20	22%
15年以上	20	22%



入会のきっかけ	個数	割合
知人（身内含む）に勧められた	80	90%
イベントなどを通じて勧められた	5	6%
その他	4	4%
	89	



その他コメント

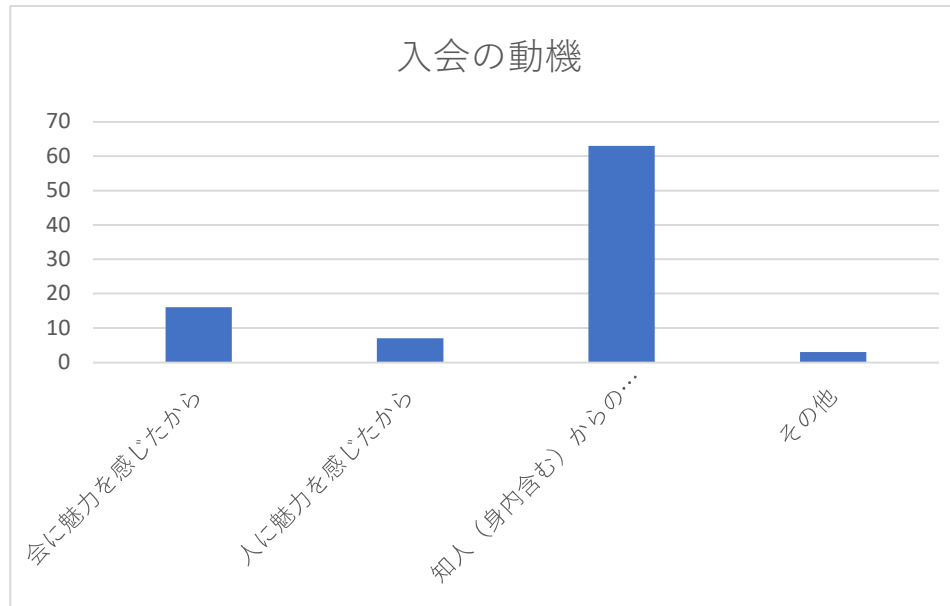
会の存在を知り自分から入会を申し込んだ

材木関連の仲間を作りたかった。

先輩に入会を勧められた

地元の既会員から勧誘されて

入会の動機	個数	割合
会に魅力を感じたから	16	18%
人に魅力を感じたから	7	8%
知人（身内含む）からの要請	63	71%
その他	3	3%



その他コメント

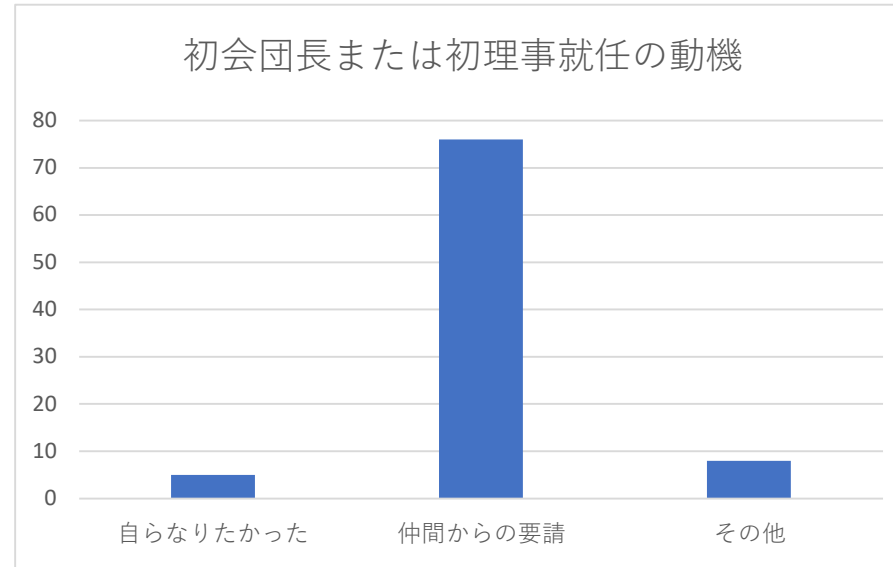
てっとり早く材木関連の仲間を得る為。

よくわからなかったですが断る理由がなかったから。

入会は必須とっていた

意見集約事業アンケート（理事）

初会団長または初理事就任の動機	個数	割合
自らなりたかった	5	6%
仲間からの要請	76	85%
その他	8	9%



その他コメント

なるものだと思っていた

県理事会での持ち回り

順番が回ってきた

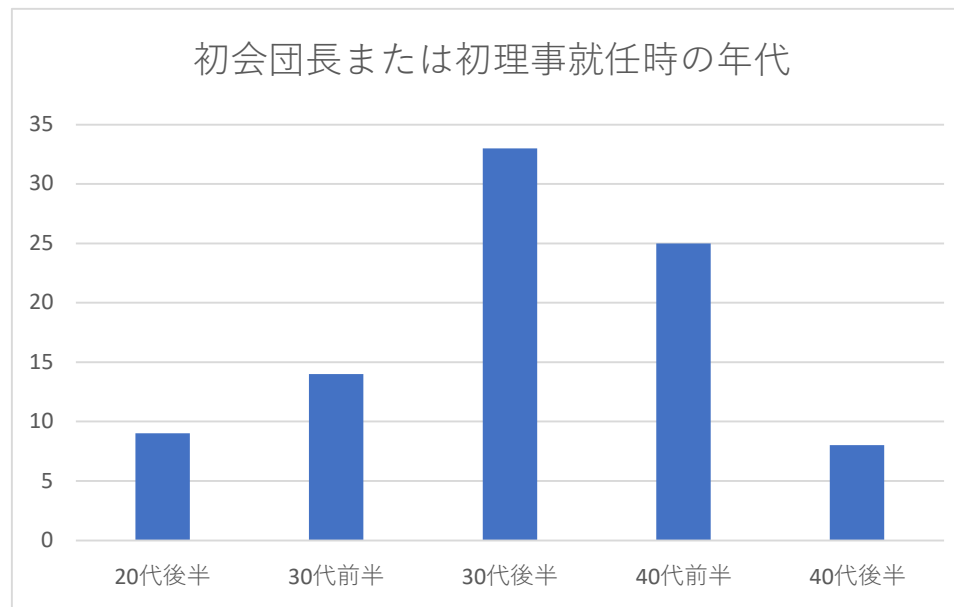
順番が来たから

順番で 輪番の為

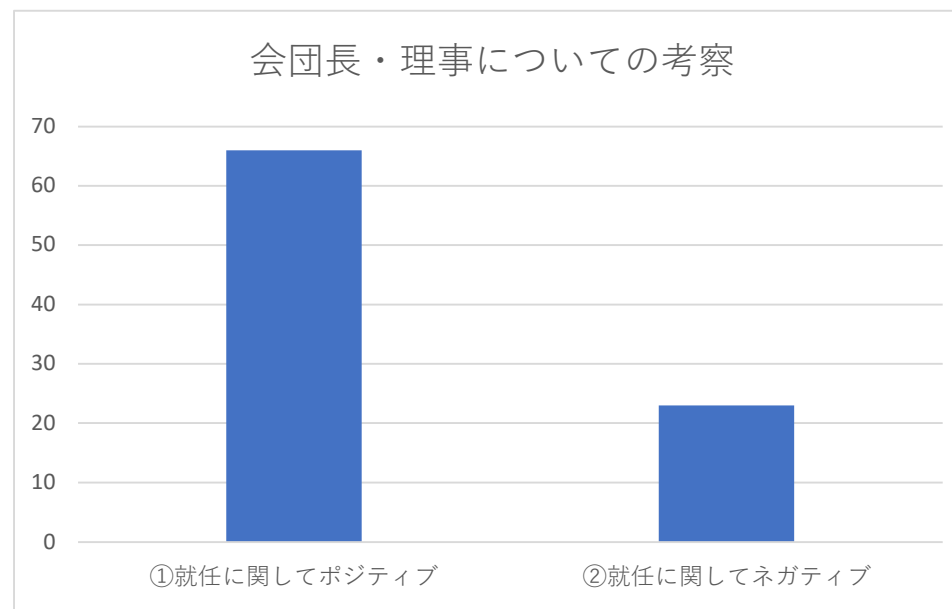
年齢順

年齢的な順番で仕方なく

初会団長または初理事就任時の年代	個数	割合
20代後半	9	10%
30代前半	14	16%
30代後半	33	37%
40代前半	25	28%
40代後半	8	9%

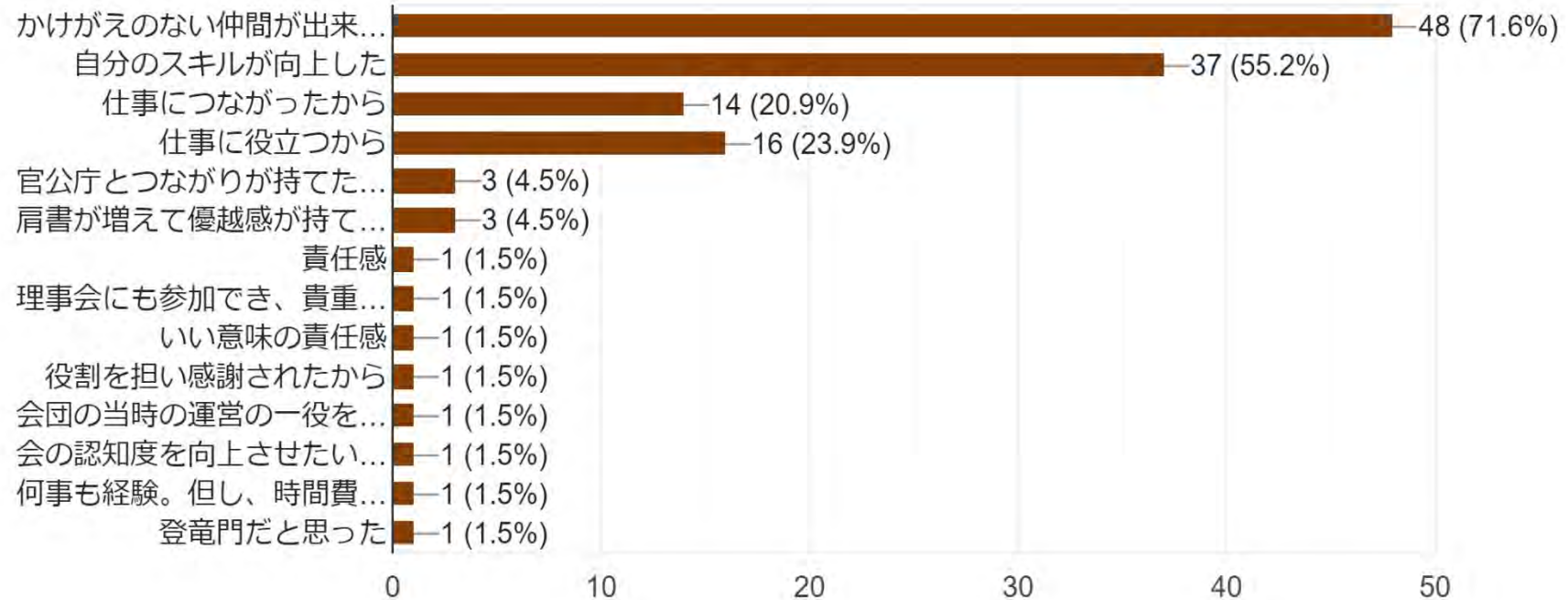


会団長・理事についての考察	個数	割合
①就任に関してポジティブ	66	74%
②就任に関してネガティブ	23	26%



上記①を選んだ理由

67件の回答

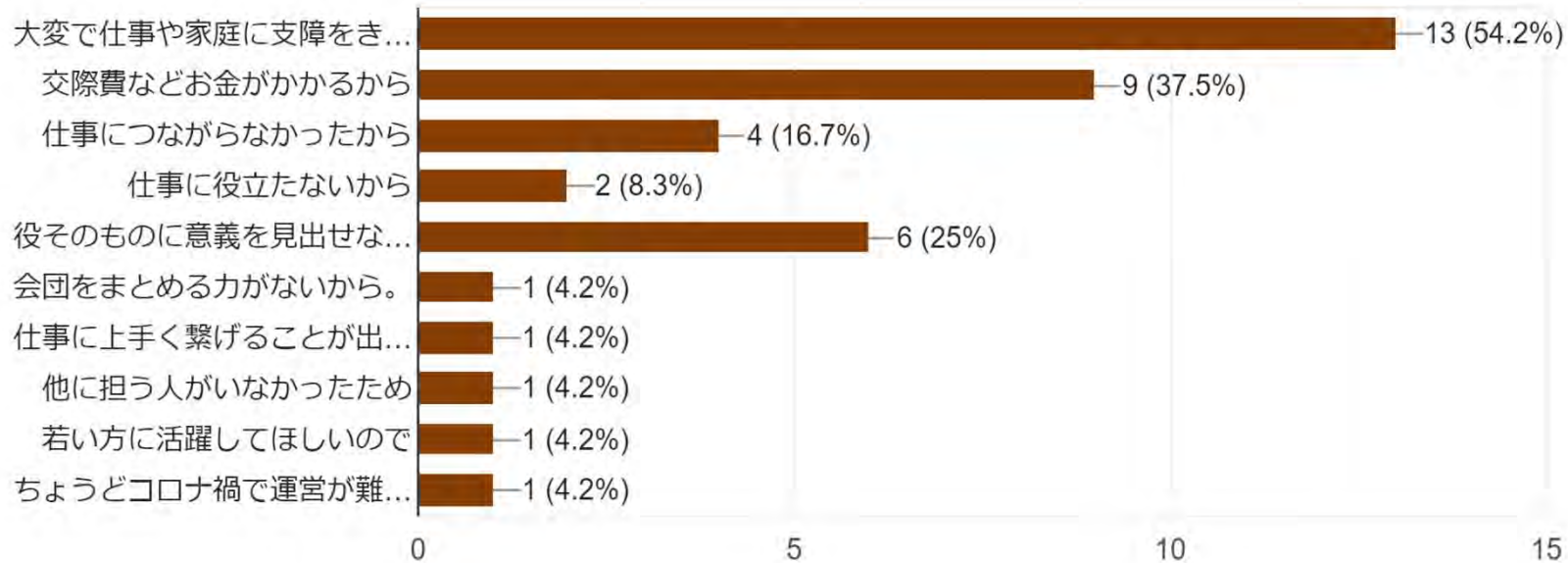


他のコメント

責任感。理事会にも参加でき、貴重な経験をさせていただいている。いい意味の責任感。役割を担い感謝されたから。会団の当時の運営の一役を担えたから。会の認知度を向上させたいから。何事も経験。但し、時間費用に見合うものではない。登竜門だと思った。

上記②を選んだ理由

24件の回答

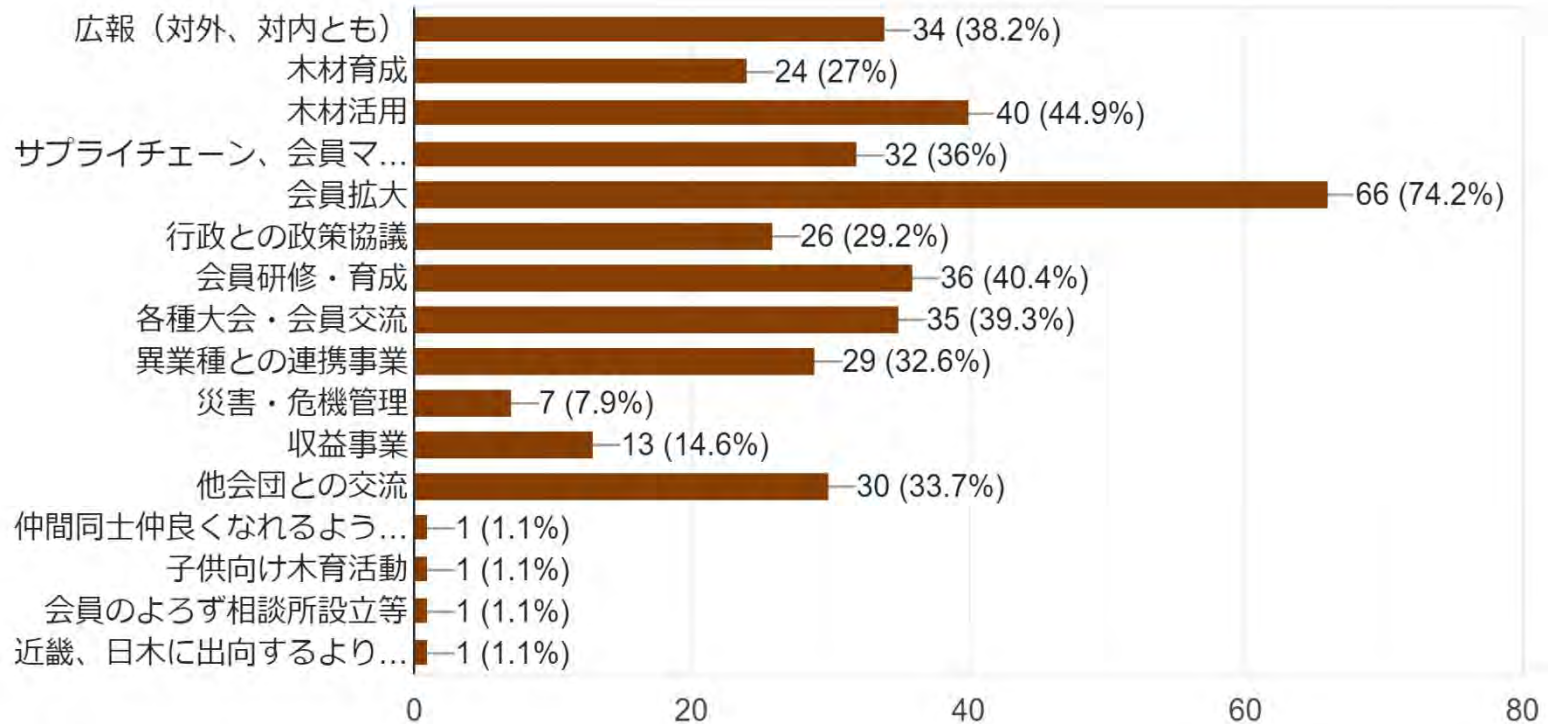


他のコメント

会団をまとめる力がないから。仕事に上手く繋げることが出来なかった。他に担う人がいなかったため。若い方に活躍してほしいので。ちょうどコロナ禍で運営が難しかった。

今後会団で特に力を入れるべき事業

89件の回答



他のコメント

仲間同士仲良くなれるよう飲み会を増やす。子供向け木育活動。会員のよろず相談所設立等。近畿、日木に出向するよりも、まず自会団の地盤固めを早急に進めるべき。

意見集約事業アンケート（理事）

上記を選択した事由や詳細

会員同士の相互理解を深くすることで団結力と会の意義が強くなると考える為。

木材業界の発展に寄与する事業として選択しました。

会員の減少に歯止めがかからない。第二次ベビーブーム後の少子化が止まらないため、そもそも若者が少なく、かつ木材に関わる人は減ってきているという中、まずは会員数の維持、そしてあわよくば拡大を目指すことがまずは重要だと思う。そのために、活動内容を充実させることは必至。まずは、会の内容を充実させる。この会に参加すれば、何かしらの持ち帰りがあるということを、会に所属するメンバーが本心から思える会にする。それをしっかり広報し、新しい仲間を作っていくことが重要と考える。

近年中に会員数が激減するので会員数の確保が急務であるため

次世代がない会社が多く会員拡大はおろか維持できない

社業に役立つが魅力ある事業を行い、会員拡大につなげる。

広報：対外、対内ともに活動内容を明確にすることで活動がしやすくなる 会員拡大：会員の減少が近年に増える予定なのでマンパワーの確保のため必須 行政との政策協議：行政とのつながりは今後の社業にもつながるため 会員交流：会のメンバーとの懇親は事業のやる気にもつながる 他会団との交流：他を見ることによって今までに無い考え方も発見できる

個企業としてでなく、業界として常に存在感を示していかなければならない。

現在の市況の中、各企業が勝ち残っていくためにはうまく行政を活用すべきだと考えています。その為、会の存在感が必要で会活動の縮小に直結する会員減少は避けるべきです。会員の資質向上も必要だと考えています。その方法として、研修も必要ですが、全国の会員の方と交流を持ち、刺激を頂くことが近道だと思っています。

会員が増えることによって会の活性化や他団体との交流によって情報交換や販売先の拡大がある。

会員が減少し続けている。コロナの影響でイベント等が中止になり収益事業も減っている。

広報に関しては木工工作コンクールの周知をしていただくために必要。会員拡大は会の存続にも関わりますので常時課題となっております。会員交流、他団体との交流をすることにより仕事のマッチング、県外に仲間ができることにより、出向に前向きになってもらうため。

社会の中で木材業界の役割を知る、知らせることが必要

近年会員減少が、各会団の課題となっているので、会員同士（会員大会以外）の交流、異業種との交流などを通して会の価値観を高めればいいかな？ 温度差があるのが現状ですが。

会員拡大をしないと、事業もできない

会員数の減少は会の存続に関わるので。

日本木青連および各会団が、業界外の方々（行政含む）にどのような活動をしていて、どのような接点を持てるのかというメリットや気づきを伝えたいです。

同じ県内でも川上と川下での連携があまりなく、地産地消が出来ていないと感じるため

木材に対する考え方やこの会の年齢、地域の構成自体も良い活動だと思うので、もっと広く知ってもらいたいと考えます。

会員数の減少、交流機会の減少に伴う会の魅力低下

意見集約事業アンケート（理事）

会の存続と存在意義を会員同士で理解・認識した上で、他団体や他業種と連携を図り、我々の社会的価値を上げる必要がある

会員減少に伴う会団の維持に注力すべきではないか？10年後には地域の産業として成り立っている地区以外は消滅していて、大手しか生き残ってはない。このままではかつての町の電気屋と同じ道を辿っていく。会員マッチングは会長や地区長などをする(出来る)大きい会社には利があるが、その他の会員の県内だけで細々と営業をしている小さい会社は県外会員とのマッチングには利が少ない。会社の社員も高齢化や少なくなっている中で木青会に注力する余力は無くなっている。会員の会費に頼らない収益事業が必要だと思う。

会員が若くなってきており今一度木青連の基本的部分を伝えていかなければならない！行政と繋がることで一早い情報を共有することが最大のメリットだと思う。しっかりとした活動を行うことで会存続、業界繁栄には新規会員拡大は必須である

会員間の交流が木青会のもっとも魅力的な事に思います。

今後の業界発展の為

仕事につながることも大事だがそれは結果的にであって、仕事の前にまずは同年代の経営者と親しくなれることが非常に有益だと考えている。ただ、親しくなるためには事業を共に経験することが一番だが、出向したり役を受けることや事業をするための時間と労力が負担と考える会員も多い。実際に参加率も下がっている。交友関係が広がれば参加率も上がるかと思うが、まだその入り口に立てていない会員も多い。出来るだけ交友関係を広げていくことがこの会に参加する魅力であると思っているため、交流事業による出向や事業への参画への意識的なハードルを下げる活動や、個々のスキルアップにつながる研修を重点的に力を入れていけたらと考える。

もう少し本業に直結できるものが増えるとなお良い。

若手会員の減少

全国に頻繁に行ける方はそれぞれスキルアップや密な交流がなされていたが、私はなかなか参加出来なかった為それほどではなかった。逆に近場の近畿地区協議会ではメリットがあった。出て行ける人と出にくい人がいるので難しい問題であるが、イベントや研修は活発にしてほしい。

自分の成長

やっぱり仕事に繋がることが会員拡大に最も効果的だと思います。

新しい木材利用の分母を創出し、効率を高く、無駄なく有効に活用する必要がある為

第一に関東地区の会員との交流が大事だと考えております。

せっかく木材業の異業種で形成されてるので、サプライチェーンの構築による出口を作っていくべき

入会当初から変化がなく、成長の機会が少ない為

広報：県内において木青連自体周知されていない事がある。木材活用：県産材の利用推進。会員拡大：一番の課題点。現在県木連との意見交換中。（青年部の立ち上げ）会員研修、育成：次期経営者もしくは既に代表者の会員が多く、経営についての勉強会を取り入れたい。

研修、会員間交流が自身のメリットのため

とにかく、仕事に繋がっていききたい。良い情報は共有して会社に利益を出せていけると良い。

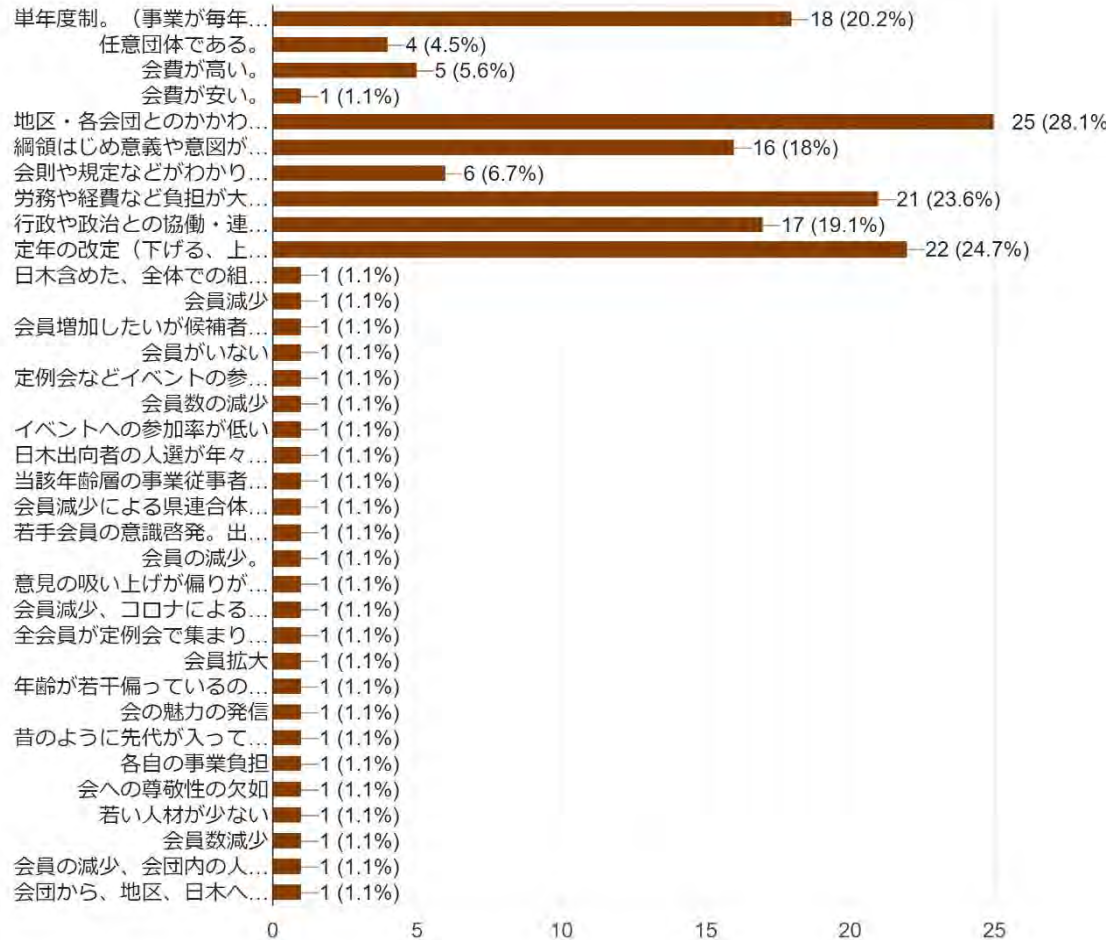
県組織の充実あってこそ。

自会団メンバーが楽しく参加できる会でない、会員拡大もままならない。明るい未来は来ないのは、目に見えている。

意見集約事業アンケート（理事）

問13 会団の課題点は？

89件の回答

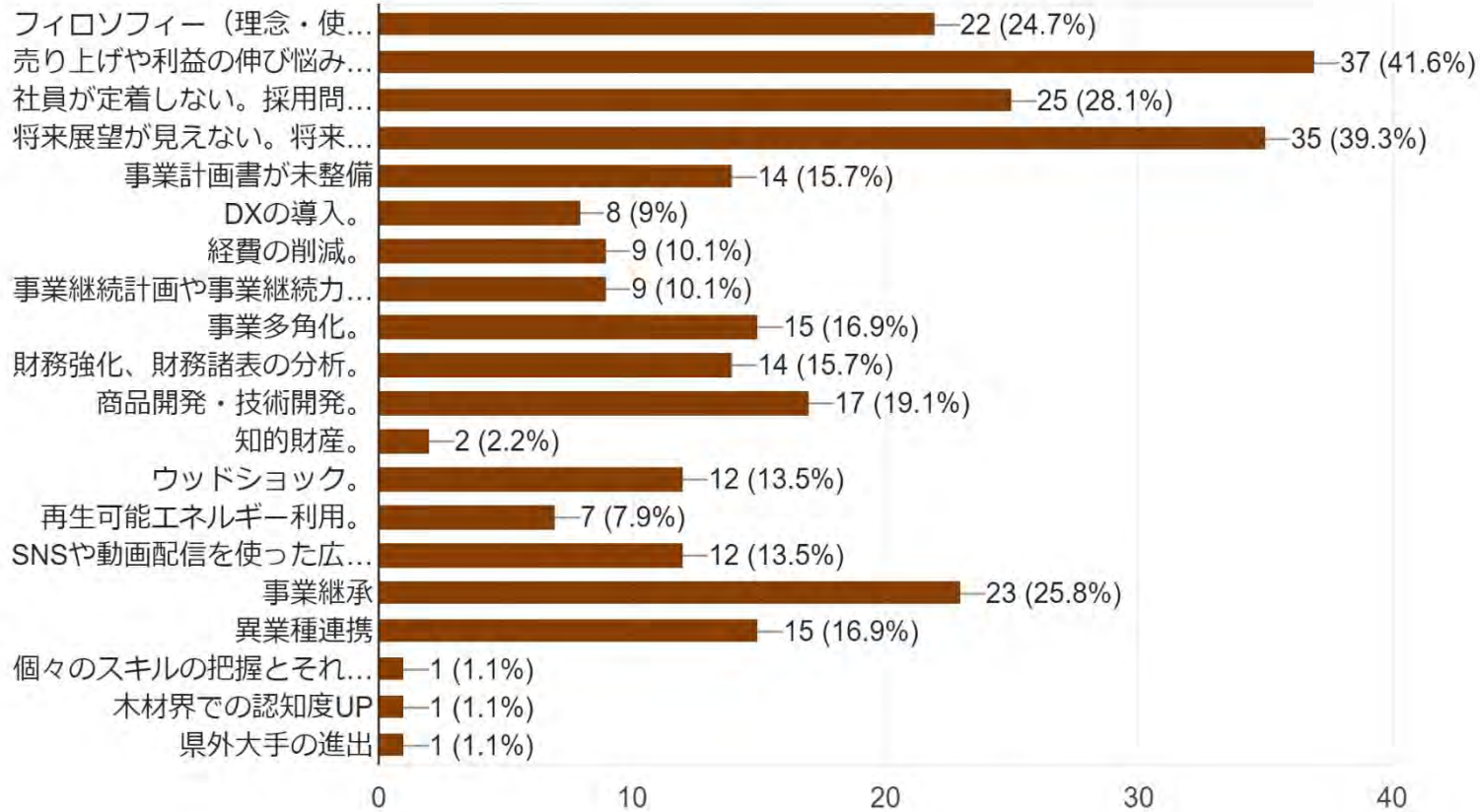


他のコメント

日本含めた、全体での組織の構成を理解しにくい。会
 団ごとに色や年間行事の違いと取り組み姿勢が違いす
 ぎる。会員減少。会員増加したいが候補者があまりい
 ない。会員が少ない。定例会などイベントの参加率が
 低い。会員数の減少。イベントへの参加率が低い。日
 本出向者の人選が年々難しくなる。当該年齢層の事業
 従事者がいない。会員減少による県連合体の維持が難
 しくなっていること。地区会団が無くなりそう。若手
 会員の意識啓発。出向や会団長ができる人材育成。会
 員の減少。意見の吸い上げが偏りがち。業種によりメ
 リットの有無を感じる。会員減少、コロナによる会員
 のモチベーション低下。全会員が定例会で集まりがた
 い。会員拡大年齢が若干偏っているので若手の勧誘。
 会の魅力の発信。昔のように先代が入ったからとい
 う理由では新入会員が集まらない。入会メリットが伝
 わらない。各自の事業負担。会への尊敬性の欠如。若
 い人材が少ない。会員数減少。会員の減少、会団内の
 人数バランス、出向人事。会団から、地区、日本への
 出向を重荷と感じられ、出向させられるのが嫌で会団
 の事業にも参加しづらくなっている。

自社の課題点や関心毎は？

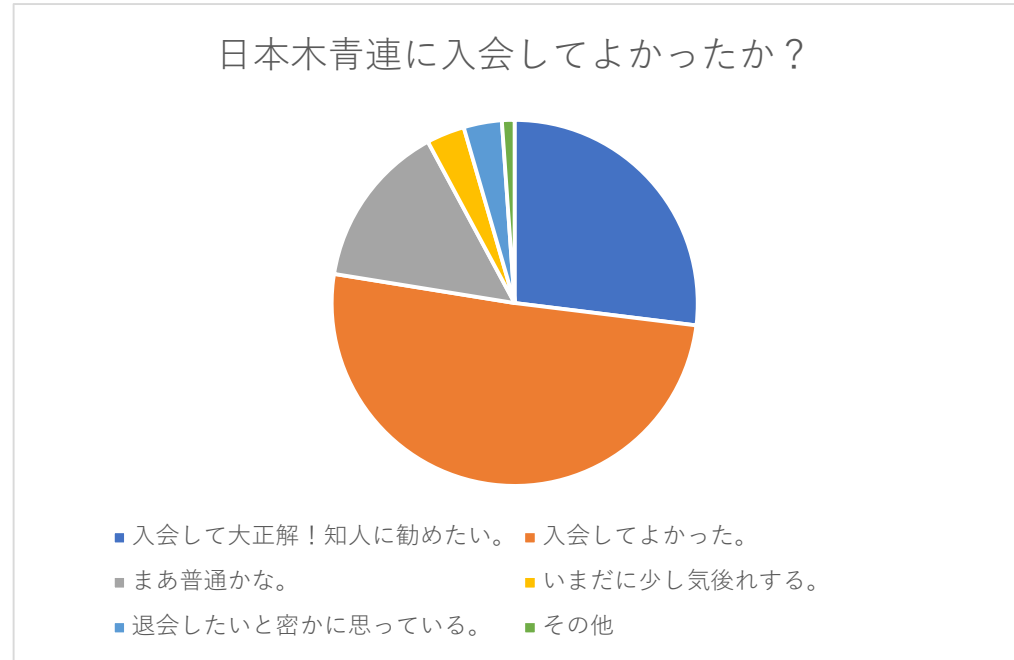
89件の回答



他のコメント

個々のスキルの把握とそれによる人材配置のノウハウ。木材業界での認知度UP。県外大手の進出。

ずばり、日本木青連に入会してよかったか？	個数	割合
入会して大正解！知人に勧めたい。	24	27%
入会してよかった。	45	51%
まあ普通かな。	13	15%
いまだに少し気後れする。	3	3%
退会したいと密かに思っている。	3	3%
その他	1	1%



その他コメント

会団はいいですが日木にはちょっと変わった方が偉そうにしてるのがよくわかりません

意見集約事業アンケート（理事）

上記を選択した事由や詳細

経営者ならではの不安や課題に共に考えてくれる仲間がいる。

つながりが出来て、商売に繋がるから

同じ業界の同年代との情報交換ができる。

本当に楽しいです。特に、40歳を過ぎてから、一緒になって楽しめる仲間ができたことに、心から感謝です。

仲間との交流が楽しい

会内はもちろんのこと他会団との交流が出来た。

全国大会で色々な所に行けた

つながりが増えて仕事には非常に役立っている。多少の犠牲もあった。

他県の同業者等の方々と交流ができる

素晴らしい人たちと出会えたから。

同業者との関りや友人が増えた事。

木材に関連する団体は他にも多数あり、日本木青連に拘る必要はないと感じている。日本木青連の事業についても特にメリットに感じるものは無く、出向する必要性も感じない。日本木青連の活動をより地元での木育活動などに注力したい。

スキルアップ、業界の仲間

沢山の仲間ができた

他団体とくらべた場合、こんな感じかな。って感じです。

業界内での情報共有・アドバイス等、相談できる相手が増えたこと

全国に仲間ができた

任意なので頼まれないと参加しなかったが、やってみればやりがいを感じた。でも知人に気軽には勧められない。ボランティアで業務時間に関わらず活動するので、仕事の手が空かないとできない。本業をいっぱいいっぱいやっている人は参加は難しい。

全国のユニークな材木屋さん（木材人）を知ることで自社業のヒントを得られる。

仲間とのつながり

業界に知り合いが増えた。地元市場などに入入りし易くなった。業界の同年代の人たちと木青会員という共通点を持つことが出来た。

多くのメンバーと知り合うことができたため

同業種の青壮年の集う機会が、この会以外に県内にないため

意見集約事業アンケート（理事）

県内の同業で顔見知りが出来たことに関しては良かった

同年代の経営者と切磋琢磨できることで、モチベーションのアップにつながっている。

やはり沢山のひと知り合うことができ、木青会とともに成長できた！

木青会を通していろいろな方との出会いに感謝

同業者の仲間が増えた。

良かったとは思っている。一方で気後れもする。理事会が「会議のための会議」と感じる時があり、会議は大事なことではあると思うが正直苦手意識は強い。大会や行事、事業には参加したいと思うが、参加すればするほど、頑張れば頑張るほど出向を薦められて負担に感じることも多い。

たくさんの友人が出来、知識、仕事の幅が広がった

普段付き合えない人達と交流が深まる。

業界内に繋がりが出来た。

私としては、近場なら出て行くことができ色々な仲間ができ、また懇親会もとても楽しい時間を過ごすことができた。しかし、その思いを後輩たちになかなか継承していくことが出来ず、自会団ですら次年度人事に大変苦労した。また現在も後輩たちは苦労している。全国の委員長クラスを輩出しよう事なら並大抵の事ではない。

仲間が増えて、相談相手もふえた。

仲間が沢山出来たから

同世代の同業者の方と多く交流ができた。費用対効果は抜群の会。

最高の仲間と出会うことができ、他では出来ない貴重な経験を通じて多くの学びを得ました。

意識の高い仲間がいる

同年代の関係者に出会えたこと。

仕事の話も繋がる

同じ世代の業界仲間が増えた

仲間が出来た

入った当時は気後れ、大変が圧倒的に勝っていた。年数を重ね仲間ができ仕事にもつながり今では入って良かったと思っている。知り合いがいれば進めている。入会してくれる人もいるが最終的に入るかは本人次第なのでそれ以上強制はできない。入らない人はもったいないと思う。

木材関係者との繋がりが大幅に増えた、自社ではできない木材加工の相談などできてとてもありがたかった。

色々な人と知り合えたから

日本木青連出向に価値は見いだせないが、県木青連はよかったと思える。

意見集約事業アンケート（理事）

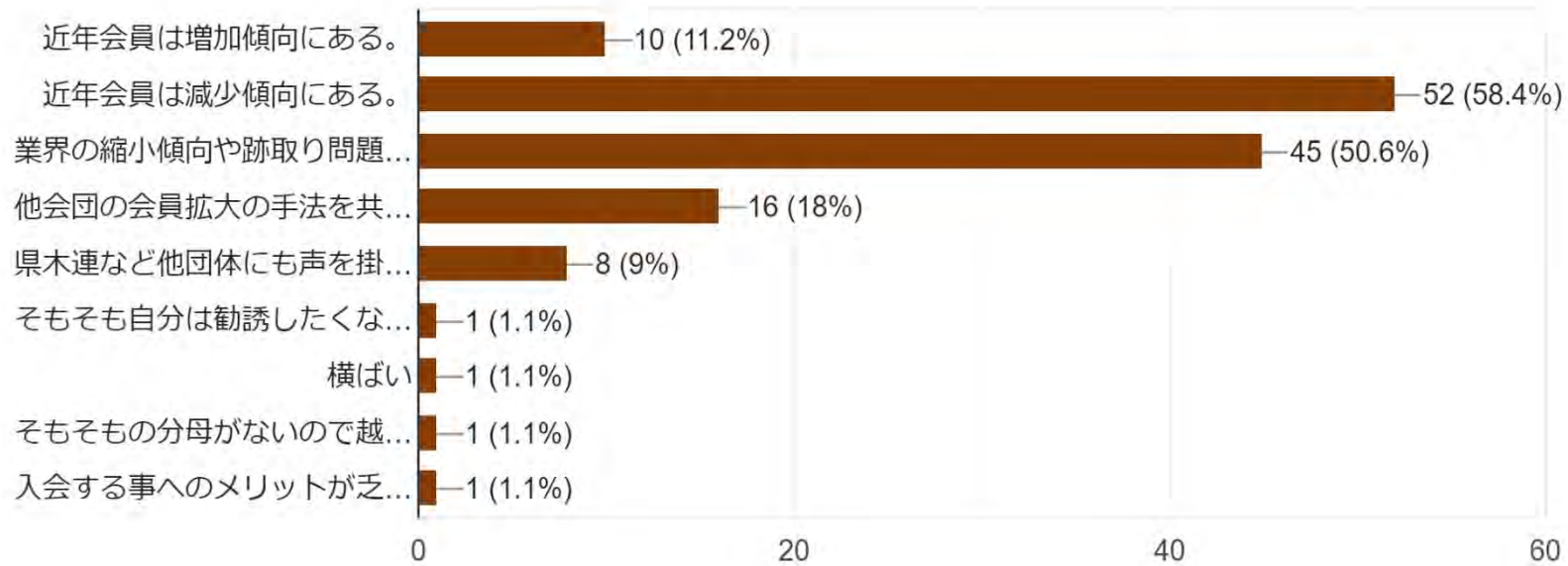
家庭の事情で積極的に参加する事が難しい

入会しなければ出会えなかったであろう、仲間ができた事が1番。人に勧められるかどうかの点は、現状の自会団な感じでは勧められない。

日木を長くやってれば偉いわけではない

会員拡大について

89 件の回答



その他のコメント

横ばい。そもそもの分母がないので越境勧誘しか方法がない？入会する事へのメリットが乏しい。

意見集約事業アンケート（理事）

上記を選択した事由および詳細

全国大会へ向けて会員増強！

「会団で特に力を入れるべき事業」でも語らせて頂いた通り、会員拡大を進めることは大変重要です。「数はパワー」でもありますが、それよりも、多くの人が集いたい、と思える会、そして、木というキーワードで、色々な知識・経験をたくさんの人と共有できる場であってほしいと思います。

活動に賛同いただける方が減った

会員拡大を他団体はどうしているのか、企業情報などを共有してほしい。

会員減少により収入の減収、活動の制限がでてくる。執行部の負担が増える。

会員が減少しているのだから、会員を増やす努力も大事だが、日木自体も縮小すべきでは？ 毎年出向者の人選が大変になってきております。

日本の人口自体が減少傾向にあるので、会員の減少はやむを得ない。しかしながら行事ごとをするには、人の確保が必要な為、イベントをする際には異業種団体に声をかけていくしか方法がないように感じる。

増加傾向にあるのは偶々当該年齢の事業従事者が皆興味を示したからで、新規に当該事業従事者がいないという問題が解決しない

卒業していく先輩方が多く、新入会員が少ない。

木材に関連する業種を含めての勧誘で会員数は増加している。素材、製材、流通、木工業、機械など多種に渡るがその分共通事項は漠然とした「木」というものになっている気がする。

リストアップし声かけ。入会後の育成がもっとも大事！

後継者のいない製材所が多数あり、今後縮小が見込まれる。

入会は任意であるべきと考えている為

会員は減ってきているし跡継ぎもいないところも多い。数年前に定年も上げたが、新入会員は無くてジリ貧の状況。しかし誘える相手もいない。あと数年経って先輩方のお子さん達が家業に入られれば入会してくれるということもあるかもしれないが・・・。

やはり跡継ぎが少なく、事業から撤退することが多くなった

OB会員の事業所から会員をなかなか出してもらえない。

業界に新規参入者がいない

やはり絶対量が減少している事を実感する。

地区や業界を問わないリクルート活動の結果

業界の縮小傾向と定年制度の問題あり。

事業所の跡継ぎがいない所が増えてきた

これまで組織だった行動はしたことがなく まずは行動に移したい その為の手法を教えてください

意見集約事業アンケート（理事）

会員減少は右肩下がり。打開策で県木連青年部の立ち上げを検討中。現在検討委員会を作り県木連と意見交換中。

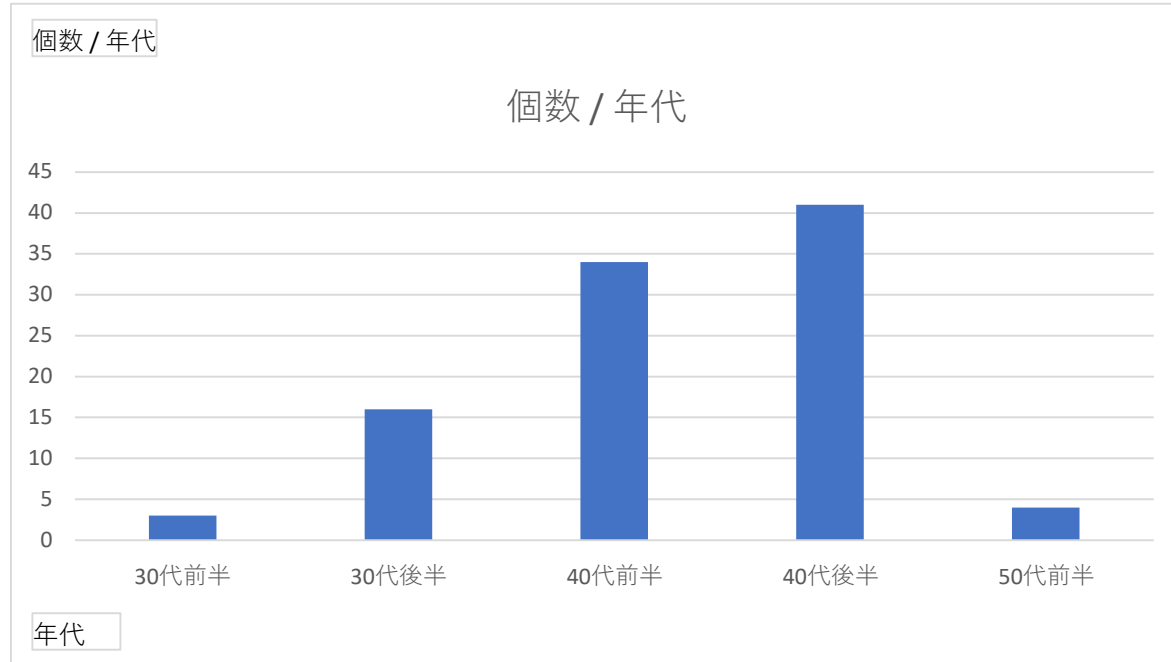
確実に少なくなっている。地元で少しでも木を扱う人をインスタ等で探して候補者としてチェックしています。

もう少し、県木連などの他団体が、柔軟に対応してくれると助かる。県木連会員宛てに各会団が、作成した案内などを送ってもらえるとか、名簿を共有してくれるとかして頂けるとアンケートなどを取り、木青に加入してもらえる御子息などがいらっしゃるかどうか聞く事ができ、案内もし易くなるのではないかと考えます。

会員内で危機感の温度差がある

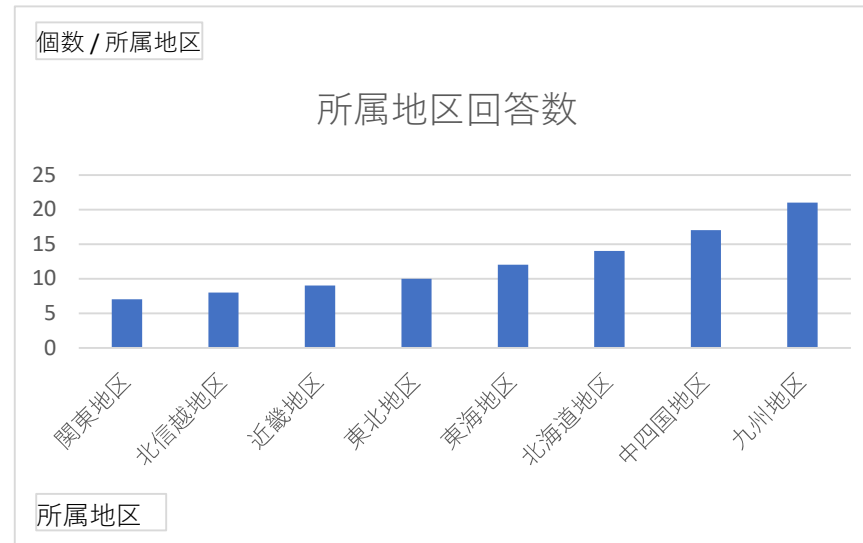
意見集約アンケートの集計(常任)

年代	個数 / 年代	割合
30代前半	3	3%
30代後半	16	16%
40代前半	34	35%
40代後半	41	42%
50代前半	4	4%

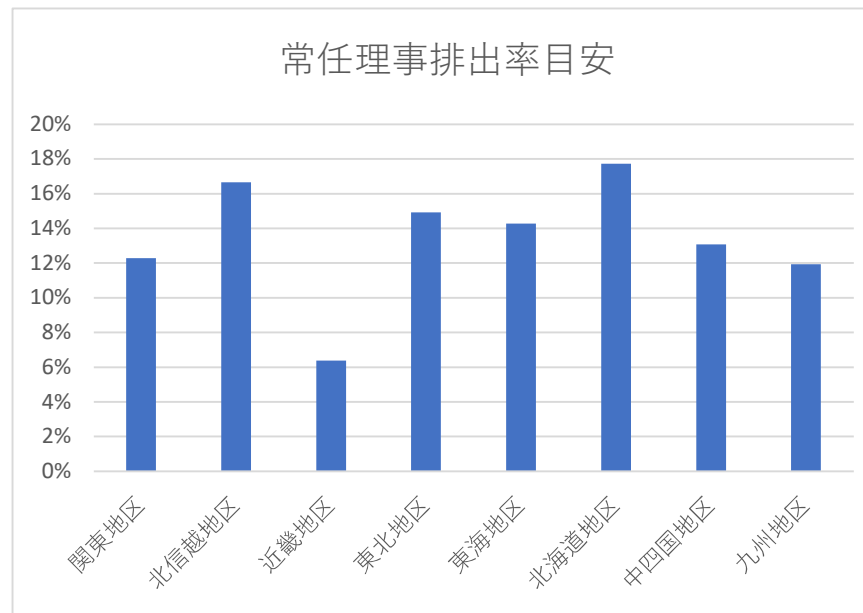


意見集約アンケートの集計(常任)

所属地区	個数 /	割合
関東地区	7	7%
北信越地区	8	8%
近畿地区	9	9%
東北地区	10	10%
東海地区	12	12%
北海道地区	14	14%
中四国地区	17	17%
九州地区	21	21%

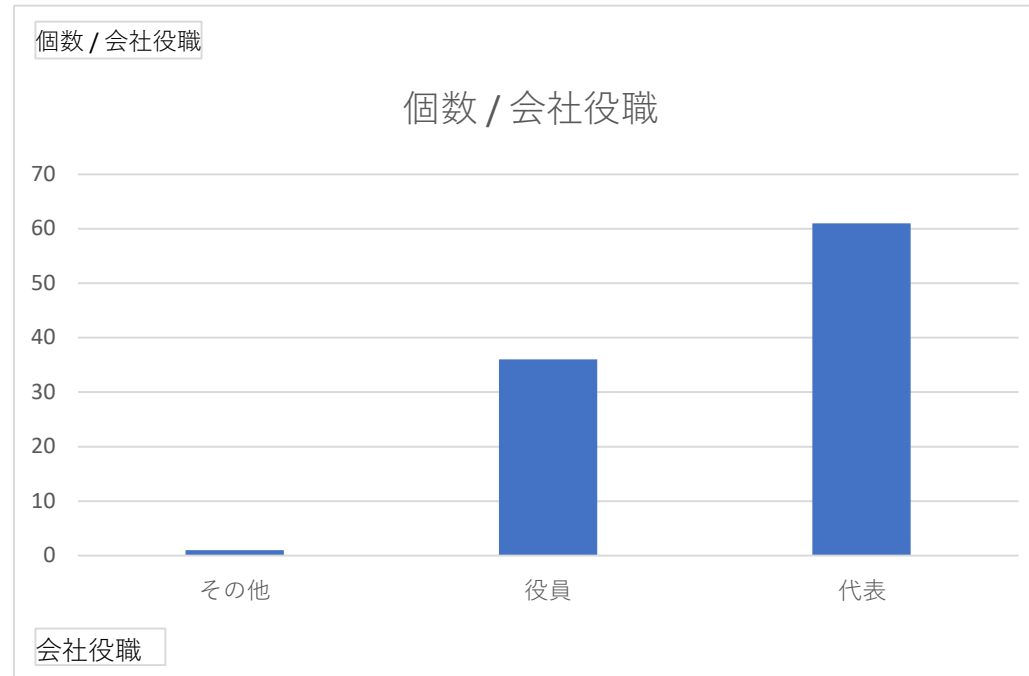


所属地区	割合	個数	母数
関東地区	12%	7	57
北信越地区	17%	8	48
近畿地区	6%	9	141
東北地区	15%	10	67
東海地区	14%	12	84
北海道地区	18%	14	79
中四国地区	13%	17	130
九州地区	12%	21	176
合計	13%	98	782



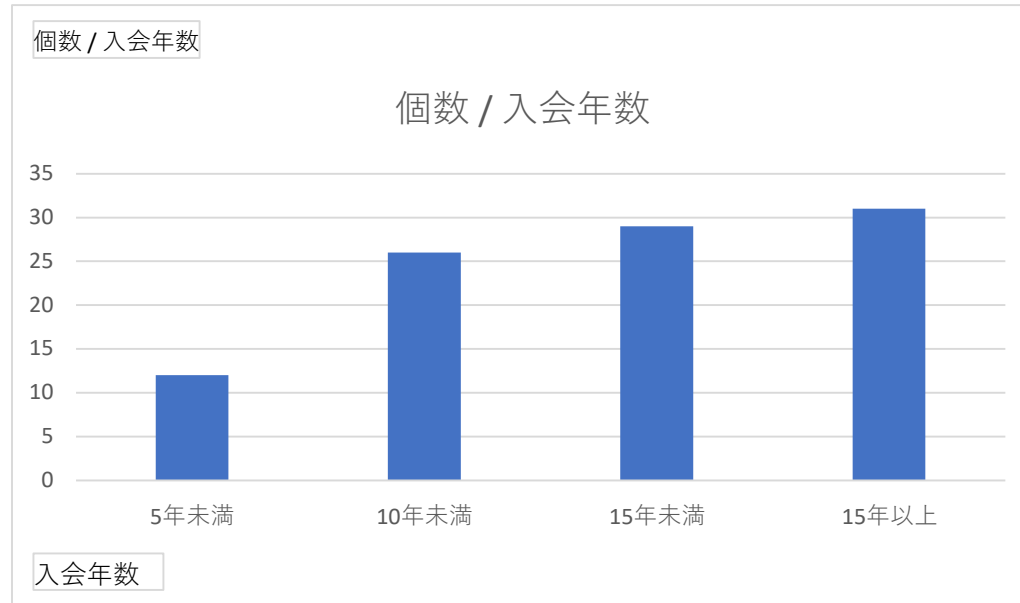
意見集約アンケートの集計(常任)

会社役職	個数 / 会社役職	割合
その他	1	1%
役員	36	37%
代表	61	62%



意見集約アンケートの集計(常任)

入会年数	個数 /	割合
5年未満	12	12%
10年未満	26	27%
15年未満	29	30%
15年以上	31	32%



入会の動機	個数 /	割合
知人（身内含む）からの要請	64	65%
会に魅力を感じたから	16	16%
人に魅力を感じたから	10	10%
その他	8	8%

その他コメント

業界の繋がりを作りたかった

父親に首根っこ掴まれて総会に連れていかれて、そのままバッジを俺につけてその場に放置されました。

入ってみてからどんなものかを見る為に

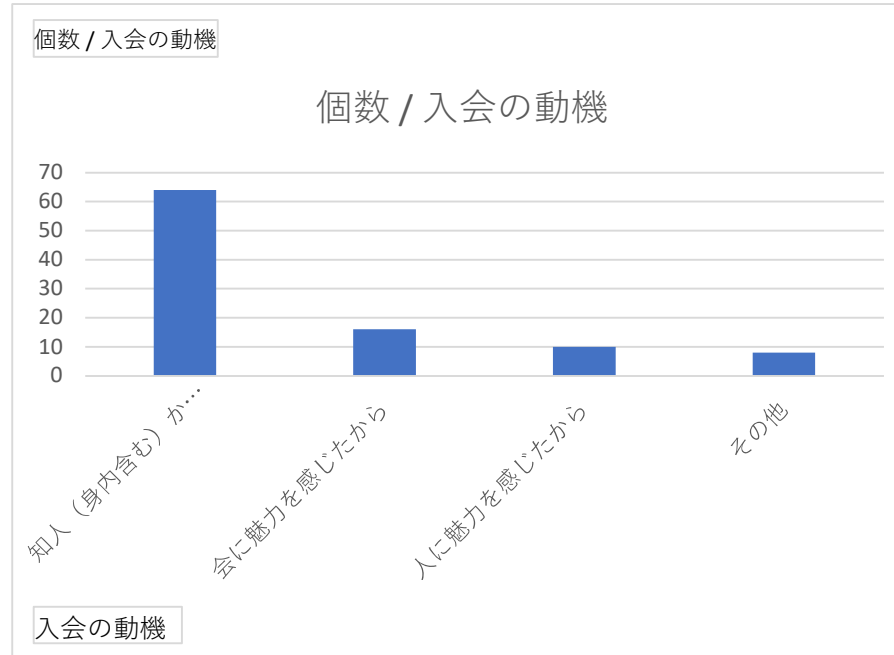
補助金等の獲得方法を教えてくれるって事だったので。

社長である父に「入れ」と言われたため。

最初は人脈作り

自己改革

入ってた



日本木青連初理事出向時の動機	個数 / 日	割合
自らなりたかった	1	1%
その他	11	11%
仲間からの要請	86	88%

その他コメント

ならざるを得なかった

会団人数の違う上

常任理事の翌年

理事は未経験です。

次年度の委員長が決まったので

誰もいなかったため

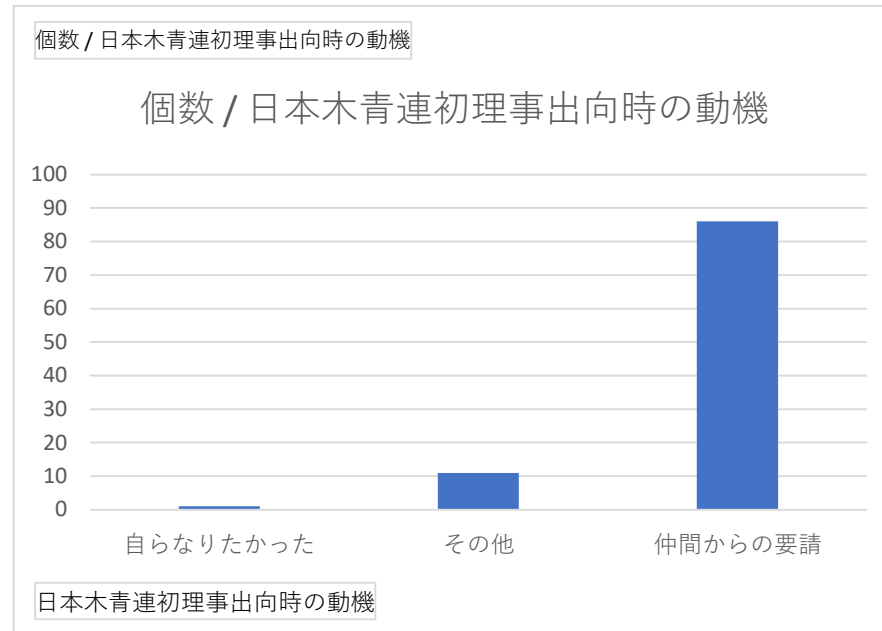
知らぬ間に仕向けられた

なっていない

JC出向理事

順番が来た。

まだしてない



入会のきっかけ	個数 /	割合
その他	4	4%
知人（身内含む）に勧められた	94	96%
イベントを通じて	0	0%

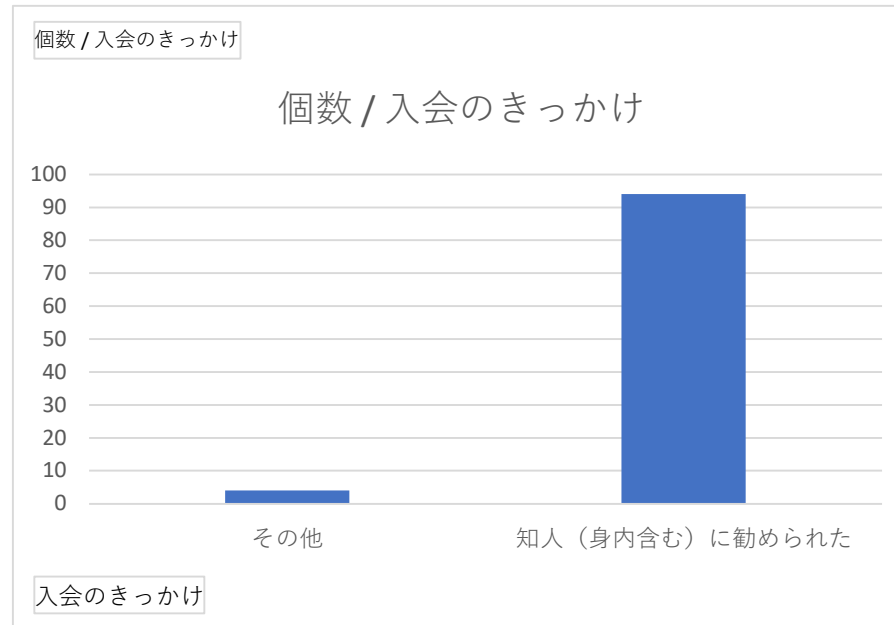
その他コメント

会社に当時の階級の地区長がお見えになり、直接入会の勧誘を受けた。

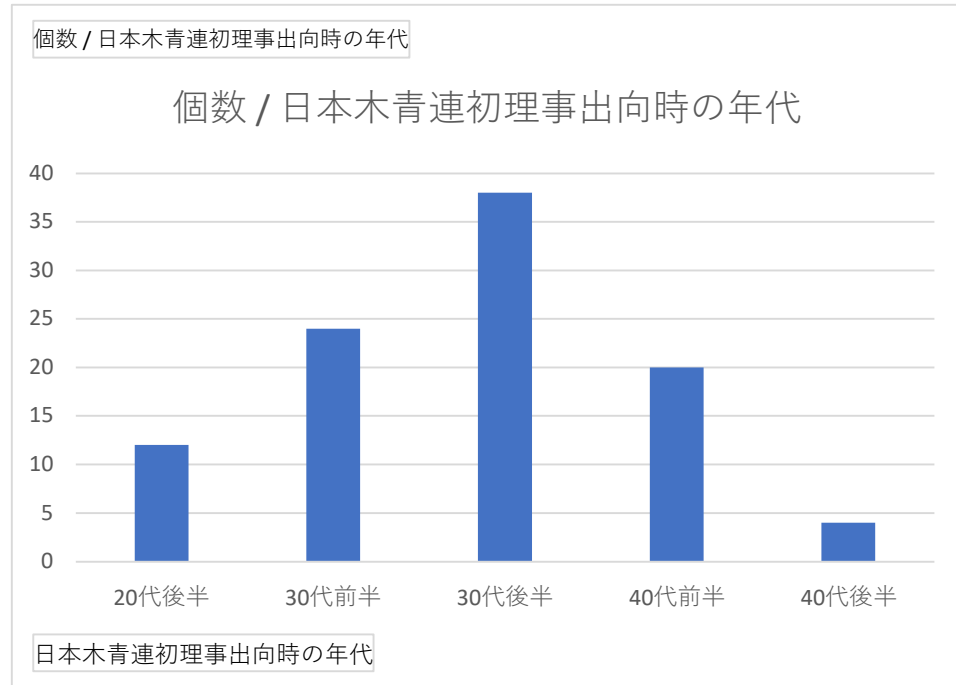
誘われてゴルフに行ったらそのまま自動入会だった。

強制入会

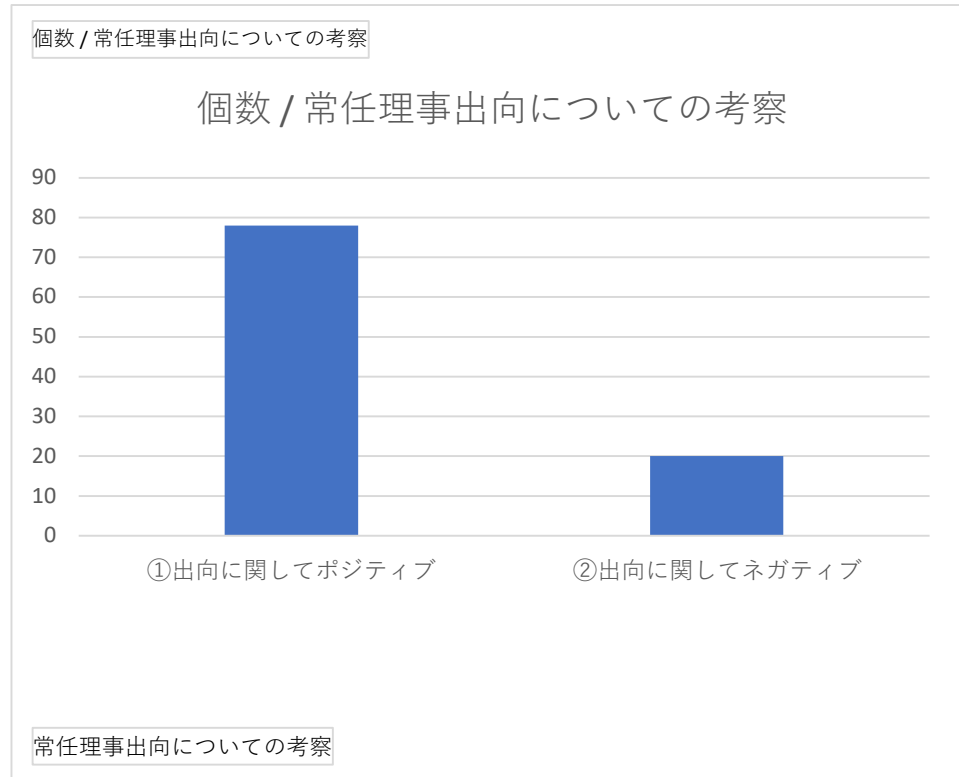
入ってた



日本木青連初理事出向時の年代	個数	割合
20代後半	12	12%
30代前半	24	24%
30代後半	38	39%
40代前半	20	20%
40代後半	4	4%
	98	

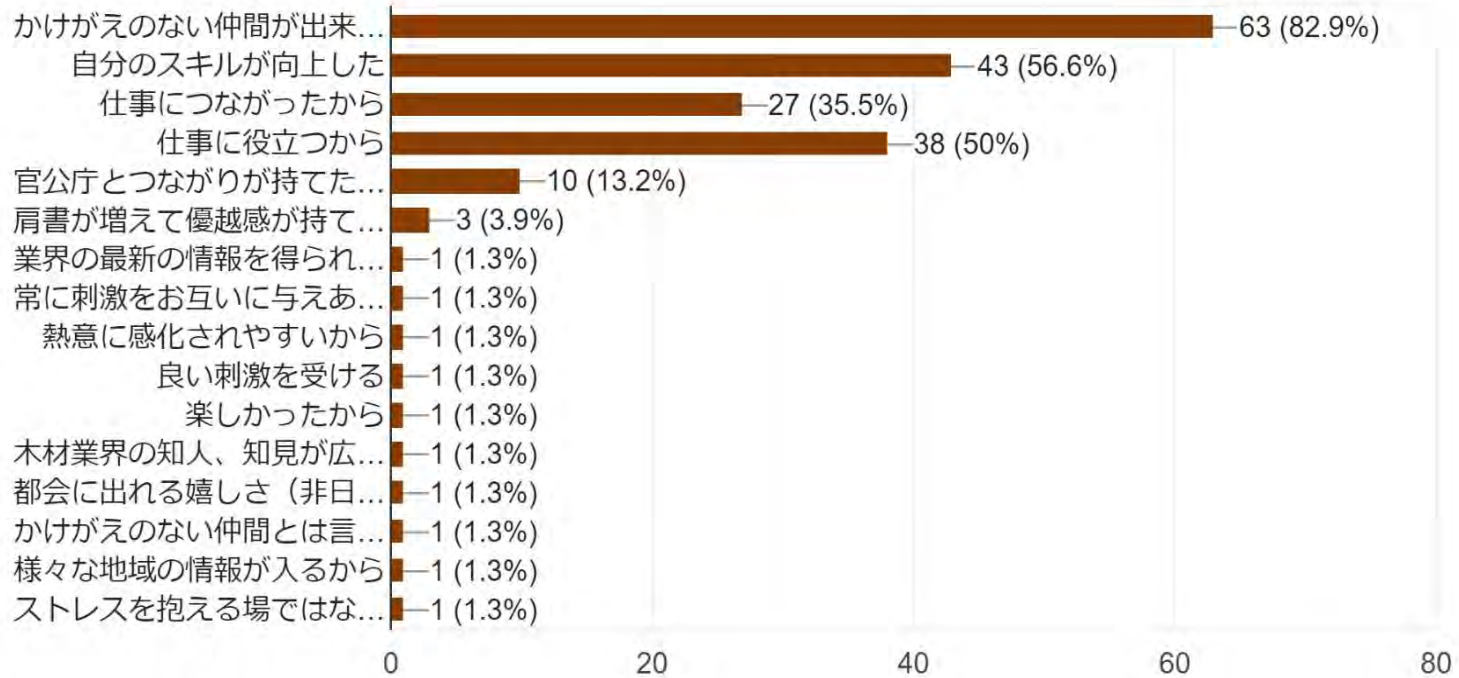


常任理事出向についての考察	個数 /	割合
①出向に関してポジティブ	78	80%
②出向に関してネガティブ	20	20%
	98	



上記①を選んだ理由

76件の回答



その他コメント

業界の最新の情報を得られるから

常に刺激をお互いに与えあえる生涯の友ができたから

ストレスを抱える場ではなく、ストレス発散の場で元気が出る！

良い刺激を受ける

楽しかったから

木材業界の知人、知見が広がる

熱意に感化されやすいから

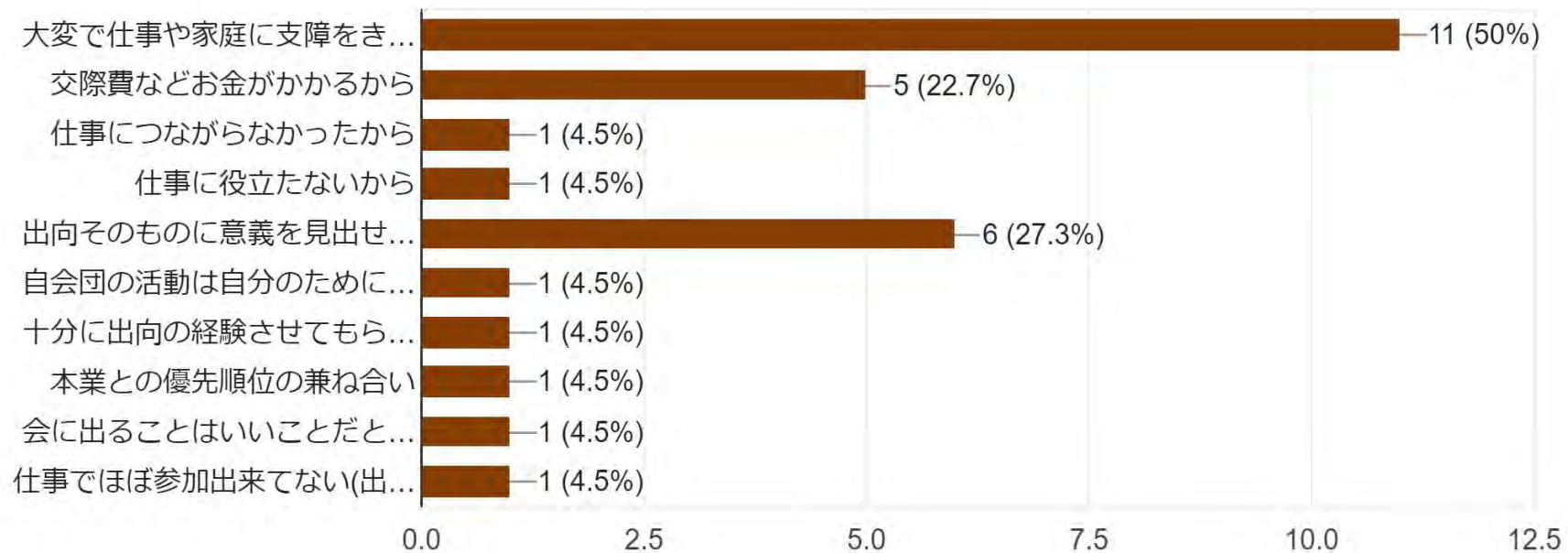
様々な地域の情報が入るから

かけがえのない仲間とは言えないが、知り合いが全国にいるという事が一番。ただ費やす時間も非常に大きい・・・

都会に出れる嬉しさ(非日常感)、色々な知識が得られる

上記②を選んだ理由

22件の回答



その他コメント

自会団の活動は自分のためにもなるが、日本は自分のためになるとはあまり思えず、自会団に持ち帰って役立たずこともほとんどない

十分に出向の経験させてもらったので、出向未経験な会員に出向をすすめたい

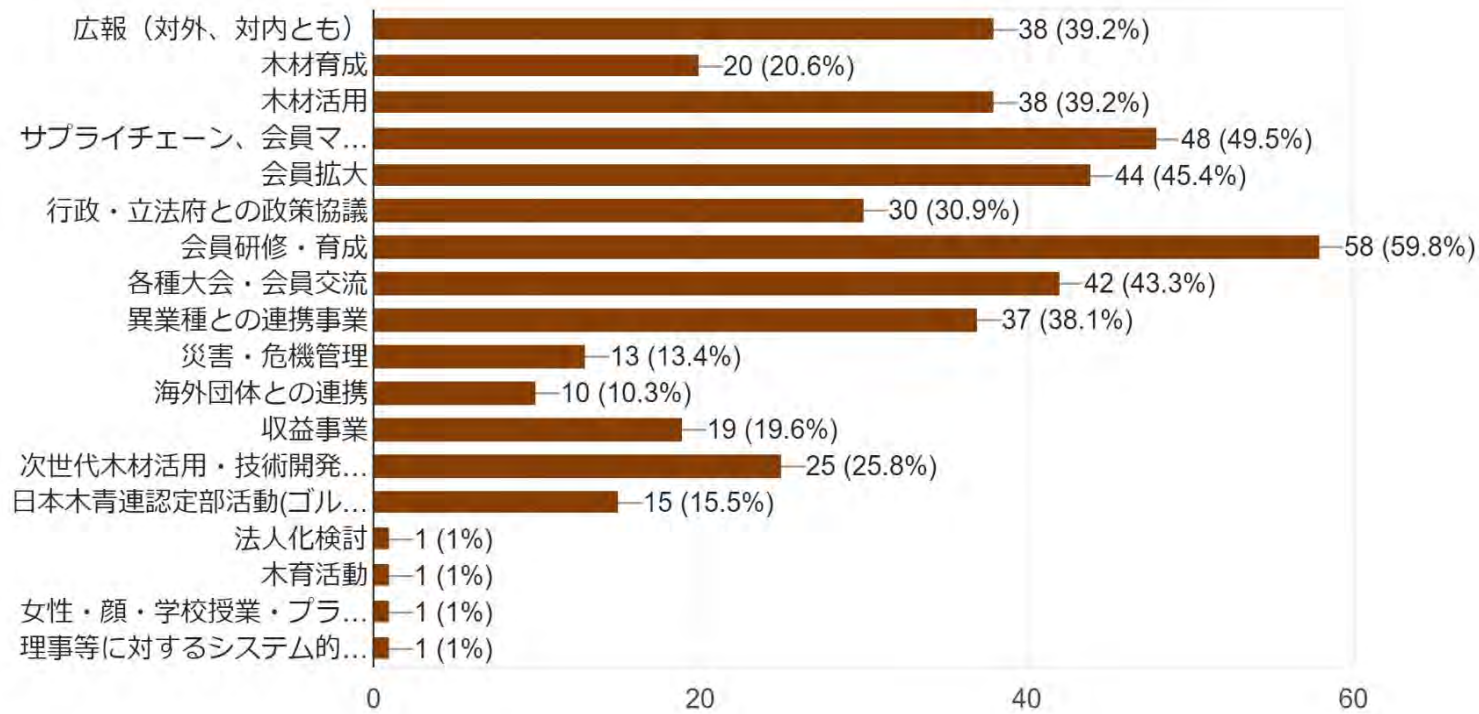
本業との優先順位の兼ね合い

会に出ることはいいことだと思うが次の世代につなぐことができない環境がある

仕事でほぼ参加出来てない(出来ない)

今後日本木青連で特に力を入れるべき事業

97件の回答



その他コメント

法人化検討

木育活動

理事等に対するシステムのサポート体制

女性・顔・学校授業・プライド・サポート・バイオエコノミー

意見集約アンケートの集計(常任)

上記を選択した事由や詳細など

個別企業や地域会団にはない全国組織ならではの事業などに期待したい。

同じ業界であるけれど、扱っている物が違うので、それぞれの資源を使って業界全体の底上げをするべき。

メンバーの貴重な時間とお金をかけて事業を行っているので、できる限り社業（売上、仕入）に直結、効果あるように注力すべきと考えます。

単一業界だけではなく、広く視座を上げて世の中の流れやトレンドも俯瞰した上で、自分たちが主体的に関われる、さらには世界をリードできるような存在にならないと業界ごと淘汰されてしまう可能性があるから。

業界が抱える課題を解決する場が基本的にないから。

選択肢に無かったのですが、「会員会団」、「会員」に対しての恩恵を与えたり、還元できることを主軸に置いた事業またはそのような考えを持つことが「団体連合会」としての使命であると思います。日本木青連に出向した者だけが恩恵を被る、あるいはそれで良いというような風潮があるように感じています。

ほとんどの会員の方は、知り合いなどで小さいコミュニティの中で活動していると思う事から、日本に出向して仲間作りができ仕事にも繋がるとなれば前向きに出向でき、会自体の発展にも繋がると思います。

全国組織のメリットである、仲間づくりと全国の状況を知ることで、自らの仕事の発展が業界の発展へと繋がっていくものだとの認識

それなりの規模の団体だから

会員交流の輪と高い目的意識が活動のレベルを高めていくと考えているから。

仲間・知り合いが増えることが一番の魅力だと思うから

団塊Jr世代の減少でここ10年で会の運営も変化していく。続けることと続けられる体制が必要

歴史ある木育と木活への注力は、今後の事業継続の為に必要だと思います。また、同業界内の交流活発化が木青連に求められる事だと思いました。

個人では海外の繋がりは難しいので会として行って欲しい。

会員がいて木青連が成り立ち、ひとりひとりが成長してこそ木材業界が発展し、社会貢献に繋がると考える。

木材活用が一般的にも注目されている中で歴史と実績のある木青連の活動を対外に広く適切に発信していく必要があると考えています。その広報活動が異業種連携、会員拡大、技術開発、そして木材利用の拡大につながっていくはずです。

会員拡大しないと会が成り立たない、規模のメリットも受けられない。あと会員交流が一番楽しいので、会員交流に入れさせて頂きました。

本業と日本木青活動の連動を強化するため（収益や事業創出など）

木材の価値を上げる活動（単独ではなく団体として）を推進してほしい。

多くの友人を見つけることのできる素晴らしい団体なので、少しでも会員を増やし、木材業界の明るい未来を内外に発信していきたいとの想いで活動をしています。

夫々の活動を通して自ら行動する癖が付いてくるので社業において前向きな考えが出来る

意見集約アンケートの集計(常任)

まず、何をにおいても「数は力なり」、ということに尽きます。会員数の減少は理解していますが、私の所属会団でも、実際にこの業種に携わり、木青に入られていない方がいるということ、そこにアプローチをしなければならぬはずであります。木青の良さ、メリットを知る、理解している人間が、各地域にて積極的にPRすべきであると考えます。この団体を知っていただくこと、そのためにはどうすればよいのか、皆さんで考えることが重要な気がします。

小規模事業所では出来ないことを具現化できる

日本を冠する業界団体だからこそできる政策（行政、異業種との連携）や、業界全体の底上げを意図する会員研修などは、業界にとっても個々の会員の事業にとっても良いものと考えます。

会社経営に役立つ事業を望む為

全てにチェックを入れたかったのですが特に上記が現在必要だと感じたからです。

新規会員を勧誘する際により魅力ある木青連にするべく、もっと内向きの研修会や対外的に木青連の価値をPRして頂き、よりよく社会貢献できる団体になって頂きたい。それが、すなわち会員満足度の向上につながるし、会員数増加につながると考えているから。

短期・長期の視点にたつて会員の成長につながる事業ではないかと考えます。

数多くメンバー同士が交流できる機会の提供

人と繋がるきっかけづくりになる会だと思うから。直接事業に繋がることや利益はその次でも良いと思うから。

各地区、各会団と一緒にやることがほぼなく、出向していないメンバーに何をやっているのか伝わっていない。

所属会員にメリットがあるようにしたい

若い木材人の育成と相互啓発が木青連の最大のメリットだと感じています。これからもそのメリットを感じられる会であってほしいと思いますし、自分自身も同性代のメンバーに刺激をもらい与えられる行動が出来るように心がけたいと思います。

この会に出向している目に見える成果を自分の会社の人間に見せなければ出向しにくい人が沢山いると思う。この会には仕事でつながるであろう人もいるし、異業種との繋がりがあり面白い取り組みをしている人がいるが、会員にはあまりそれが伝わっていないので、まずどういう人がこの会にいるのか身内の情報を共有した上でその人たちと連携したり、その新しいネットワークを使って異業種との連携などでできると面白くなると思う。広報で広く周知するのも必要だし、やはりリアルであって色んな話をする中で新しいものが生まれてくると思うので会員交流も重要。

・サプライチェーン・会員マッチングについては、以前から会員検索したときに、不便に感じていました。今回のSCMで大幅に改良されるので、継続的力を入れるべきだと思います。・会員拡大については、岡山木材青年会でもかなり課題となっております。・会員研修・育成については、弊社自体が家族経営ということもあり、スキルアップの場面が非常に少ないので、そういう場の提供についてはかなり重宝できていると感じています。・異業種との連携事業については、今後脱プラやカーボンニュートラルの観点から必須になってくるのではと思います。・認定部活動は、同じ趣味が合う人がいれば良いかなと。

一番は「何か共通の目的を持って仲間と一緒に取り組む=共感者や仲間が出来るから」ということが良いと思っており、そのためには「収益事業」「異業種との連携事業」が適切なのではないかと考えている。その土台がある上で「会員マッチング」「会員研修、育成」が次に繋がると思う。

一社ではできないことを、数社で、しかも同じ会社組織のように繋がれば良いと思う

意見集約アンケートの集計(常任)

まずは情報発信、その上で多くの接点を得れる場を準備する。全体で見れば広く浅く環境が必要では。

人格の形成にかかわる重要なものだから

地元で十分活動している。日木にはそれ以外の部分をお願いしたい。

女性 ← バランスいい。明るい。楽しい。広がる 顔 ← 人を集める。巻き込む。イメージが湧く 授業 ← 新しい市民（親子≡大人も子供も≡男女共≡兄弟や親戚も）のフィルター＝小学校・中学校までに強く伝える※義務教育。 サポート ← 倒産・廃業防止 バイオエコノミー ← 全ての経済活動（売り・買い）の決定基準を持続可能な生物由来のモノから選択 プライド ← 地球環境貢献企業

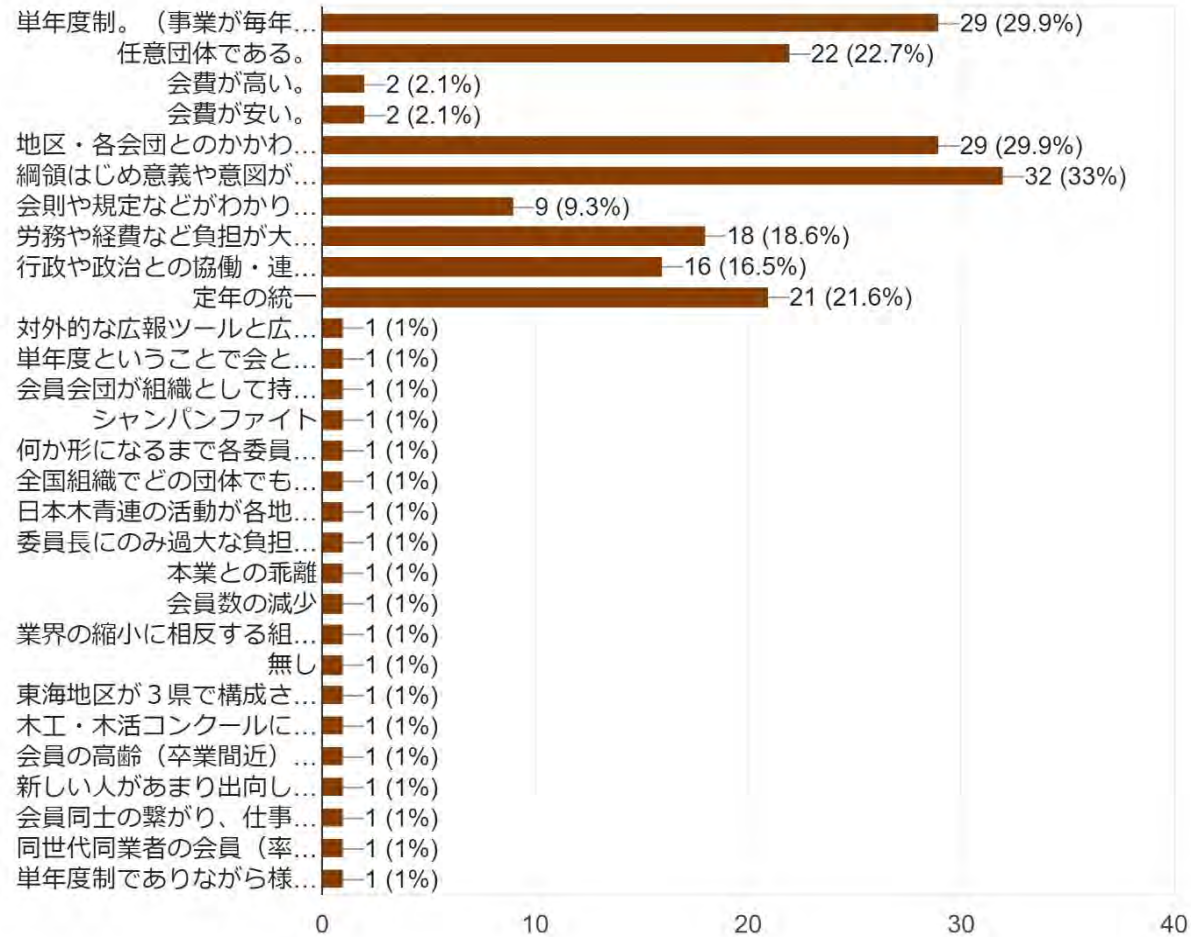
会社にとってのメリットが明確となるため

近年の法人化を視野に入れ始めた動きを鑑みると、このあたりに力を入れてもいいのではないかと。内部的には会員間の連携や交流を深める事、対外的には広報の強化。会員数減少の一途を辿る現状では確かに会員拡大も重要かとは思いますが、まずは今いる会員に向けての施策を行ない、そのメリットを以て会員拡大を狙う（誘い文句に使う）方が得策だと考える。それと、その他に記載した「理事等に対するシステム的なサポート体制」については、本人のやる気とは別の要因（時間的・経済的・その他諸々の理由など）で役をやりがらない人がいる。実際常任理事については個人負担が大きいは事実なので、ここ数年で取り入れられたハイブリッド開催（ZOOM）ではないですが、技術や道具を活用し属人的な要素をもう少し排して個人の負担を減らせるといったシステム的なサポート体制を構築できないかなとも思う。

意見集約アンケートの集計(常任)

日本木青連の課題点は？

97件の回答



意見集約アンケートの集計(常任)

その他コメント

対外的な広報ツールと広報手法を各会員へ浸透させる必要がある

単年度ということで会としての連続性が弱くなる。過去の功績（CO2固定量認証制度やウッドトランスフォームなど）も適宜伝え、時がきたらいつでもバックアップし、新しい価値を創造できる体制と叡智を養う必要がある。

会員会団が組織として持続していない、あるいは持続が危ぶまれている。それが故に足並みが揃っていない。

シャンパンファイト

何か形になるまで各委員会で何をしているのかわからない。伝わらない。

全国組織でどの団体でも課題になるが出向と地元で2極化がかなり進んでいる

日本木青連の活動が各地区メンバーまで伝わりにくい。

委員長にのみ過大な負担が生じる場合がある。

本業との乖離

会員数の減少

業界の縮小に相反する組織拡大志向

無し

東海地区が3県で構成されているため、毎年の出向希望者の要請が限界にきている感じをうける。

木工・木活コンクールに代わる新規継続事業が無い

会員の高齢（卒業間近）次世代の会員がいない（木材屋）

新しい人があまり出向していない、いつも同じ顔触れ

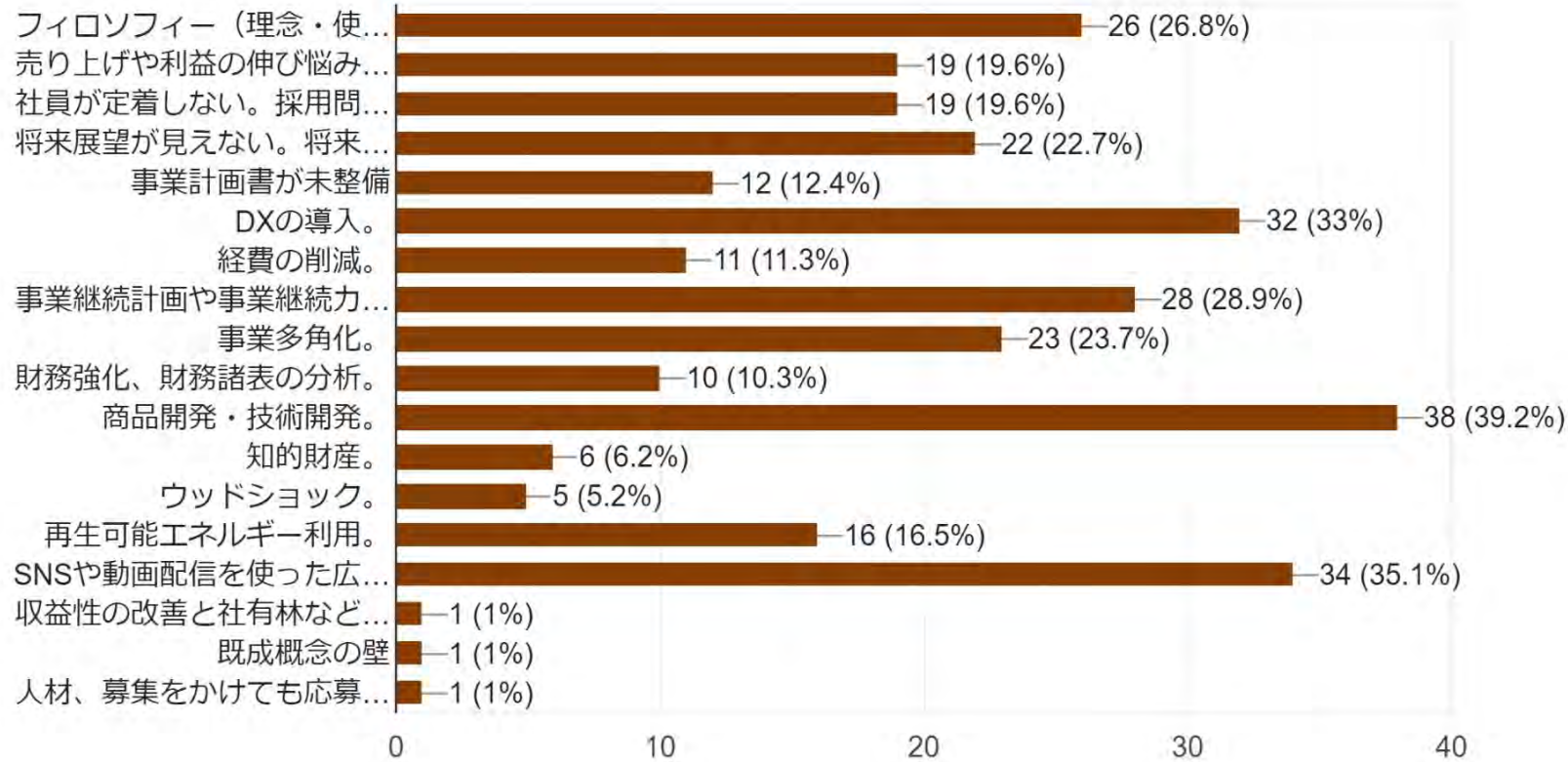
会員同士の繋がり、仕事への繋がりを体現すること

同世代同業者の会員（率）減少？

単年度制でありながら様々な情報や引継ぎが各人に依存していること（加えて公的には議事録以外の資料がない）

自社の課題点や関心毎は？

97件の回答



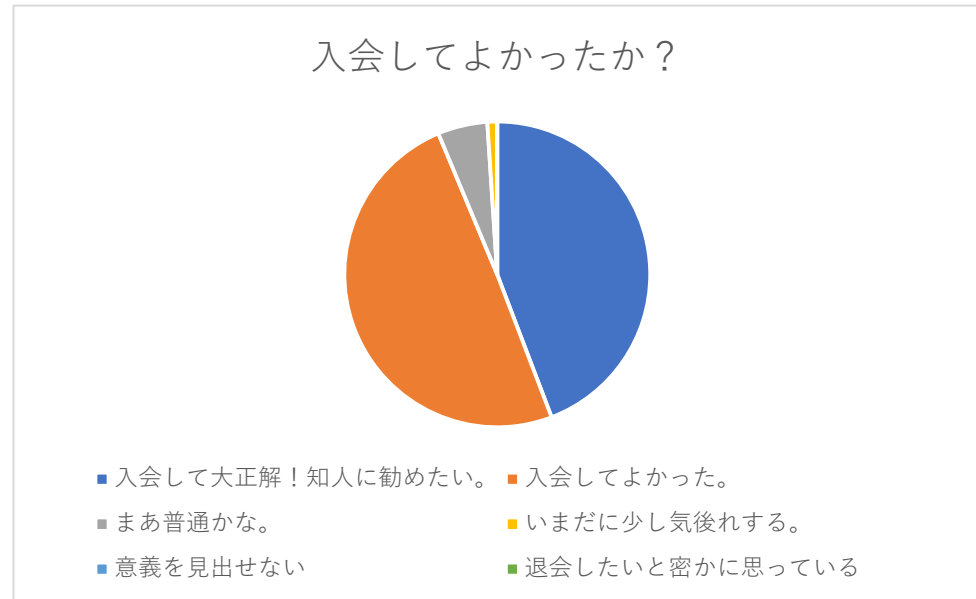
その他コメント

収益性の改善と社有林などの資産化が大切

既成概念の壁

人材、募集をかけても応募がない

ずばり、日本木青連に入会してよかったか？	個数	割合
入会して大正解！知人に勧めたい。	42	44%
入会してよかった。	47	49%
まあ普通かな。	5	5%
いまだに少し気後れする。	1	1%
意義を見出せない	0	0%
退会したいと密かに思っている	0	0%



その他コメント

「日本木青連に入会して」とありますが、日本木青連に入会しているという感覚はないので、「日本木青連に出向して良かったか？」と考えると、良かったと思います。是非、登録会団あるいは地元会団の若手に出向を勧めたいと思います。広島会団や中四国地区はいいが、日本は正直言うと自分には必要ない日本は大好きですが、会団に問題がありまして、、、

上記を選択した事由や詳細など

入会が無ければ今の自分はないと自信を持って言えるほど、人との繋がりや事業へのヒントを頂いた。きっかけは周りからもらい、自ら赴くことで大きな効果が得られると思う。

同年代の同業者が、これほど多く集まって業界の将来を作っている団体はない。業界のトップランナーに出会えるチャンスがあり、事業の参考になる。

様々な業種、地域、年代の仲間と出会える。企業の大小に関わらず。何かを伝えること、仲間を巻き込む、一緒に活動する難しさ、楽しみを経験できる。

人は人で磨かれる。井の中の蛙大海を知らず。やってみて初めて気が付く・身になることを教えてくれる。まさに人生の縮図であり、そして自身の人生を掛けるテーマ・道しるべを提供してくれたから。(新しい木財と新しい森林の価値創造！)

負担が大きいものの得られるものは沢山ある。複数年出向かつ常任理事になって初めて会の価値が分かってくる。人との関わり、多くの経験を一緒にする事で学ぶものが沢山ある。また業界を俯瞰してみれるメンバーが揃っているところは魅力的だと思う。これからはメンバーの発言の場や意見交換、さらに発展して業界、自社にとってプラスになる仕組み作りなどできたら理想的。未整備の状態なのはもったいないと感じている。

個人として日本木青連に会員となっていると言う感覚はありませんので、そのような回答です。地元会団へ入会したことに関しては、良かったと思います。三渡会長補佐、身を粉にしてこのような調査活動お疲れ様です！

入会当時は地元で根ざした商売をしていたが業態変化で外に出て行かざるを得なくなった時に木青連の人脈が非常に役に立った悩んだ時に同じ感覚でキズを舐め合うことも、前に進んでいけることのできる仲間に出会えたからです！

会団内だけでもメリットは多くありましたが、全国に行くことでもっと多くの知識を得ることができました。当然ながら自社に持ち帰り社内の活性化に利用できたし、さらには地域資源の活用を図るキッカケをいただきました

学ぶことが多いため。

大人になってから、同業者で心を開ける友人ができる事は、この会にいないと得られない事だと思うから。

自分しただいと強く思う。自分の係わりかたから言うとこんな感情かなど。

実際事業体制で物理的に出てこれない会員は出てくる。人手不足など含めて。出向や活動を出来る余裕がある時期などが限られることは時はある。活動やめるのは簡単だが、一度なくなった木青会をどうするかなどは難しい。活動で何をやるかは最終的にその人次第なので。

事業運営や会議の進行方法を学ぶことができる貴重な機会だと思います。また、普段は接点のない方達と共に努めることも有意義です。

かけがえのない仲間と知り合えたから。常任理事として出向した令和元年度は濃く充実した一年でした

意見集約アンケートの集計(常任)

経営者として必要な人的ネットワークの構築と情報取得ができる。知的好奇心を満たす楽しい時間を同年代の仲間と一緒に過ごせることは何事にもかえがたいこと。会議の進め方などのメソッドを学べることも利点の1つ。時間と経費の負担が必要以上に大きい前例踏襲型の事業や業務もあり改善は必要。地区や会団によって個性がある多様性が良い点であり、その個性を活かした形で組織を進化させていく必要がある。

日本木青連に入会した事で、全国にたくさんの知人が出来ました。これは大変良かったです。一方常任理事としての出向、特に委員長は非常に大変であり、現在の体制では委員長にのみ過大な負担が生じるケースが見受けられます。苦勞してこそなのかもしれませんが、もう少々委員長の負担や責任を軽く出来ないか検討・改善して頂きたいと思い、MAX評価から一段階下げた評価にチェックを入れさせて頂きました。

運営上の課題はあれど、皆さん人柄が素晴らしい！

横の繋がりの強化や幅が広がる。相談や依頼などを含め連絡がし易い。

不屈の精神をもって行動できるところ

同じ業界の同世代の方と知り合えるまたとない機会。是非とも同じ世代の業界人であれば入会して交流を深めて欲しい。

同業で知り合いが増えるだけでも社業に良い意味で反映される事がよくあります。

井の中の蛙、にならないために、時間とお金をかけて、多少面倒でも、多くの人と出会い、話をして、自己の成長に繋げるからこそ、重要なことであると考えますし、何歳になっても、実践しなければならないことだと思います。

一定の人間が何度も常任理事を経験するのは、該当者がいないこともあるが会の新陳代謝が行われないのではないかな？

日本木青連は業界、木材、森林のことを真剣に考え施策を進め、情報発信するすばらしい組織だと思うが、木材業界だけではなく会社自体の数が減っているのに、組織・活動が肥大化していると感じる。会員拡大は重要だが、事業所の絶対数の減少に伴い組織もシュリンクさせていかないと、役員人事に毎年追われることとなり本来の活動に費やす時間、エネルギーが減ってしまう。

入会しているだけでは何の意味もない・・・。やってなんぼの世界。やらなければ誰も認めてくれないですよ～。そこをはき違えて、仕事のプラスにならないとぼやいている会員もいる・・・。逆に入会しなければ評価も落とさなかったのに～と思います。

入らないより入る方が絶対良い

新しい発見や同じ悩みを持つ仲間との出会いが刺激になるので入会してよかったです。

木青連でしか出会えない人とお会い出来て全国に仲間が増えた。是非、会の若い方にも出向して頂き、人という財産を築いて欲しい。

個人的には事業とは分けて木青連活動に参加していますが、会員全体の事を考えればある程度のパッケージを木青連で作成した上で会員同士のビジネスマッチングや協業などを推進していく事で公私共に親交も深まり、また会員の参加意義に直結するのではと考えています。

自己成長できる機会が多くある

意見集約アンケートの集計(常任)

地元会団の活動だけだとなかなか意義を見出せない所があった。日本木青連に継続して出向して、知り合いも増えて初めて視野が広がる場所があると思う。やはり日本全国から集まるだけあって、スケールが違う。自分から自発的に動けば色々な問題が解決できるヒントがたくさんあって、すごく良いと思う。ただ、そこまでの気持ちで望まない負担に感じてしまう部分が多いのもあると思う。仕事を多少犠牲にしてやらなければならない事も少なからずあった。その辺を納得して日本木青連へ行くまでには少し時間と根気は必要な気がする。でも最後はやって良かったと思える会です。

仕事、取引の有無にかかわらず、多くの人と関係性を持てることは大きいと思います。出向枠に限りがある中で、出向していないメンバーにどうやって関りをもってもらえるかが、今後の課題かと。

全国各地に色々と相談出来る仲間を作る事が出来た事

木青連から教えてもらった事がたくさんあるので入会してよかったと感じています。

一生付き合える仲間が出来た

多くの仲間達が出来たことがよかった。仕事にはならなくてもなんの利害関係なく色々な話ができる仲間がいるとそれだけで心強い。ストレス発散にもGOOD。

かけがえのない仕事仲間が出来た事

・弊社では、経験出来ないことをさせていただいていること。・普段関わる事のない会員と話ができること。

主体的な活動ができる人や先輩から目をかけてもらって活躍の場を見いだせる人は向いていると思うが、その2つの要素を中々持てない人には有意義に過ごせるのだろうか？と思う環境ではある。難しいとは思いますが仕組みとして多くの会員が全国や異業種の方々とつながりが持てるような団体活動が増えるとより良くなると思う。

本業以外で活動することへの負担感が先に感じられてしまうが、いろんな仲間ができて仕事でも助けになることが実感できれば、前向きになれると思う。材料仕入れや、職人のやりくりなど、一緒にできることは色々ある。経営はじめ、いろいろな情報を得て刺激になることもある。

現在の自社のビジネスの範囲では知り合えない人との接点、得られない情報、感じる事のない刺激があった。多くの会員の方々は会社組織の経営側の方々だと思います。ビジネスに直結しなくても自社の将来に役立つ何かが見つかるかも？

自分を作る場を頂いたから（人格、社会性、ビジネスをつくる）

同じ世代の業界仲間に出会えた

他地域と交流できる

木青会に入会して、木育を知り学校などで話をする機会が多く、自分の仕事やこの業界が必要であることに自信を持つ事が出来たから。

ストレスが溜まる場ではなく、ストレス発散の場で元気が出る！！

意見集約アンケートの集計(常任)

全国に素晴らしい仲間ができたから。

全国に知り合いが多くでき、多くの経験をさせてもらったので今の私としては入会してよかったと断言できる。と同時に仮に10年前に同じ事を聞かれていたとしたらネガティブな回答をしていただろうなとも思う。自分の場合は幸運にも常任理事をはじめ色々な立場を経験し、また一端だとしても日本木青連の内部を知ることができたので面白いなと思う要素が多かったのだが、そうではない方達にとっては中々メリットや価値を見出すのは難しいかもしれないと思うのも確か。なので、もっと多くの人に活動に参加して行って欲しいし、軽率（敢えてそう表現）に挑戦して行ってほしい。

令和4年度PR事業報告書

会 団 名 _____

1. 事業名

2. 日 時

3. 場 所

4. 参加者数（来場者数）

子供 人

大人 人

5. 木青連出席者氏名

6. 内容・題材

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。

（提出期限：令和5年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

支出の部

科 目	金 額	摘 要
合 計		

(教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、
弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい)

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関		口座番号	
	口座名義人		普通・当座	

提出期限 令和5年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

令和4年度PR事業報告書

会 団 名 長野県木青連

1. 事業名

信州山の日イベント[木工教室]

2. 日 時

令和〇年7月〇日（日）
9:30～16:30

3. 場 所

〇〇市 〇〇高原

4. 参加者数（来場者数）

子供 100人
大人 90人

5. 木青連出席者氏名

長野 太郎（終日）
信州 一郎（終日）
松本 太郎（午前）
上田 一郎（午前）

6. 内容・題材

木工教室を開催。

・ミニ椅子づくり（イスキット） 100セット

《講師内容》

① イスの作り方（5分）木青連

② イス作り開始（45分）※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

7. 添付資料

・写真添付

（jpg データで送ってください。※1枚1枚のデータに、イベント名を記載してください。）



式典風景



木工教室



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）



木工教室（イスづくり）

複数の事業を行う場合は本紙をコピーの上、1事業1枚の報告書を提出して下さい。
（提出期限：令和5年1月末日まで）

8. 収支精算書

収入の部

科 目	金 額	摘 要
PR事業費	115,576 円	
合 計	115,576 円	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
材料費	81,000 円	県産材（杉）イス材料 810 円×100 セット
加工費	16,200 円	イス材料加工 162 円×100 セット
搬入費	5,000 円	運搬費（搬入・搬出）
備品、雑費 など	11,000 円	受付簿、整理券、会員紹介・木青連 PR 用印刷等
印刷費	2,376 円	受付簿、整理券等印刷
合 計	115,576 円	（税込）

（教材費・材料費、会場費、パンフレット代、テキスト代、道具代、
 弁当代、雑費、などの項目別に記入して下さい）

※県の補助事業の対象となりますので、領収書については宛先を長野県木青連としてください。

また、但し書きと日付も必ず入れてください。

口 座	金融機関	八十二銀行 ○○支店	口座番号	No.000000000
	口座名義人	長野県木青連	普通・当座	普通

提出期限 令和5年1月末日（必着）

【領収書のコピー添付欄】

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

領 収 書

¥ _____ 円
但し、.....

令和 年 月 日

2023年カレンダー集計表

1. 長野材友会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数						
101	松代木材																					0	0				0
102	マルオカ																					0	0				0
103	住まいのクラサワ	530	100	530	150																	250	132,500			1,500	134,000
104	山ニハウジング																					0	0				0
105	丸興木材																					0	0				0
106	ウッディプランニング																					0	0				0
107	小山木材																					0	0				0
108	アスカ木材																					0	0				0
109	おちあい																					0	0				0
110	土倉製材所			550	30																	30	16,500			500	17,000
111																						0	0				0
112																						0	0				0
113																						0	0				0
114																						0	0				0
115																						0	0				0
116																						0	0				0
117																						0	0				0
118																						0	0				0
119																						0	0				0
120																						0	0				0
合 計			100		180		0		0		0		0		0		0		0		0	280	149,000	0	0	2,000	151,000

手数料(1部@¥50) 会団様 14,000
木青連様 14,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 137,000
木青連様⇒共立 123,000

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

2. 高水若杉会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
201	瑞穂木材																		830	200			200	166,000	1,500		1,000	168,500
202	竹原木材											360	450										450	162,000			2,500	164,500
203	高社木材																						0	0				0
204	信越木材																						0	0				0
205	山三																						0	0				0
206	内野																						0	0				0
207	中澤木材											390	60										60	23,400		500	23,900	
208	藤澤建築											390	60										60	23,400		500	23,900	
209	竹節建築			550	120																		120	66,000		1,000	67,000	
210																							0	0				0
211																							0	0				0
212																							0	0				0
213																							0	0				0
214																							0	0				0
215																							0	0				0
216																							0	0				0
217																							0	0				0
218																							0	0				0
219																							0	0				0
220																							0	0				0
合 計			0		120		0		0		0		570		0		0		200		0		890	440,800	1,500	0	5,500	447,800

手数料(1部@¥50) 会団様 44,500
木青連様 44,500

支払い金額 会団様⇒木青連: 403,300
木青連様⇒共立 358,800

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

3. 上小木青連

No.	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
301	コクブ																					0	0				0	
302	上田住宅																						0	0				0
303	布施製材所																						0	0				0
304	浅木屋木材											390	15									15	5,850			500	6,350	
305	泉田木材工業																						0	0				0
306	樋沢産業																						0	0				0
307	日之出木材																						0	0				0
308	井出木材店																						0	0				0
309	小林木材																						0	0				0
310	丸山建材工業																						0	0				0
311	大久保木材																						0	0				0
312	第三木材																						0	0				0
313	イズミダ																						0	0				0
314	飯嶋林業																						0	0				0
315	おもだか屋																						0	0				0
316	川西 (川西木材)																						0	0				0
317																							0	0				0
318																							0	0				0
319																							0	0				0
320	上小木青連																						0	0				0
合計			0		0		0		0		0		15		0		0		0		0		15	5,850	0	0	500	6,350

手数料(1部@¥50)	会団様	750
	木青連様	750

支払い金額	会団様⇒木青連:	5,600
	木青連様⇒共立	4,850

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

4. 唐松会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
401	マルナカ											390	50									50	19,500			500	20,000	
402	太田木材																					0	0					0
403	山浦木材建材																					0	0					0
404	伊藤木材																					0	0					0
405	小林林業																					0	0					0
406	田村木材	550	50																			50	27,500			500	28,000	
407	中島木材																					0	0					0
408	矢野木材工業																					0	0					0
409	麻屋材木店																					0	0					0
410	小林林産																					0	0					0
411	田中製材工業																					0	0					0
412																						0	0					0
413																						0	0					0
414																						0	0					0
415																						0	0					0
416																						0	0					0
417																						0	0					0
418																						0	0					0
419																						0	0					0
420																						0	0					0
合計			50		0		0		0		0		50		0		0		0		0	100	47,000	0	0	1,000	48,000	

手数料(1部@¥50) 会団様 5,000
木青連様 5,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 43,000
木青連様⇒共立 38,000

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

5. 松本材青会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
501	印出											390	70									70	27,300			500	27,800	
502	エバラ													690	150							150	103,500			1,000	104,500	
503	渡辺製材所																					0	0				0	
504	上條製材工業																					0	0				0	
505	丸山製材所																					0	0				0	
506	筑北木材建設																					0	0				0	
507	赤羽工業																					0	0				0	
508	武居木材																					0	0				0	
509	田中製材所(国興)																					0	0				0	
510	大蔵木工																					0	0				0	
511	征矢野建材															630	100					100	63,000			500	63,500	
512	オガサワラ林業																					0	0				0	
513	百瀬木材																					0	0				0	
514	浅井木材	530	100																			100	53,000			500	53,500	
515																						0	0				0	
516																						0	0				0	
517																						0	0				0	
518																						0	0				0	
519																						0	0				0	
520																						0	0				0	
合計			100		0		0		0		0		70		150		100		0		0		420	246,800	0	0	2,500	249,300

手数料(1部@¥50) 会団様 21,000
木青連様 21,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 228,300
木青連様⇒共立 207,300

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

6. 旧・南安アルプス会

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)	
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数							
602	一日市建設																						0	0			0	
603	藤岡建設																						0	0			0	
604	辰善木材																						0	0			0	
605	太田林業																						0	0			0	
606	会田建設																						0	0			0	
607	べんと屋																						0	0			0	
608	安曇木材協同組合																						0	0			0	
609	佐原建設																	840	40				40	33,600		500	34,100	
610	王子木材																						0	0			0	
611	浅野製材所																						0	0			0	
612	岡澤組																						0	0			0	
613	白馬平林建設																						0	0			0	
914	増田建設産業(有)																						0	0			0	
915	敦②木軸工房									340	60												60	20,400		500	20,900	
616																							0	0			0	
617																							0	0			0	
618																							0	0			0	
619																							0	0			0	
620																							0	0			0	
621																							0	0			0	
合 計			0		0		0		0		60		0		0		0		40		0		100	54,000	0	0	1,000	55,000

手数料(1部@¥50) 会団様 5,000
木青連様 5,000

支払い金額 会団様⇒木青連: 50,000
木青連様⇒共立 45,000

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

7. 木曾

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		No.10978		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)		
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数								
701	松瀬工務店																					0	0				0		
702	大桑木材工業																						0	0				0	
703	池田木材																						0	0				0	
704	木曾五木工芸社													700	50								50	35,000		500		35,500	
705	進興工芸																						0	0				0	
706	佐郡木工所																						0	0				0	
707	山崎建設																						0	0				0	
708	井上													700	12								12	8,400		500		8,900	
709	のむら木材													690	100								100	69,000		500		69,500	
710	木曾協和産業																			470	50		50	23,500		500		24,000	
711	中村木材工業所																						0	0				0	
712	荻村製材所																						0	0				0	
713	中家製材所																						0	0				0	
714	楯木工製材所																						0	0				0	
715	田上桶店																						0	0				0	
716	古畑製材所																						0	0				0	
717	野尻木材工業所																						0	0				0	
718	栗山木工																						0	0				0	
719	下島木工																						0	0				0	
720																							0	0				0	
合計			0		0		0		0		0		0		162		0		0		0		50	212	135,900	0	0	2,000	137,900

手数料(1部@¥100) 木青連様 **21,200**

支払い金額 木青連様⇒共立 **116,700**

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

8. 個人

	企業名	No.11706		No.11762		No.10565		No.10761		No.10905		No.10972		No.11512		No.11514		No.10984		SB-049		部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)				
		単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数	単価	部数										
801	池田													700	8					840	10					18	14,000			500	14,500
802	カクダイ製材所																									0	0			0	0
803	丸藤建設木材																									0	0			0	0
804																										0	0			0	0
805																										0	0			0	0
806																										0	0			0	0
807																										0	0			0	0
808																										0	0			0	0
809																										0	0			0	0
810																										0	0			0	0
811																										0	0			0	0
812																										0	0			0	0
813																										0	0			0	0
814																										0	0			0	0
815																										0	0			0	0
816																										0	0			0	0
817																										0	0			0	0
818																										0	0			0	0
819																										0	0			0	0
820																										0	0			0	0
合計			0		0		0		0		0		0		8		0		10		0		0	18	14,000	0	0	500	14,500		

手数料(1部@¥100) 木青連様 **1,800**

支払い金額 木青連様→共立 **12,700**

注:上記金額は、税込み金額です。

2023年カレンダー集計表

9. 特殊

	企業名	SP111		SB081												部数合計 (部)	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)					
		単価	部数	単価	部数																					
901	都築木材	460	570	380	120																690	307,800	1,500		3,500	312,800
902																					0	0				0
合計			570		120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	690	307,800	1,500	0	3,500	312,800

1部10円 手数料(販売差額) 木青連様 **6,900**

支払い金額 木青連様⇒共立 **305,900**

注:上記金額は、税込み金額です。

■総合リスト

企業名	No.11706 部数	No.11762 部数	No.10565 部数	No.10761 部数	No.10905 部数	No.10972 部数	No.11512 部数	No.11514 部数	No.10984 部数	指定外 部数	合計部数	カレンダー (円)	版下 (円)	色代 (円)	送料 (円)	合計金額 (円)
1. 長野木材会	100	180	0	0	0	0	0	0	0	0	280	149,000	0	0	2,000	151,000
2. 高水若杉会	0	120	0	0	0	570	0	0	200	0	890	440,800	1,500	0	5,500	447,800
3. 上小木青会	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	15	5,850	0	0	500	6,350
4. 唐松会	50	0	0	0	0	50	0	0	0	0	100	47,000	0	0	1,000	48,000
5. 松本材青会	100	0	0	0	0	70	150	100	0	0	420	246,800	0	0	2,500	249,300
6. 南安アルプス会	0	0	0	0	60	0	0	0	40	0	100	54,000	0	0	1,000	55,000
7. 木曽	0	0	0	0	0	0	162	0	0	50	212	135,900	0	0	2,000	137,900
8. 個人	0	0	0	0	0	0	8	0	10	0	18	14,000	0	0	500	14,500
9. 特殊	570	120	0	0	0	0	0	0	0	0	690	307,800	1,500	0	3,500	312,800
合計	250	300	0	0	60	705	320	100	250	50	2,725	1,401,150	3,000	0	18,500	1,422,650

手数料(1部@¥50) 会団様 **90,250**
 (木曽及び個人 @¥100) 木青連様 **113,250**
 特殊分 木青連様 **6,900**

支払い金額 会団様⇒木青連 **1,019,600**
 特殊 **312,800**
 木青連様⇒共立 **1,212,250**

注:上記金額は、税込み金額です。

2022年9月吉日

長野県木材青壮年団体連合会 様

公益社団法人南長野青年会議所
理事長 宮尾 祐介
会員拡大室
室長 平山 亮太

『作ってつながる！木育ワークショップ』
ご協力のお願について

謹啓 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当青年会議所運動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度篠ノ井地域において『作ってつながる！木育ワークショップ』と題した事業の開催を企画致しました。家族で手作り工作を楽しんで頂くとともに木育を通じて豊かな心を育むことを目的と致しまして標記のイベントを下記のとおり開催致します。

つきましては、本事業の開催に際し、ご理解とご賛同をいただき、当日の活動にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

謹 白

記

主 催：公益社団法人南長野青年会議所

事業名：作ってつながる！木育ワークショップ

日 時：2022年11月13日（日）午前9時15分～午前11時30分（終了予定）

場 所：南長野運動公園

以 上

事務局：公益社団法人南長野青年会議所

〒388-8007長野市篠ノ井布施高田895-1

TEL 026-292-2310 FAX 026-293-5709

担当者：平山 亮太 携帯：080-3095-8605

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS15
203017
2030

JCI 公益社団法人 南長野青年会議所 2022年度 11月例会

作ってつながる！ 木育 ワークショップ

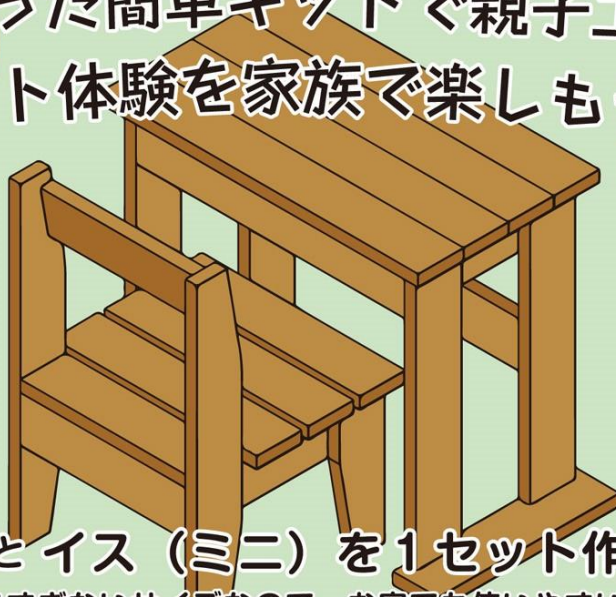
2022年11月13日(日)

参加
無料

信州の木を使った簡単キットで親子工作体験！
クラフト体験を家族で楽しもう！

スケジュール

9:00 受付
9:30 開会式
講師より説明
クラフト体験
11:30 閉会式



机(ミニ)・・・
高約 480mm
幅約 490mm
奥行約 260mm

イス(ミニ)・・・
高約 430mm
幅約 325mm
奥行約 305mm
座面高さ約 235mm

机(ミニ)とイス(ミニ)を1セット作ろう！！

★大きすぎないサイズなので、お家でも使いやすい★
完成品はその場でお持ち帰りいただけます。

■新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症ガイドラインを公式ホームページにて掲載しております。ご一読いただき、厳守をお願い致します。

- 11月中に県内において、まん延防止等重点措置もしくは緊急事態宣言が発令された場合は開催を中止とします。
- その他、全国的な状況においてイベント等が制限されるような事由、要請があった場合は開催を中止とします。
- 公益社団法人南長野青年会議所の判断により中止とする場合があります。
- 中止の場合には決定次メールでご案内させていただきます。

日時 2022年11月13日(日)
受付 8:30 開会 9:00 閉会 11:30

会場 南長野運動公園 南西芝生公園

参加費 無料

定員 15組 保護者+子ども

対象者 長野市近郊に在住の方

持ち物 タオル・軍手・飲み物
(動きやすい服装で、ご参加ください)

主催 公益社団法人南長野青年会議所 公式HP <https://mnjc.jp>

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 895-1
TEL 026-292-2310 FAX 026-293-5709

担当窓口

協力 長野県木材青年団体連合会

平山：080-3095-8605



お申込方法 下記、お申込欄をご記入頂き「FAX番号 026-293-5709」に送信願います。

お名前	TEL	参加人数	人
-----	-----	------	---

➡ FAX 026-293-5709 ※雨天決行、荒天の場合は中止となります。中止の場合は参加者へ担当者よりご連絡いたします。

作ってつながる！木育ワークショップ [木工教室] 事業報告

事業報告

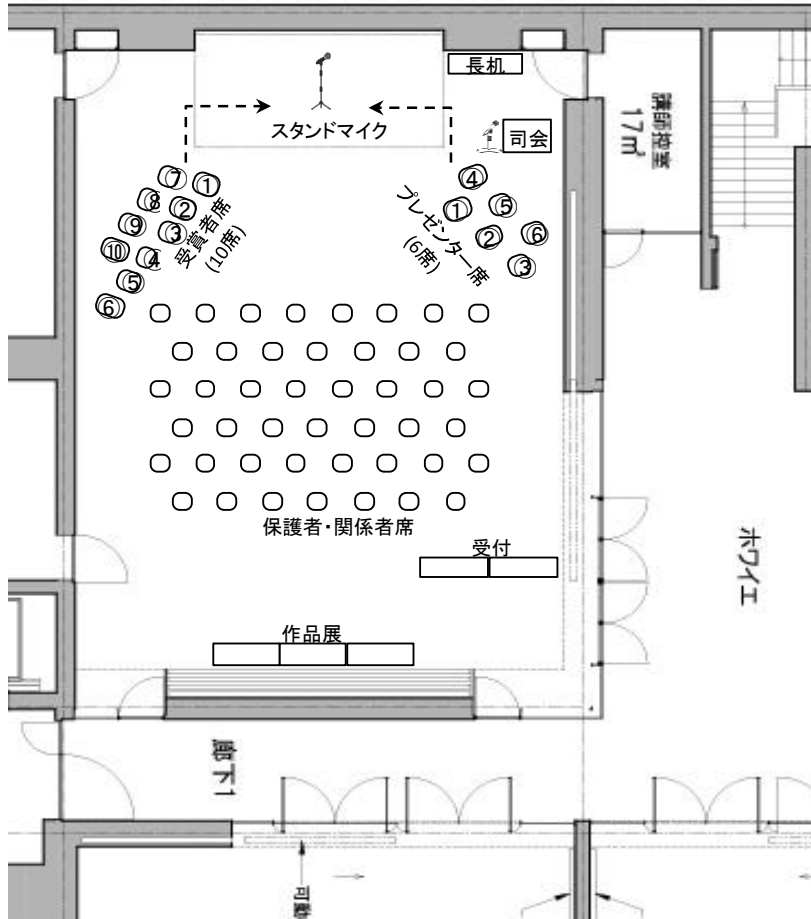
- 【事業名称】作ってつながる！木育ワークショップ 木工教室
- 【実施日時】令和4年11月13日（日） 9：15～12：00
- 【実施場所】南長野運動公園
- 【対象者】一般（作ってつながる！木育ワークショップ 来場者）
（28人（14組））
- 【担当】田村 紘一
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】第1回目となるイベント。公益社団法人南長野青年会議所主催による、長野市篠ノ井地域において『作ってつながる！木育ワークショップ』と題した事業の開催を企画し、家族で手作り工作を楽しんで頂くとともに木育を通じて豊かな心を育むことを目的として開催。
- 【事業内容】来場者に親子木工教室にて、椅子・机作りを体験していただく。
ミニ椅子・机づくり（イス・机キット）15セット
 ≪講座内容≫
 ①森林、木青連の話し ②作り方 ③イスづくり→机づくり
 （木青連は、参加者の指導及びサポート）
 ≪準備品≫
 木青連：イス・机キット15セット／道具（カナヅチ、釘抜き等）／釘、紙やすり
 南長野 JC：テント／コンパネ15枚／ブルーシート／受付簿
- 【スケジュール】 11月13日（日） 8：30～ 集合・材料搬入準備
 9：15～ オープン
 9：15～12：00 木工教室
 ①イスづくり
 ②机づくり
 12：00～ 片づけ、搬出

【当日の風景】



令和4年度 長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式

主催	長野県木材青壮年団体連合会																																																															
共催	長野県、林野庁中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県木材協同組合連合会、長野県県産材振興対策協議会																																																															
後援	長野県教育委員会、(一財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社																																																															
日時	令和4年11月26日(土) 14:00 ~ 14:30																																																															
場所	長野県立美術館 B1F ホール (長野市)																																																															
参集人数	約60名 (表彰受賞者(同伴者含む)約38名+プレゼンター6名+木青連等関係者約16名)																																																															
プレゼンター	長野県知事賞(最優秀賞) 栩秋 隆哉 様 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室長 長野県教育委員会賞 春日 俊宏 様 長野県総合教育センター 専門主事 林野庁中部森林管理局長賞 芳沢 真一 様 中部森林管理局 森林整備部 資源活用課 企画官 (公財)長野県緑の基金理事長賞 河西 光章 様 (公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 長野県木材協同組合連合会理事長賞 柴田 昌志 様 長野県木材協同組合連合会 専務理事 長野県県産材振興対策協議会会長賞 柴田 昌志 様 長野県県産材振興対策協議会 理事 長野県木材青壮年団体連合会会長賞 田村 紘一 君 長野県木材青壮年団体連合会 会長																																																															
日程	8:45~	集合・作品搬入																																																														
	9:00~	打合せ会議等 会場準備																																																														
	13:00~	集合、表彰式会場準備(木青連)																																																														
	13:30~	受付開始																																																														
	13:45~	受賞者、プレゼンター集合																																																														
	14:00~	1 開会																																																														
	14:01~	2 受賞者紹介、作品紹介(作文朗読は無し)																																																														
	14:03~	3 長野県木材青壮年団体連合会会長あいさつ																																																														
	14:05~	4 表彰式 ①最優秀賞(県知事賞) …小学校低学年・高学年・中学生・特別支援学校(級)の部 ②長野県教育委員会賞 ③中部森林管理局長賞 ④長野県緑の基金理事長賞 ⑤長野県木材協同組合連合会会長賞 ⑥長野県県産材振興対策協議会会長賞 ⑦長野県木材青壮年団体連合会会長賞	4 作品	1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品 1 作品																																																												
	14:30~	5 来賓祝辞(長野県林務部県産材利用推進室 栩秋室長)																																																														
	14:35~	6 閉会																																																														
	14:40~	7 記念写真撮影																																																														
	15:00	8 終了																																																														
	15:00~	片付け																																																														
備考	■受賞者・出席者数 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>賞</th> <th>受賞者</th> <th>ふりがな</th> <th>参加人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最優秀賞(長野県知事賞)</td> <td>等々力 蒼乃</td> <td>とどりき あおの</td> <td>4名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>小島 柊哉</td> <td>こじま しゅうや</td> <td>3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>菊池 桜介</td> <td>きくち おうすけ</td> <td>3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>降旗 諒介</td> <td>ふりはた りょうすけ</td> <td>6名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県教育委員会賞</td> <td>北原 彩葉</td> <td>きたはら あやは</td> <td>4名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中部森林管理局長賞</td> <td>宮嶋 朔杜</td> <td>みやじま さくと</td> <td>6名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(公財)長野県緑の基金理事長賞</td> <td>吉田 陽翔</td> <td>よしだ はると</td> <td>4名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県木材協同組合理事長賞</td> <td>置田 彩華</td> <td>おきた いろは</td> <td>3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県産材振興対策協議会会長賞</td> <td>矢崎 琉冬</td> <td>やざき りゅうと</td> <td>3名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野県木材青壮年団体連合会会長賞</td> <td>浅井 太鷗</td> <td>あさい たお</td> <td>2名</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>38名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※参加人数には、受賞者を含む。</p>				賞	受賞者	ふりがな	参加人数	備考	最優秀賞(長野県知事賞)	等々力 蒼乃	とどりき あおの	4名		同上	小島 柊哉	こじま しゅうや	3名		同上	菊池 桜介	きくち おうすけ	3名		同上	降旗 諒介	ふりはた りょうすけ	6名		長野県教育委員会賞	北原 彩葉	きたはら あやは	4名		中部森林管理局長賞	宮嶋 朔杜	みやじま さくと	6名		(公財)長野県緑の基金理事長賞	吉田 陽翔	よしだ はると	4名		長野県木材協同組合理事長賞	置田 彩華	おきた いろは	3名		長野県産材振興対策協議会会長賞	矢崎 琉冬	やざき りゅうと	3名		長野県木材青壮年団体連合会会長賞	浅井 太鷗	あさい たお	2名				合計	38名	
賞	受賞者	ふりがな	参加人数	備考																																																												
最優秀賞(長野県知事賞)	等々力 蒼乃	とどりき あおの	4名																																																													
同上	小島 柊哉	こじま しゅうや	3名																																																													
同上	菊池 桜介	きくち おうすけ	3名																																																													
同上	降旗 諒介	ふりはた りょうすけ	6名																																																													
長野県教育委員会賞	北原 彩葉	きたはら あやは	4名																																																													
中部森林管理局長賞	宮嶋 朔杜	みやじま さくと	6名																																																													
(公財)長野県緑の基金理事長賞	吉田 陽翔	よしだ はると	4名																																																													
長野県木材協同組合理事長賞	置田 彩華	おきた いろは	3名																																																													
長野県産材振興対策協議会会長賞	矢崎 琉冬	やざき りゅうと	3名																																																													
長野県木材青壮年団体連合会会長賞	浅井 太鷗	あさい たお	2名																																																													
		合計	38名																																																													



■プレゼンター

- ① 棚秋 林務部県産材利用推進室長
- ② 春日 総合教育センター専門主事
- ③ 芳沢 中部森林管理局企画官
- ④ 河西 緑の基金常務理事兼事務局長
- ⑤ 柴田 県木連専務理事
- ⑥ 田村 木青連会長

■受賞者

- ① 等々力 蒼乃さん
- ② 小島 柊哉さん
- ③ 菊池 桜介さん
- ④ 降旗 諒介さん
- ⑤ 北原 彩葉さん
- ⑥ 宮嶋 朔杜さん
- ⑦ 吉田 陽翔さん
- ⑧ 置田 彩華さん
- ⑨ 矢崎 琉冬さん
- ⑩ 浅井 太鷗さん

(参考：昨年度の状況)



令和4年度 第2回定例理事会 議事録（案）

日 時 令和4年8月20日（土）

場 所 オンライン[WEBEX]

【出席者】

- | | |
|--------------|------------|
| ◎ 会 長 | 田村 紘一 |
| 直前会長 | 大蔵 俊介 |
| 監 事 | 澁澤 一吉 |
| 監 事 | 大和 俊英 〈欠席〉 |
| ◎ 代行副会長 | 宮崎 淳貴 |
| ◎ 副会長 | 池田 剛 |
| ◎ 副会長 | 由井 正宏 |
| ◎ 北信木青連 会団長 | 坂田 庄蔵 〈欠席〉 |
| ◎ 北信木青連 副会団長 | 峯村 亮 |
| ◎ 東信木青連 会団長 | 小林 寿徳 〈欠席〉 |
| ◎ 東信木青連 副会団長 | 由井 正宏 |
| ◎ 松本材青会 会団長 | 田中 一興 |
| ◎ 松本材青会 副会団長 | 石亀 道一 〈欠席〉 |
| ◎ 事務局長 | 中嶋 章 |
| 事務局次長 | 由井 正宏 |
| 事務局次長 | 宮澤 遥 〈欠席〉 |
| 事務局主事 | 松本 寿弘 |

【日本木青連出向者】

- | | | | |
|----------|---------------------------|------|------------|
| 日本木青連 出向 | 常任理事 代行副会長 兼
木青連活性化委員会 | 委員長 | 島田 直政 |
| 日本木青連 出向 | 常任理事 財務委員会 | 委員長 | 田中 俊章 |
| 日本木青連 出向 | 理事 | 会団長 | 田村 紘一 |
| 日本木青連 出向 | 理事 コラボレーション
推進委員会 | 副委員長 | 由井 正宏 |
| 日本木青連 出向 | 理事 全国大会実行委員会 | 副委員長 | 宮崎 淳貴 |
| 日本木青連 出向 | 理事 全国大会実行委員会 | 副委員長 | 峯村 亮 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 澁澤 一吉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 土倉 宜也 〈欠席〉 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 田中 博文 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 大蔵 俊介 |
| 日本木青連 出向 | 理事 木青連活性化委員会 | 副委員長 | 田中 一興 |
| 日本木青連 出向 | 総務委員会 | 委員 | 中嶋 章 |

日本木青連	出向	SCM推進委員会	委員	坂田 庄蔵	〈欠席〉
日本木青連	出向	全国大会実行委員会	委員	宮澤 薫	〈欠席〉
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	田村 紘一	
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮崎 淳貴	
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	中嶋 章	
北信越地区	出向	北信越地区協議会	県会団代表	宮澤 遥	〈欠席〉
		オブザーバー		日野原 和仁	

出席者数 13 名 ◎印は理事

開会の辞 池田副会長

会歌斉唱並びに綱領唱和 会歌清聴 綱領唱和 省略

会長挨拶 田村会長よりありがたいお言葉

直前会長挨拶 大蔵直前会長よりありがたいお言葉

司会 由井事務局次長

資料確認及び字句訂正 特になし

連絡報告事項

(1、2) 会議事業経過報告、日本木青連からの連絡報告 田村会長より説明

(3) 出向者活動報告 宮崎代行副会長、由井事務局次長より報告
宮崎代行副会長・・・全国大会について後ほど詳しく説明します。
由井事務局次長・・・コラボレーション推進委員会の活動内容と経過について

(4) PR カレンダー申込みにについて 宮崎代行副会長より説明
カレンダーの申込みが年々少なくなっているためPRお願いしたい。

日野原和仁さん・・・

カレンダー料金が例年より1割程度上がっており、申し込み用紙は新しい物を使ってほしい。

申し込み締め切りは9月末までだが申込み受付次第製作に入るので早目をお願いしたい。

(5) 正副会長・事務局連絡事項 田村会長より説明

会費納入についてのお願い。

県産材活用事業、軽井沢町役場木造化について軽井沢町長への要請の説明。

島田直政さん・・・要望については何故軽井沢町のみなのか？

松本事務局主事・・・今回は軽井沢で他の市町村にも随時要望書を出している。

川上などへも要望したが現中学校など木造校舎のメンテ費用がかさみ、後ろ向きな状態。

今後も地域で木造化木質化の要望があれば是非教えてほしい。

ビアフェス、参加者や備品についての説明。

宮崎代行副会長が田村会長の指名を受け議事を進行

議事 議長 宮崎代行副会長

議事録作成人指名 由井事務局次長

定足数確認 理事 11 名中、出席理事 8 名 欠席理事 1 名 委任状 2 名 成立致します。

審議事項

第1号議案 令和4年度第1回定例理事会議事録（案）承認の件 田村会長より上程

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第2号議案 第63回県会員東信大会収支決算（案）承認の件 田村会長より上程

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第3号議案 第45回児童生徒木工工作コンクール事業計画（案）承認の件
池田副会長より上程・説明

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第4号議案 長野市農業フェア 木工教室事業計画（案）承認の件
田村会長より上程・説明

田中一興さん・・・イベントは1日？半日？お弁当はどうなる？

田村会長・・・お昼をまたぐため弁当は用意します。

挙手にて採決 全員挙手により 承認

第5号議案 第3回定例理事会開催（案） 承認の件
田村会長より上程・説明

田中一興さん・・・

北信越協議会との日程の絡みは大丈夫か。

田村会長・・・

協議会は11月上旬で予定しており問題ない。

挙手にて採決 全員挙手により 承認

協議事項

・「青壮年部会」設置について（島田直政さん発案）

松本事務局主事より説明

木青連と県木連で今後検討会を行い部会や会費、青壮年部会の方向性などについて話し合いを行う予定。

この事案について今回の協議だけでは結論は出ず、これからの協議が必要とのこと。

・木青連法人化について

田中一興さんより説明

情報交換の場だけであれば法人化は不要だが木工コンクールなど公益的な事業を行っているため法人化が必要では？

北信越協議会で議論しますので参加をお願いします。

由井事務局次長が前回の打ち合わせに参加した感想を報告。

メリット・デメリットがはっきりしていない中で、漠然として方向性が定まらない感じがある。

公益的活動をしていず事業が多く、任意団体では信頼にかけたり、スポンサーを集めようとした場合でも集めづらいなどがある気がする。

まだ、皆さんと議論が必要と思う。

島田直政さんより質問

県木連はどういう組織なのか？

松本寿弘主事より説明

県木連は、中小企業等協同組合法に基づく「協同組合連合会」であり、人格は法人です。

各地域の単協も同じで、中小企業等協同組合法に基づく法人です。

島田直政さんより

県木連のような法人化にするのも一つかもしれない。ただ一般社団法人にするのがいいわけではないと感じている。

会団事業・活動報告

北信木青連 峯村副会団長

東信木青連 由井副会団長

松本材青会 池田副会団長

監事講評 澁澤監事

欠席者が最近多い為 WEB の利点を生かし途中からでも良いので是非参加してもらいたい。

閉会の辞 池田副会長

議事録作成人 令和4年度 事務局次長 由井 正宏

信州山の日2022(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称	信州山の日2022 木工教室																				
担当者	田村 紘一																				
事業主体	長野県木材青壮年団体連合会																				
実施日時	令和4年 7月24日(日) 10:00~16:00																				
実施場所	国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区) ※雨天決行																				
対象者	信州山の日イベント来場者																				
趣旨・目的	県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。																				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)にて7月中旬から8月下旬かけて、イベントを開催。 ・長野県林務部は、国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)で開催されるイベントの中で、7/24(日)信州山の日イベントを実施。木青連は、「信州山の日イベント」の中で木工教室を開催。 ・県林務部は、隣接テントにて、箸づくりを行った。 ・木青連は、イス作りを行った。 イス作り(イスキット) 60セット <p>■スケジュール</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>8:30~</td> <td>集合</td> </tr> <tr> <td>8:30~9:30</td> <td>材料搬入・準備</td> </tr> <tr> <td>10:00~</td> <td>オープン</td> </tr> <tr> <td>10:00~</td> <td>木工教室開始</td> </tr> <tr> <td></td> <td>①10:00-11:00 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②11:10-12:10 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③12:20-13:20 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④13:30-14:30 12組</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑤14:40-15:40 12組</td> </tr> <tr> <td>16:00~</td> <td>撤収</td> </tr> </table> <p>■準備等</p> <ul style="list-style-type: none"> イスキット・釘：東信木青連(佐久支部) 道具・コンパネ・シート：松本材青会 テント・テーブル・イス：アルプスあづみの公園 	8:30~	集合	8:30~9:30	材料搬入・準備	10:00~	オープン	10:00~	木工教室開始		①10:00-11:00 12組		②11:10-12:10 12組		③12:20-13:20 12組		④13:30-14:30 12組		⑤14:40-15:40 12組	16:00~	撤収
8:30~	集合																				
8:30~9:30	材料搬入・準備																				
10:00~	オープン																				
10:00~	木工教室開始																				
	①10:00-11:00 12組																				
	②11:10-12:10 12組																				
	③12:20-13:20 12組																				
	④13:30-14:30 12組																				
	⑤14:40-15:40 12組																				
16:00~	撤収																				

※1家族1脚限り

※密にならないよう人数調整。

実施上の問題点：今回は、昨年の課題を踏まえ、1家族1脚で実施、特に混乱することなく今後の課題などできた。

決算：別紙「決算書」のとおり

担当者：会長 田村 紘一

外部協力者：(株)共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870

添付資料：事業報告
決算書

信州山の日2022（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	P R 事業費	136,000	113,334	材料費、加工費、運搬費、印刷費、お弁当代
収入合計		136,000	113,334	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費	85,800	85,800	県産材（杉）イス材料1,320円×65セット
	材料カット代	14,300	14,300	イス材料加工220円×65セット
	搬入費	15,000	0	運搬費（搬入・搬出）
	備品、雑費等	15,000	11,914	釘・ブルーシート等、お弁当代
	印刷費	5,900	1,320	受付簿、整理券印刷等
支出合計		136,000	113,334	(税込)

信州山の日イベント 2022 [木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】信州山の日イベント 2022 木工教室
- 【実施日時】令和4年7月24日(日) 10:00~16:00
- 【実施場所】国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)
- 【対象者】一般(信州山の日イベント 来場者) 191名(60組)(子供94名、大人97名)
- 【担当】田村 紘一
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州山の日PRや木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使い方などを知っていただく。
- 【事業内容】国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)が主催するイベントの中で、長野県林務部が実施した「信州山の日イベント2022」で木工教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット) 60セット+交換用材料5セット
《1回毎の講座内容》
①森林の話 ②イスの作り方 ③イス作り
(木青連は、参加者のイスづくりをサポート)
《準備品》
イスキット60セット+交換用材料5セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/
テント(主催者用意)/釘、紙やすり/コンパネ 12枚/ブルーシート/
掃除道具/受付簿、整理券
- 【スケジュール】7月24日 8:30~ 集合・材料搬入・準備
10:00 オープン
10:00~16:00 木工教室
16:00~16:30 片づけ・搬出
- 《木工教室開催時間》
- | | | |
|-----|-------------|-----|
| 1回目 | 10:00~11:00 | 12組 |
| 2回目 | 11:10~12:10 | 12組 |
| 3回目 | 12:20~13:20 | 12組 |
| 4回目 | 13:30~14:30 | 12組 |
| 5回目 | 14:40~15:40 | 12組 |

【当日の風景】



2022長野市農業フェア(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称	2022長野市農業フェア 木工教室
担当者	田村 紘一
事業主体	長野県木材青壮年団体連合会
実施日時	令和4年10月22日(土) 9:00~14:30
実施場所	長野市 ビッグハット 玄関前広場
対象者	長野市農業フェア来場者
趣旨・目的	県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使い方などを知っていただく。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長野市農業祭実行委員会が主催する「2022長野市農業フェア」の中で木工教室・木育教室を開催。 ・イス作りの木工工作体験を行った。 ・50セット ■当日スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 8:00 集合 8:00~ 準備 9:00~ 木工教室開始 14:30~ 撤収 ※新型コロナウイルス感染症対策をして実施しました。 ■準備等 <ul style="list-style-type: none"> 10月中旬 椅子キット作成(東信木青連佐久支部) 10月22日(土)実施 ■木青連 <ul style="list-style-type: none"> ・材料(東信木青連佐久支部で用意) ・木工工作道具(北信木青連) ・ブルーシート(北信木青連) ・コンパネ(北信木青連) ・掃除道具(ほうき、ゴミ袋等)(北信木青連) ■長野市農業フェス事務局 <ul style="list-style-type: none"> ・テント
実施上の問題点	・通常通り1人1脚で行った。
今後の課題など	・天気は曇り模様で若干寒い中でしたが、予定数を完了することができ、大勢の方に参加いただけた。
決算	別紙「決算書」のとおり
担当者	会長 田村 紘一
外部協力者	(株)共立プランニング 日野原氏
[連絡先]	TEL:026-238-8877 FAX:026-238-8870
添付資料	事業報告 決算書

2022長野市農業フェア（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	P R 事業費	115,000	92,095	
収入合計		115,000	92,095	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費	72,600	72,600	県産材（杉）イス材料1,320円×55セット
	材料加工費	12,100	12,100	イス材料加工220円×55セット
	運搬費	10,000	0	運搬費（搬入・搬出）
	雑費	15,000	6,020	お弁当代
	印刷費	5,300	1,375	受付簿、整理券印刷等
支出合計		115,000	92,095	(税込)

2022 長野市農業フェア [木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】2022 長野市農業フェア 木工教室
- 【実施日時】令和4年10月22日(土) 9:00~14:30
- 【実施場所】長野市 ビッグハット 玄関前広場
- 【対象者】一般(長野市農業フェア 来場者 75名(50組)(子供38名、大人37名))
- 【担当】田村 紘一
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。また、長野県の森林の機能や木材の使われ方などを知っていただく。
- 【事業内容】長野市農業祭実行委員会が主催する「2022 長野市農業フェア」の中で木工教室・木育教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット) 50セット
①森林の話し ②イスの作り方 ③イス作り
(木青連は、参加者へ①~③の説明とイスづくりをサポート)
- 《準備品》
木青連:イスキット50セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ10枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券
主催者:テント
- 【スケジュール】10月22日 8:00~ 集合・材料搬入準備
9:00 オープン
9:00~14:30 木工教室
14:30~ 片づけ、搬出

【当日の風景】



ビアフェス(木工教室)事業報告

★ 事業報告書

議案作成者 会長 田村 紘一

事業名称：ビアフェス 木工教室

担当者：田村 紘一

事業主体：長野県木材青壮年団体連合会

実施日時：令和4年 8月28日(日) 10:00～16:00

実施場所：佐久市交流広場

対象者：ビアフェス来場者

趣旨・目的：第1回目となるイベント。昨年のカラマツフェスをきっかけにオファーをいただきました。カラマツフェスをきっかけに木青連の存在を知っていただき、さらに多くの方々に木に触れあってもらいたいと思いと、木青連をもっとアピールしたい思いがあり親子木工教室を開催しました。

事業内容：・来場者に親子木工教室にて、椅子作りを体験。
・イス作り（イスキット） 60セット
・1セット1,500円で販売

■当日スケジュール

7:50～ 資材搬入
8:15～ 集合・準備
10:00～ ビアフェス開始
①10:00～11:10 15組
②11:10～12:20 15組
③13:30～14:40 15組
④14:40～15:50 15組
16:00～ 撤収

■新型コロナウイルス感染症対策をして実施しました。

■準備等

8月上旬 椅子キット作成

8月28日(日) 実施

■木青連 ※材料、道具一式は東信木青連佐久支部で用意

- ・材料
- ・木工工作道具（ノコギリ、カナヅチ、釘抜き、釘、紙ヤスリ、キリ）
- ・ブルーシート
- ・コンパネ
- ・掃除道具（ほうき、ゴミ袋等）
- ・スタッフの昼食（キッチンカーブース等を利用）

実施上の問題点：・1セット1,500円で販売し、大勢の親子に参加いただいた。

今後の課題など：・カラマツフェスでは1,000円で販売したが、材料費等の高騰で1,500円に変更。大勢の方にご購入いただけたが、予定数には届かずでした。

決 算：別紙「決算書」のとおり

担 当 者：会長 田村 紘一

外 部 協 力 者：(株) 共立プランニング 日野原氏

[連絡先] TEL: 026-238-8877 FAX: 026-238-8870

添 付 資 料：事業報告
決算書

ビアフェス（木工教室）収支決算

収支決算書

【収入の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	販売事業費	90,000	79,500	53セット×1,500円
木青連本会計	雑費	10,000	10,000	お弁当代
収入合計		100,000	89,500	

【支出の部】

大項目	中項目	予算額	決算額	摘要
事業費	材料費	71,500	71,500	県産材杉1,100円(税込)×65セット
	材料カット代	11,700	11,700	180円(税込)×65セット
	搬入費	0	0	運搬費(搬入・搬出)
	備品、雑費等	15,000	15,976	釘・出展料・お弁当代
	印刷費	1,800	990	受付簿、整理券印刷等
支出合計		100,000	100,166	(税込)

収支差引額(収入-支出)	-10,666	※マイナス分は本会計より負担
--------------	---------	----------------

ビアフェスイベント2022 [木工教室] 事業報告

事業報告

- 【事業名称】ビアフェスイベント2022 木工教室
- 【実施日時】令和4年8月28日(日) 10:00~16:00
- 【実施場所】佐久市交流広場
- 【対象者】一般(ビアフェスイベント 来場者) 147名(60組)(子供70名、大人77名)
- 【担当】田村 紘一
- 【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会
- 【趣旨目的】第1回目となるイベント。昨年のカラマツフェスをきっかけにオファーをいただきました。カラマツフェスをきっかけに木青連の存在を知っていただき、さらに多くの方々に木に触れあってもらいたいと思い、木青連をもっと知ってもらいたい思いがあり、親子木工教室を開催した。
- 【事業内容】ビアフェス実行委員会が主催するイベントで、木工教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット) 60セット+交換用材料5セット
 <<1回毎の講座内容>>
 ①森林の話し ②イスの作り方 ③イス作り
 (木青連は、参加者のイスづくりをサポート)
 <<準備品>>
 イスキット60セット+交換用材料5セット/道具(カナヅチ、釘抜き等)/釘、紙やすり/コンパネ 15枚/ブルーシート/掃除道具/受付簿、整理券
 テント(主催者用意)
- 【スケジュール】8月28日 7:50~ 集合・材料搬入・準備
 10:00 オープン
 10:00~16:00 木工教室
 16:00~ 片づけ・搬出
- <<木工教室開催時間>>
- | | | |
|-----|-------------|-----|
| 1回目 | 10:00~11:10 | 15組 |
| 2回目 | 11:10~12:20 | 15組 |
| 3回目 | 13:30~14:40 | 15組 |
| 4回目 | 14:40~15:50 | 15組 |

【当日の風景】



第4回定例理事会開催(案)

日	時	令和4年 2月18日(土)	
場	所	未定 もしくは Zoom	
スケジュール	正副会長・事務局会議	13:00	～ 13:15
	理事会	13:20	～ 15:20
	全国大会実行委員会	15:30	～ 16:30
	懇親会	17:00	～

北信木青連

会団長 坂田 庄蔵
副会団長 峯村 亮

4月	9日(土)	理事予定者会議	WEB	WEB
5月	14日(土)	令和3年度臨時理事会	WEB	WEB
		臨時理事予定者会議	WEB	WEB
		県木青連 定時総会	WEB	WEB
7月	1日(金)	北信木青連総会	長野	木協会議室
7月	9日(土)	第1回理事会	長野	長野県林業センター
7月	24日(日)	信州山の日 木工教室	大町・松川	国営アルプスあづみの公園
8月	20日(土)	第2回理事会	WEB	WEB
8月	28日(日)	ビアフェス木工教室	佐久	佐久市交流広場
10月	7日(金)	木工工作コンクール審査会	塩尻	長野県林業総合センター
10月	22日(土)	農業フェア木工教室	長野	ビックハット
11月	5日(土)	北信越地区協議会 in 長野	長野	長野県林業センター
11月	26日(土)	第3回理事会	長野	長野県立美術館
		木工工作コンクール表彰式	長野	長野県立美術館

令和4年度 東信木青連活動報告

会団長 小林 寿徳
副会団長 由井 正宏

4月 9日	県青連	理事予定者会議	Zoom会議
7月 9日	県青連	理事会	長野県林業センター
7月 24日	県青連	信州山の日2022 木工教室	国営アルプスあづみの公園
8月 20日	県青連	第2回理事会	WEBEX会議
8月 28日	ビアフェス	木工教室	佐久市交流広場
9月 27日	木工工作コンクール	上小審査会	木協会館
10月 7日	木工工作コンクール	県審査会	長野県林業総合センター
11月 5日	日本木青連	北信越協議会	長野県林業センター&WEB
11月 26日	長野県木青連	第3回理事会	長野県立美術館
11月 26日	長野県児童生徒・木工工作コンクール	表彰式	長野県立美術館

令和4年度松本材青会活動報告

会団長 田中 一興

副会団長 石亀 道一

4月 9日 (土)	長野県木青連理事予定者会議	WEB
4月 14日 (木)	松本材青会 役員会	国興
5月 9日 (月)	松本材青会 役員会	国興
5月 14日 (土)	長野県木青連 定例総会	WEB
5月 28日 (土)	日本木青連 全国会員北海道大会	北海道札幌市
5月 31日 (火)	定例総会	書面議決
7月 8日 (金)	長野県木青連 令和5年度準備会議	上田
7月 9日 (土)	長野県木青連 第1回理事会	長野
7月 24日 (日)	長野県木青連 信州山の日 木工工作教室	国営アルプスあずみの公園
8月 5日 (金)	日本木青連 法人化協議部会	松本
8月 20日 (土)	長野県木青連 第2回理事会	WEB
9月 30日 (金)	木の小椅子セット納品	松本市
10月 4日 (火)	松本材青会 木工工作コンクール審査	国興
10月 5日 (水)	松本材青会 定例会	松本
10月 7日 (金)	長野県木青連 木工工作コンクール審査	長野県林業総合センター
10月 19日 (水)	全国大会実行委員会 打合せ	WEB
10月 24日 (月)	手づくり工作キット イス(ミニ)納品	松本市 波田商工会
11月 5日 (土)	北信越地区協議会	長野県林業センター/WEB
11月 26日 (土)	長野県木青連 第3回理事会	長野県立美術館
11月 26日 (土)	長野県児童生徒・木工工作コンクール表彰式	長野県立美術館